

庁舎外壁改修工事

図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-001	表紙・図面リスト	A-026	断面図（2）
A-002	特記仕様書（1）	A-027	矩計図（1）
A-003	特記仕様書（2）	A-028	矩計図（2）
A-004	外壁改修詳細図	A-029	矩計図（3）
A-005	附近見取図・配置図・仮設計画図（1）	A-030	矩計図（4）
A-006	仮設計画図（2）	A-031	各部詳細図（1）
A-007	仮設計画図（3）	A-032	各部詳細図（2）
A-008	仮設計画図（4）	A-033	各部詳細図（3）
A-009	仮設計画図（5）	A-034	建具表（1）
A-010	仮設詳細図	A-035	建具表（2）
A-011	B1階平面図	A-036	建具表（3）
A-012	1階平面図	A-037	スロープ詳細図
A-013	2階平面図	A-038	サンクンガーデン
A-014	3階平面図	A-039	地下（車寄せ）展開図
A-015	基準階平面図（4-8階）	A-040	屋外機置場展開図（1）
A-016	9階平面図	A-041	屋外機置場展開図（2）
A-017	10階平面図		
A-018	PH階平面図・配管等設備図	参考図-01	北立面図（劣化調査図）
A-019	PH階鉄骨伏図・塗装範囲詳細図（1）	参考図-02	東立面図（劣化調査図）
A-020	PH階鉄骨伏図・塗装範囲詳細図（2）	参考図-03	南立面図（劣化調査図）
A-021	立面図（1）	参考図-04	西立面図（劣化調査図）
A-022	立面図（2）	参考図-05	スロープ・車寄せ展開図（劣化調査図）
A-023	立面図（3）	参考図-06	サンクンガーデン展開図（劣化調査図）
A-024	立面図（4）	参考図-07	10階花壇展開図（劣化調査図）（1）
A-025	断面図（1）	参考図-08	10階花壇展開図（劣化調査図）（2）

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	表紙・図面リスト				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	-	001 041

工事名称：庁舎外壁改修工事		● 隣地関係 本工事において隣地建築物、構造物、又はその他所有物を破損させた場合は、受注者の責任において速やかに現状復帰、損害賠償等を行うこと。また、本工事に起因するところの苦情処理については、受注者が責任を持って速やかに措置すると共に、監督員に報告を行うこと。	○ 仮設間仕切 ○ A種：LGS、両面ボード張り、グラスウール充填 ○ B種：LGS、片面ボード張り ○ C種：単管シート張り ※屋内仮設間仕切1箇所毎に、仮設扉1箇所設置を標準とする。																																							
工事場所	大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号																																									
工事概要 外壁改修工事																																										
本仕様書の取扱い方	●印の付いたものは適用有り ○印の付いたものは適用無し																																									
第1章 一般共通事項																																										
適用	項目	内容																																								
●	設計図書優先順位	(1).質問回答書(2)から(4)までに対するもの (2).現場説明書 (3).特記仕様書 (4).図面 (5).公共建築改修工事標準仕様書、建築改修工事監理指針(最新版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)※本工事契約締結後、(1)から(5)について、工事着手前に内容を確認し、適用すること。																																								
●	官公庁その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行い、当該手続等に当たっては、届出内容について、あらかじめ監督員に報告すること。 尚、当該手続等に伴い必要となる費用、検査における資機材、労務等の提供は受注者負担とする。																																								
●	CORINS	本工事受注者は一般財団法人日本建設情報総合センターの工事実績情報サービス(CORINS)による登録申請を契約後10日以内(土・日・祝日を除く)に行い、登録されたことを証明する。 資料(登録内容確認書の写し)を提出すること。 なお、請負金額が500万円未満の場合は、この限りでない。																																								
●	書類の書式等	必要書類については監督員との協議の上決定すること。																																								
●	疑義に対する協議等	契約締結後、設計図書が現場と一致しているか、又は施工が可能か、現地調査を行い確認すること。 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。協議を行った結果、監督員が軽微な変更と判断した場合、契約金額の増額は行わないものとする。 また、設計図書等に明記していない事柄であっても、工事の性質上、当然必要と認められた物は、受注者の費用で施工しなければならない。																																								
●	産業廃棄物	(1)本工事が「建設リサイクル法」の対象工事である場合は、法令を遵守して廃棄物の分別及び再資源化を適正に行う計画を市監督員に提出し、承諾を受け、実施すること。 (2)本工事に伴って発生する廃棄物の処理については関係法令を遵守し、その取扱いは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って適切に処理すること。 (3)廃棄物についてはその処理業者・処分地・運搬経路・数量・種別等の必要事項を書面にて監督職員に提出すること。また、マニフェストシステムを採用し、監督員に報告すること。																																								
●	発生材の処理等	発生材のうち、発注者に引渡しを要するもの並びに特別管理産業廃棄物の有無について ○有()、●無																																								
●	アスベスト調査報告	解体等工事を行う際は、事前に石綿使用の有無に関する調査結果報告書を提出すること。																																								
○	建設発生土	建設発生土は再資源化施設への搬出を原則とする。																																								
●	リサイクル法の適用	関係法令に従い、必要な書類を監督員に提出する。																																								
●	養生、後片付け	着手前に既存施設部分、工事目的物の施工済み部分等について、汚損しないよう適切な養生を行うこと。 工事の完成に際しては、建築物等の内外の後片付け及び清掃を行う。																																								
●	既存施設等の確認	施工完了後、汚損等についての因果関係が証明できるよう、施工に影響のある箇所等については事前に調査を行い、写真等でまとめておくこと。当該調査を怠った場合若しくは不十分であった場合で監督員により工事との因果関係があると判断されたものについては、受注者負担にて補償すること。																																								
○	ホルムアルデヒド対策	内装材料にはホルムアルデヒド発散速度F☆☆☆☆等級もしくはF☆☆☆☆相当の大臣認定を受けている材料を使用すること。ただし、F☆☆☆☆商品が発売されていない材料については監督員と協議のうえ、使用材料の決定を行うこと。(認定資料の写しを添付すること。)																																								
○	その他の化学物質対策	内装材料には厚生労働省による室内濃度指針値が定められている化学物質が極力含まれていない材料を使用すること。(原則、製品安全データシート(SDS)等の写しを添付すること。)																																								
○	室内空気汚染	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>方式</th> <th>品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>学校環境衛生基準による室内空気中化学物質測定：拡散方式(パツプ)</td> <td>ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン(全6物質)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>住宅性能表示制度による室内空気中化学物質測定：拡散方式(パツプ)</td> <td>ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン(全5物質)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>保健所簡易測定</td> <td>ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン(全5物質)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※測定場所、箇所数について図示の無い場合は監督員の指示による。</p>	適用	方式	品目	○	学校環境衛生基準による室内空気中化学物質測定：拡散方式(パツプ)	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン(全6物質)	○	住宅性能表示制度による室内空気中化学物質測定：拡散方式(パツプ)	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン(全5物質)	○	保健所簡易測定	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン(全5物質)																												
適用	方式	品目																																								
○	学校環境衛生基準による室内空気中化学物質測定：拡散方式(パツプ)	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン(全6物質)																																								
○	住宅性能表示制度による室内空気中化学物質測定：拡散方式(パツプ)	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン(全5物質)																																								
○	保健所簡易測定	ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン(全5物質)																																								
●	工事写真	工事完成時に、目視により確認できない箇所や、各作業工程を説明するための写真は不足無く撮影すること。また、撮影の方法等については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領建築工事編及び解体工事編(最新版)」を参照すること。 又、デジタルカメラで撮影する場合は、監督員の了承を必要とすると共にデータの保存管理に注意すること。万が一、不可視部分等の写真データを紛失した場合は、受注者負担において破壊試験等の対応を行うこと。																																								
●	工事中の安全等	工事施工中、直接及び間接的に隣地建物その他構造物、住人通行人に対して損害なきよう注意すると共に、万が一損害を与えた場合は速やかに誠意を持って対処する事。 なお、それに伴う費用は受注者の負担とする。																																								
●	成果品	<ul style="list-style-type: none"> ●目的物引渡し書(表紙、目録等別添付)綴じ) ○原図(カバー付)：A1(部)、A3(部) ○ハードカバー白焼き折込製本(金文字、黒表紙)：A1(部) ●白焼き糊張り製本(金文字、黒表紙)：A1(1部)、A3(2部) ●竣工図のラスタデータ：図面のtifデータ及びCSVデータ(CDROM)(守口市仕様による) ●竣工図のCADデータ：jww(CDROM)またはdwgもしくはdxf及びCSVデータ(守口市仕様による) ●竣工写真及びデータ(CDROM)全て ●備品、予備品 ●保証書 ●工事書類 ●書類ケース(個数、仕様については監督員の指示により作成し、指示する書類ケースに入れ提出) ●一覧表データ ●その他監督員の指示によるもの 																																								
●	工事の一時中止	契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 <基本計画書の記載内容> (1)基本計画書作成の目的 (2)中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること (3)中止に伴う受注者側の工事現場の体制の縮小と再開に関すること (4)工事現場の維持・管理に関する基本的事項 (5)工事一時中止に伴う増加費用※及び算定根拠 (6)工事再開に向けた方策 (7)基本計画書に変更が生じた場合の手続き ※工事一時中止の指示時点で想定している中止期間における概算額を記入する。 一部一時中止の場合は、概算金額の記入は省略出来る。																																								
●	建設業退職金共済制度の履行	受注者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入し、その掛金収納書(発注者用)を発注者に提出しなければならない。また、受注者は、建設業退職金共済制度について、建設キャリアアップシステムの活用等により技能労働者等の就労状況を適切に把握し、これに基づく履行状況について、工事完成後、速やかに建退共証紙使用実績報告書を作成し、監督職員に提出すること。																																								
○	その他																																									
第2章 仮設工事																																										
●	仮設計画	図示によるほか、工事作業場の仮囲い及び周辺の状況を十分考慮し、監督員と打合せの上決定する。																																								
●	仮設物の取扱い	足場、仮囲い等は、労働安全衛生法、建築基準法、建築工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 定着する足場等は、別契約の関係請負者に無償で使用させる。 仮設物は竣工検査までに取り除き、撤去跡及び付近の清掃、地均し等を行う。																																								
○	ベンチマーク	図示の無い場合は監督員の指示に従い決定する。																																								
●	足場関係	当初契約内容の施工上必要となる足場類については、図示の無い範囲についても必要に応じ足場を設置すること(内部足場、階段足場等) 仕様について図示の無いものは下表による																																								
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="2">足場</td> <td>● A種(枠組み本足場)</td> <td>● B種(単管本足場)</td> </tr> <tr> <td>● C種(ゴンドラ)</td> <td>○ D種(移動式足場)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">養生</td> <td>○ 防音パネル</td> <td>○ ホワイト(防災1類)</td> </tr> <tr> <td>● 防音シート</td> <td>● マジックシート</td> </tr> </tbody> </table>	足場	● A種(枠組み本足場)	● B種(単管本足場)	● C種(ゴンドラ)	○ D種(移動式足場)	養生	○ 防音パネル	○ ホワイト(防災1類)	● 防音シート	● マジックシート																														
足場	● A種(枠組み本足場)	● B種(単管本足場)																																								
	● C種(ゴンドラ)	○ D種(移動式足場)																																								
養生	○ 防音パネル	○ ホワイト(防災1類)																																								
	● 防音シート	● マジックシート																																								
●	内部足場	●脚立足場 ・その他()																																								
○	区画養生	仮設間仕切り等により作業範囲が定められた場合又は周辺に影響が及ぶ危険性がある場合は、作業範囲外へ粉塵等が飛散しないよう出入り口部や隙間等をビニルシート等で目張り養生すること。																																								
○	監督職員事務所	監督員事務所の適用について ○1号(10㎡)程度 ○2号(20㎡)程度 電灯、給排水、通信機器、エアコン、デスク等の事務用品を完備し、その他の備品・設備に関しては、監督職員の指示によるものとする。また、それらの使用料、消耗品等は受注者の負担とする。																																								
●	工事用水	発注者契約の給水系統から分岐して利用する場合は、監督員の承諾を得て、子メーターを設置の上可能とする。但し、当該メーター設置や仮設配管等の費用は受注者負担とする。水道料金についても使用量に応じて後日精算とする。これにより難い場合は、受注者負担により工事用水として別途引込むものとする。																																								
●	工事用電力	受注者負担により、工事用電源として別途引き込むものとする。																																								
●	交通誘導警備員	交通誘導警備員の配置 総数 220名 図示による他、工事車両の台数や搬入経路等、安全上必要と思われる箇所に配置し、適宜増員すること。 工事敷地周辺の通行人及び住民に対する安全対策を最優先とし、作業員の規律の徹底を図り、通路の安全対策等について十分配慮し、交通事故防止等に努めること。 公安委員会の許可を得た警備会社等に委託し、必要な資格を有した交通誘導警備員を配置させること。																																								
第3章 防水改修工事																																										
○	工法	OS4S工法 OS3S工法 OM4S工法 OP0S工法 ○()工法																																								
○	保護コンクリート	図示の無いものは下記による <コンクリート> 設計基準強度18N/mm2、スラブ15cm <溶接金網> JIS G 3551 鉄線径6mm、網目寸法100mm (重ねは150mm以上) <立上り部> JIS R 1250 (普通レガ及び化粧レガ) <厚み> こて仕上げ：80mm以上、タイル等仕上り有り：60mm以上、配管行う場合：保護コンクリートの上15mmタイル塗り <伸縮調整目地> 周辺立上り面から600mm、中間部は3000mm程度とする																																								
○	777防水	図示の無いものは下記による <工法> 屋根保護防水密着工法(OA-1、OA-2、OA-3) 屋根保護防水密着断熱工法(OAI-1、OAI-2、OAI-3) 屋根保護防水絶縁工法(OB-1、OB-2、OB-3) 屋根保護防水絶縁断熱工法(OBI-1、OBI-2、OBI-3) 屋根露出防水絶縁工法(OD-1、OD-2、OD-3、OD-4) 屋根露出防水絶縁断熱工法(ODI-1、ODI-2) 屋内防水密着工法(OE-1、OE-2) <材料> 777防水：JIS K 2207 3種、押え金物：7M L-30x15x2.0mm程度 断熱材(保護)：JIS A 9511 A種押出法ポリスチレンフォーム保温材 保温板3種b(タタリ) 断熱材(露出)：JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム保温材 保温板2種(浸透係数除く)																																								
○	改質777防水シート防水	図示の無いものは下記による <工法> 屋根露出防水密着工法(OAS-T1、OAS-T2、OAS-J1) 屋根露出防水絶縁工法(OAS-T3、OAS-T4、OAS-J2) 屋根露出防水絶縁断熱工法(OASI-T1、OASI-J1) <材料> 断熱材(露出)：JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム保温材 保温板2種(浸透係数除く)																																								
○	合成高分子系フイバーグシート防水	図示の無いものは下記による <工法> 合成高分子系フイバーグシート防水工法(OS-F1、OS-F2、OS-M1、OS-M2、OS-M3) 合成高分子系フイバーグシート防水断熱工法(OSI-F1、OSI-F2、OSI-M1、OSI-M2) <材料> 断熱材(機械的固定工法)：JIS A 9511 A種硬質ウレタンフォーム保温材 保温板2種(浸透係数除く)																																								
●	塗膜防水	図示の無いものは下記による <工法> ウレタン系塗膜防水(OX-1、●X-2) ゴム7777系塗膜防水(OY-1、OY-2) ケ酸質系塗布防水(OC-UI、OC-UP)																																								
○	脱気装置	○有、○無																																								
●	シーリング	ボンドブレイク等を用いた二面接着を原則とし、三面接着とする場合は監督員の承諾を得ること。																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">被着体の組合せ</th> <th colspan="2">シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">金属</th> <th rowspan="2">金属</th> <th>方立目地</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>上記以外の目地</th> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th rowspan="5">コンクリート</th> <th rowspan="2">ガラス</th> <th rowspan="2">仕上げなし</th> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th>仕上げあり</th> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">ALC</th> <th rowspan="3">押出成形ベント板</th> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th>ガラス</th> <th>ガラス</th> <th>SR-1</th> <th>シリコン系</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">石</th> <th rowspan="2">石</th> <th>外壁乾式工法の目地</th> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> <tr> <th>上記以外の目地</th> <th>SA-2</th> <th>シリル化アクリレート系</th> </tr> </tbody> </table>	被着体の組合せ		シーリング材の種類		金属	金属	方立目地	記号	上記以外の目地	SA-2	シリル化アクリレート系	コンクリート	ガラス	仕上げなし	SA-2	シリル化アクリレート系	仕上げあり	SA-2	シリル化アクリレート系	ALC	押出成形ベント板	SA-2	シリル化アクリレート系	SA-2	シリル化アクリレート系	SA-2	シリル化アクリレート系	ガラス	ガラス	SR-1	シリコン系	石	石	外壁乾式工法の目地	SA-2	シリル化アクリレート系	上記以外の目地	SA-2	シリル化アクリレート系	
被着体の組合せ		シーリング材の種類																																								
金属	金属	方立目地	記号																																							
		上記以外の目地	SA-2	シリル化アクリレート系																																						
コンクリート	ガラス	仕上げなし	SA-2	シリル化アクリレート系																																						
			仕上げあり	SA-2	シリル化アクリレート系																																					
	ALC	押出成形ベント板	SA-2	シリル化アクリレート系																																						
			SA-2	シリル化アクリレート系																																						
			SA-2	シリル化アクリレート系																																						
ガラス	ガラス	SR-1	シリコン系																																							
石	石	外壁乾式工法の目地	SA-2	シリル化アクリレート系																																						
		上記以外の目地	SA-2	シリル化アクリレート系																																						

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	特記仕様書(1)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計作図縮尺	A2
	清水	鈴木	鈴木	-	002/041

● シーリング 続き	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">コンクリート</td> <td>フレッシュコンクリート</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打継ぎ目地 ひび割れ 誘発目地</td> <td>仕上げなし</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> <tr> <td>仕上げあり</td> <td>PU-2</td> <td>ポリアレン系</td> </tr> <tr> <td>石、タイル</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ALC</td> <td>仕上げなし</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> <tr> <td>仕上げあり</td> <td>PU-2</td> <td>ポリアレン系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">押出成形 セメント板</td> <td>仕上げなし</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> <tr> <td>仕上げあり</td> <td>PU-2</td> <td>ポリアレン系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">押出成形セメント板</td> <td>押出成形 セメント板</td> <td>仕上げなし</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> <tr> <td></td> <td>仕上げあり</td> <td>PU-2</td> <td>ポリアレン系</td> </tr> <tr> <td>タイル</td> <td>タイル</td> <td>SA-2</td> <td>シリル化7クリレート系</td> </tr> </table> <p>●シーリング材の施工に先立ち、接着性試験を行うこと。●簡易試験 ○引張試験</p>	コンクリート	フレッシュコンクリート	SA-2	シリル化7クリレート系	打継ぎ目地 ひび割れ 誘発目地	仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系	仕上げあり	PU-2	ポリアレン系	石、タイル	SA-2	シリル化7クリレート系	ALC	仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系	仕上げあり	PU-2	ポリアレン系	押出成形 セメント板	仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系	仕上げあり	PU-2	ポリアレン系	押出成形セメント板	押出成形 セメント板	仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系		仕上げあり	PU-2	ポリアレン系	タイル	タイル	SA-2	シリル化7クリレート系
コンクリート	フレッシュコンクリート		SA-2	シリル化7クリレート系																																						
	打継ぎ目地 ひび割れ 誘発目地		仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系																																					
			仕上げあり	PU-2	ポリアレン系																																					
	石、タイル		SA-2	シリル化7クリレート系																																						
	ALC		仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系																																					
			仕上げあり	PU-2	ポリアレン系																																					
	押出成形 セメント板		仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系																																					
			仕上げあり	PU-2	ポリアレン系																																					
	押出成形セメント板		押出成形 セメント板	仕上げなし	SA-2	シリル化7クリレート系																																				
			仕上げあり	PU-2	ポリアレン系																																					
タイル	タイル	SA-2	シリル化7クリレート系																																							
● 保証期間	引渡しの日から10年(防水)、5年(シーリング)とする。																																									
● 施工一般	保護層、防水層、シーリング材、とい、その他並びにアルミニウム製立木等を撤去した結果、下地等が設計図書により施工を実施するのが不適当な場合は、監督職員と協議する。 また、降雨・降雪が予想される場合、下地の乾燥が不十分な場合、気温が著しく低下した場合、強風及び高湿の場合、その他防水に悪影響を及ぼすおそれがある場合には、施工を行わないものとする。 1日の作業終了後は、原則として降雨等に対して漏水のないようにシート等の養生を行う。 ただし、工事の内容により、特定の養生を必要とする場合は、監督職員と協議する。 建具 四周シールやり替えについては、施工図を作成の上、監督職員と納まりについて協議を行う。																																									

第4章 外壁改修工事

● 施工一般	降雨、降雪にさらされないようにすること。なお、降雨、多湿等により、結露のおそれがある場合は、すべての作業を中止すること。 施工の各段階において、騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。
● 施工数量調査	調査内容 (1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び、錆汁の流出の有無を調査する。 (2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。 (3) コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 (4) 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を表面に表示し、既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 【調査報告書の部数】 2部
● 外壁下地補修要領	1. ひび割れ、欠損、浮き等の補修箇所は、監督職員立会いの上で下地補修に先立ち、下地調査を実施すること。 2. 調査現況を現場でマーキングし、それを全て図面表現及び写真撮影すると共に数量計算書を提出し、監督員と打合せの上補修範囲を確認する。 3. 補修着事前に施工計画書を作成し、監督員の承諾を得ること。 4. 施工計画書に基づき工程写真を提出すること。 5. 設計図書の補修仕様に変更の必要が生じた場合は、監督員と協議の上、施工すること。

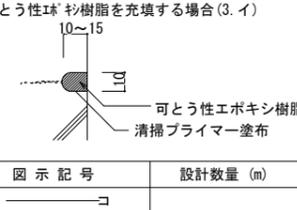
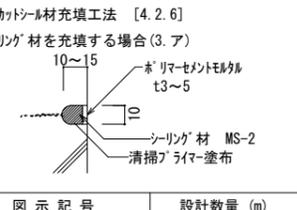
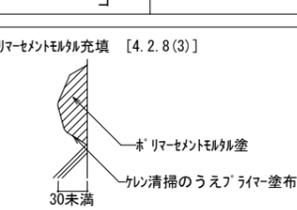
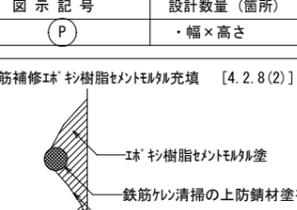
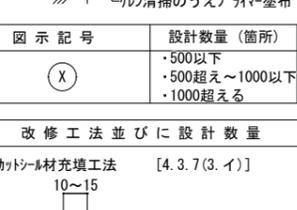
● 改修材料	<p>●可とう性エポキシ樹脂</p> <table border="1"> <tr> <th>比重</th> <th>押出し性 (秒)</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>加熱減量 (%)</th> <th>引張強さ (N/mm²)</th> <th>伸び (%)</th> <th colspan="2">引張接着性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.98以上</td> <td>30.0以上</td> <td>0.98N/mm²以上</td> <td>10.0%以上</td> </tr> <tr> <td>表示値 ±0.10</td> <td>60以下</td> <td>3.0以下</td> <td>5.0以下</td> <td>(常温物性) (低音性) (加熱劣化)</td> <td>(常温物性) (低音性) (加熱劣化)</td> <td>(常温物性)</td> <td>(常温物性)</td> </tr> </table> <p>(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 (3) 常温常室(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。</p> <p>●エポキシ樹脂モルタル</p> <table border="1"> <tr> <th>接着強さ(N/mm²)</th> <th>圧縮強さ(N/mm²)</th> <th>曲げ強さ(N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>0.98以上</td> <td>20.0以上</td> <td>9.8以上</td> </tr> </table> <p>(1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後仕上りが良好であること。 (2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 (4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。 (5) 常温常室(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。</p>	比重	押出し性 (秒)	スランプ (mm)	加熱減量 (%)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	引張接着性						0.98以上	30.0以上	0.98N/mm ² 以上	10.0%以上	表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	(常温物性) (低音性) (加熱劣化)	(常温物性) (低音性) (加熱劣化)	(常温物性)	(常温物性)	接着強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)	曲げ強さ(N/mm ²)	0.98以上	20.0以上	9.8以上
比重	押出し性 (秒)	スランプ (mm)	加熱減量 (%)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	引張接着性																									
				0.98以上	30.0以上	0.98N/mm ² 以上	10.0%以上																								
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	(常温物性) (低音性) (加熱劣化)	(常温物性) (低音性) (加熱劣化)	(常温物性)	(常温物性)																								
接着強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)	曲げ強さ(N/mm ²)																													
0.98以上	20.0以上	9.8以上																													

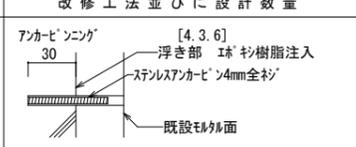
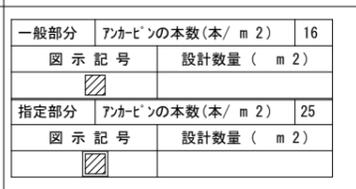
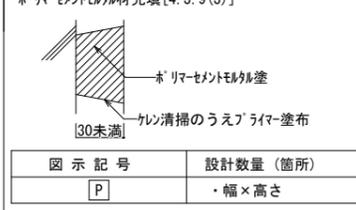
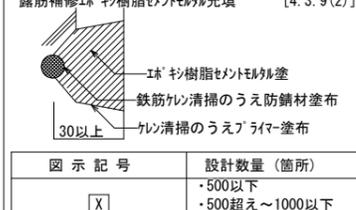
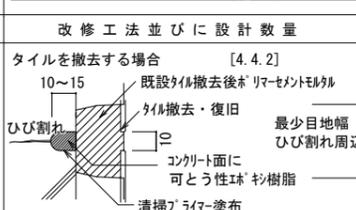
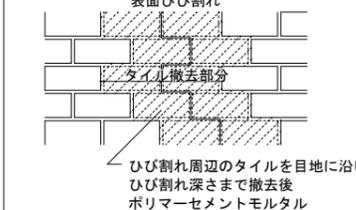
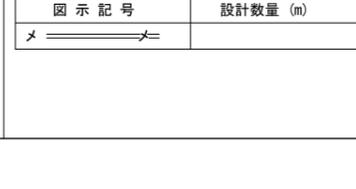
●ポリマーセメントモルタル	<p>種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">曲げ強さ(N/mm²)</th> <th rowspan="2">圧縮強さ(N/mm²)</th> <th colspan="3">接着強さ(N/mm²)</th> </tr> <tr> <th>標準時</th> <th>湿潤時</th> <th>低温時</th> </tr> <tr> <td>6.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>0.98以上</td> <td>0.78以上</td> <td>0.49以上</td> </tr> </table> <p>(1) 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 (2) 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。 (3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。</p>	曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)	接着強さ(N/mm ²)			標準時	湿潤時	低温時	6.0以上	20.0以上	0.98以上	0.78以上	0.49以上
曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)			接着強さ(N/mm ²)										
		標準時	湿潤時	低温時										
6.0以上	20.0以上	0.98以上	0.78以上	0.49以上										
● Uカットシール材 充填工法	(1) クラック幅0.2mm以上を対象とする。 (2) ひび割れの状況について確認し、補強範囲を監督職員と協議する。													
● 欠損・鉄筋露出部	(1) 鉄筋露出部は図の処理を施す。 (2) テストハンマーを用いた通常レベルの打撃力によって、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認する。 (3) 欠損部及び脆弱部について目視で確認し、補修範囲を監督職員と協議する。													
● アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂 注入工法	(1) 通常レベルの打撃によって、はがれ、剥落の恐れのある部分以外の浮き部に図の処理を施す。 (2) テストハンマーを用いた通常レベルの打撃力によって、はがれ、剥落の恐れのある部分について確認し、アンカーピンニング注入範囲についてチョーク等で明示し、監督職員と協議する。 (3) エポキシ樹脂注入材料は、JIS-A-6024により、種類は施工時期に適したものとす。 (4) アンカーピンはステンレスSUS304で径5mmの丸棒とし、全ネジ加工したものとす。 (5) ピンの頭は焼付け塗装品とすること。(タイルの色同等品) (6) 環境に配慮し低騒音、低振動、無粉塵のドリルを使用すること。 (7) 保証期間は、引渡しの日から10年とする。													
● その他	うきみられるタイルの枚数は2,562枚。 2,562枚の内2,290枚は外部足場、272枚はゴンドラ足場による施工とする。													

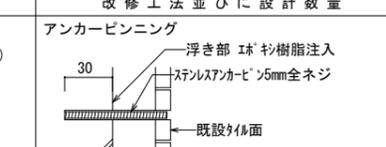
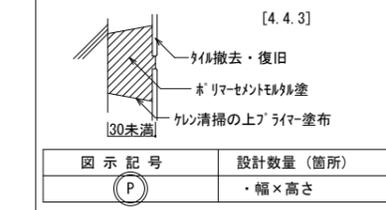
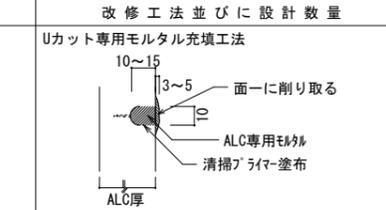
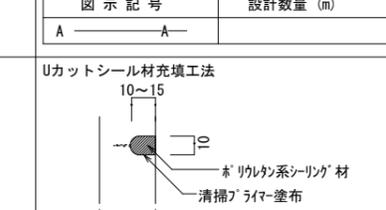
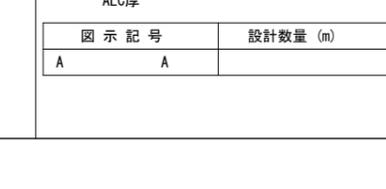
第7章 塗装改修工事

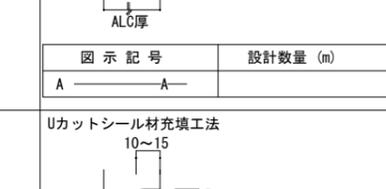
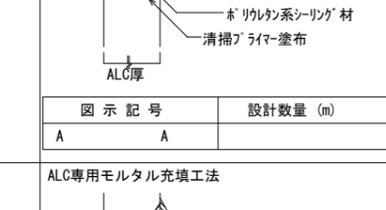
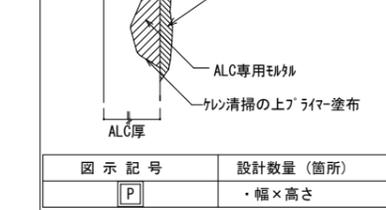
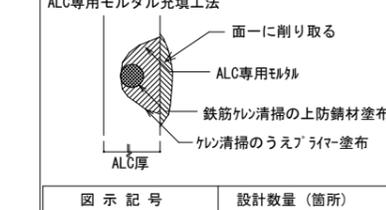
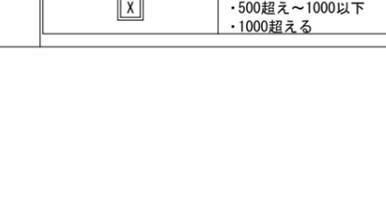
● 素地ごしらえ	<p>図示の無いものは下記による</p> <p><木部></p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>種別</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RA種</td> <td>既存塗膜の全面除去 → 汚れ付着物除去 → 研磨紙ざり → 節止め → 穴埋め → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RB種</td> <td>既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RC種</td> <td>汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> </table> <p><鉄鋼面></p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>種別</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RA種</td> <td>既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → 油類除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>RB種</td> <td>既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 油類除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RC種</td> <td>汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> </table> <p><タイル面及びガラス面></p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>種別</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RA種</td> <td>既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 吸込止め → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RB種</td> <td>既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 吸込止め → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RC種</td> <td>汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> </table> <p><コンクリート面及びALC面></p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>種別</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RA種</td> <td>既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 下地調整塗り → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>RB種</td> <td>既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 下地調整塗り → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RC種</td> <td>汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> </table> <p><せっこうボード面及びその他ボード面></p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>種別</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RA種</td> <td>既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RB種</td> <td>既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>RC種</td> <td>汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり</td> </tr> </table>	適用	種別	工程	○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ付着物除去 → 研磨紙ざり → 節止め → 穴埋め → 研磨紙ざり	○	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり	○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり	適用	種別	工程	○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → 油類除去 → 研磨紙ざり	●	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 油類除去 → 研磨紙ざり	○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり	適用	種別	工程	○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 吸込止め → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり	○	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 吸込止め → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり	○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり	適用	種別	工程	○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 下地調整塗り → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり	●	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 下地調整塗り → 研磨紙ざり	○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり	適用	種別	工程	○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり	○	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり	○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり
適用	種別	工程																																																											
○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ付着物除去 → 研磨紙ざり → 節止め → 穴埋め → 研磨紙ざり																																																											
○	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり																																																											
○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり																																																											
適用	種別	工程																																																											
○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → 油類除去 → 研磨紙ざり																																																											
●	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 油類除去 → 研磨紙ざり																																																											
○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり																																																											
適用	種別	工程																																																											
○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 吸込止め → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり																																																											
○	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 吸込止め → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり																																																											
○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり																																																											
適用	種別	工程																																																											
○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 下地調整塗り → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり																																																											
●	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → ひび割れ部の補修 → 下地調整塗り → 研磨紙ざり																																																											
○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり																																																											
適用	種別	工程																																																											
○	RA種	既存塗膜の全面除去 → 汚れ・付着物除去 → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり → パテしごき → 研磨紙ざり																																																											
○	RB種	既存塗膜の除去 → 汚れ・付着物除去 → 穴埋め、パテかい → 研磨紙ざり																																																											
○	RC種	汚れ・付着物除去 → 研磨紙ざり																																																											
● 錆止め塗料塗り	<p>図示の無いものは下記による</p> <p><材料> 屋外：A種、屋内：B種</p> <p><工程> 原則、1回目は製作工場で行い、2回目は現場で組立後に行う。</p>																																																												
● 仕上げ塗装	<p>図示の無いものは下記による</p> <p>木部：CL 鉄部：DP コンクリート部：EP</p>																																																												

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度	
					図面サイズ	
図面名称	特記仕様書(2)				A2	
設計事務所	株式会社CADS				A	
					代表	設計
		清水	鈴木	鈴木	-	041

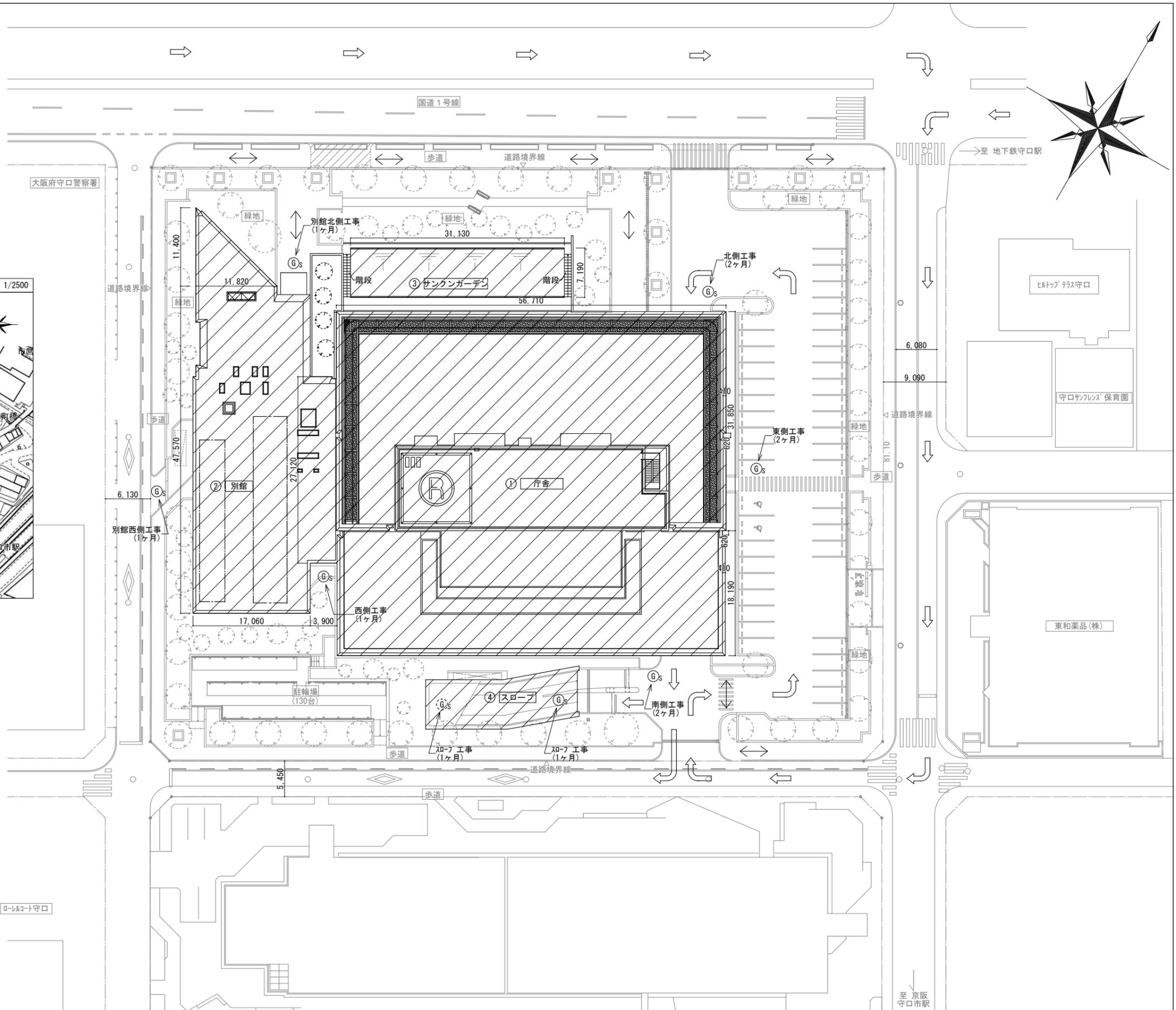
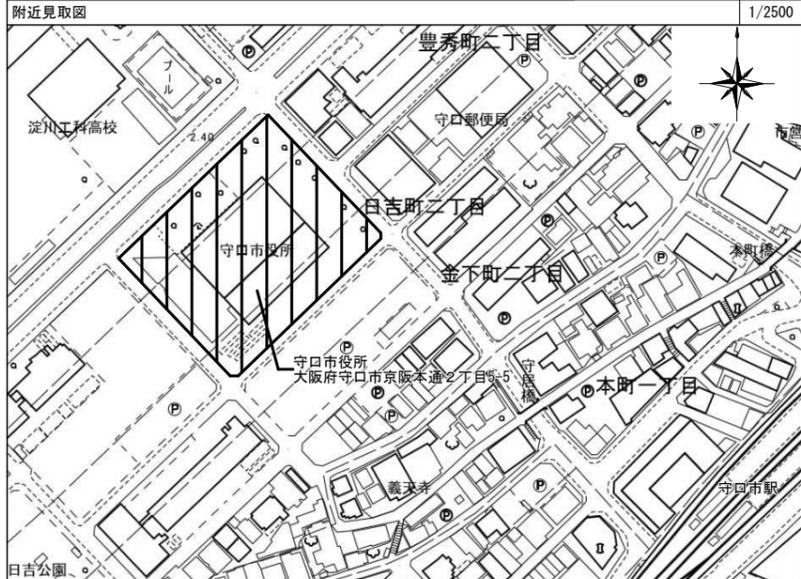
外壁改修詳細図 I. 特記事項の適用 (1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 (2) [] 内は、「公共建築改修工事標準仕様書」の項目、表番号を示す。 II. 設計数量の注意事項 本図設計数量は、調査による数量を基にした全体数量である為、 施工数量調査報告書により、工法を含み協議し決定するものである。									
1. 施工数量調査 ■調査方法 ・足場架設後、打診並びに目視による。 ■調査内容 ・ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 ・また、拳動の有無、漏水の有無、錆汁の有無を調査する。 ・はがれ、はく落、及び浮き部分を壁面に表示する。									
② コンクリート打放し外壁の改修工法 ○ひび割れ ○ひび割れ幅 0.2mm以上～1.0mm未満  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	コ		劣化状態 改修工法並びに設計数量 Uカットシール材充填工法 [4.2.6] 可とう性Eポキシ樹脂を充填する場合(3.イ)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	コ	
図示記号	設計数量 (m)								
コ									
図示記号	設計数量 (m)								
コ									
○ひび割れ幅1.0mm以上  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	コ		Uカットシール材充填工法 [4.2.6] シーリング材を充填する場合(3.ア)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	コ	
図示記号	設計数量 (m)								
コ									
図示記号	設計数量 (m)								
コ									
○欠損 ○厚30mm未満 (露筋の無い場合)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	コ		ポリマーセメントモルタル充填 [4.2.8(3)]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	コ	
図示記号	設計数量 (箇所)								
コ									
図示記号	設計数量 (箇所)								
コ									
・露筋 (構造耐力に関連しない部位)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	コ		露筋補修Eポキシ樹脂セメントモルタル充填 [4.2.8(2)] <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>コ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	コ	
図示記号	設計数量 (箇所)								
コ									
図示記号	設計数量 (箇所)								
コ									
劣化状態 改修工法並びに設計数量 Uカットシール材充填工法 [4.3.7(3.イ)] <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>モ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	モ		3. モルタル塗り外壁の改修工法 ・ひび割れ ・ひび割れ幅0.2mm以上 室内に漏水のない部位 <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>モ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	モ	
図示記号	設計数量 (m)								
モ									
図示記号	設計数量 (m)								
モ									

劣化状態 ・うき ・0.25 m ² 未満のうき (通常打撃で剥落しない部位) 部分エポキシ樹脂注入工法 	改修工法並びに設計数量 アンカーピンニング [4.3.6]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m²)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m ²)	タ															
図示記号	設計数量 (m ²)																		
タ																			
・うき ・0.25 m ² 未満のうき (通常打撃で剥落しない部位) 部分エポキシ樹脂注入工法 	<table border="1"> <tr><th>一般部分</th><th>アンカーピンの本数(本/ m²)</th><th>16</th></tr> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m²)</th><td></td></tr> <tr><td>タ</td><td></td><td></td></tr> <tr><th>指定部分</th><th>アンカーピンの本数(本/ m²)</th><th>25</th></tr> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m²)</th><td></td></tr> <tr><td>タ</td><td></td><td></td></tr> </table>	一般部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	16	図示記号	設計数量 (m ²)		タ			指定部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	25	図示記号	設計数量 (m ²)		タ		
一般部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	16																	
図示記号	設計数量 (m ²)																		
タ																			
指定部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	25																	
図示記号	設計数量 (m ²)																		
タ																			
・0.25 m ² 以上のうき (通常打撃で剥落しない部位) 全面エポキシ樹脂注入工法 	アンカーピンニング [4.3.6] アンカーピンの形状は、 部分Eポキシ樹脂注入工法参照 <table border="1"> <tr><th>一般部分</th><th>アンカーピンの本数(本/ m²)</th><th>13</th></tr> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m²)</th><td></td></tr> <tr><td>タ</td><td></td><td></td></tr> <tr><th>指定部分</th><th>アンカーピンの本数(本/ m²)</th><th>20</th></tr> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m²)</th><td></td></tr> <tr><td>タ</td><td></td><td></td></tr> </table>	一般部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	13	図示記号	設計数量 (m ²)		タ			指定部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	20	図示記号	設計数量 (m ²)		タ		
一般部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	13																	
図示記号	設計数量 (m ²)																		
タ																			
指定部分	アンカーピンの本数(本/ m ²)	20																	
図示記号	設計数量 (m ²)																		
タ																			
・欠損 ・厚30mm未満 (露筋の無い場合)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		ポリマーセメントモルタル充填 [4.3.9(3)]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ											
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
・露筋 (構造耐力に関連しない部位)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		露筋補修Eポキシ樹脂セメントモルタル充填 [4.3.9(2)]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ											
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
劣化状態 ○ひび割れ ○ひび割れ幅0.2mm以上の 部分でうき、漏水等のある 部分 	改修工法並びに設計数量 タイルを撤去する場合 [4.4.2]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ															
図示記号	設計数量 (m)																		
タ																			
○目地ひび割れ幅0.2mm 以上で漏水等のない部分 <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ		目地改修工法 [4.4.2] <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ											
図示記号	設計数量 (m)																		
タ																			
図示記号	設計数量 (m)																		
タ																			

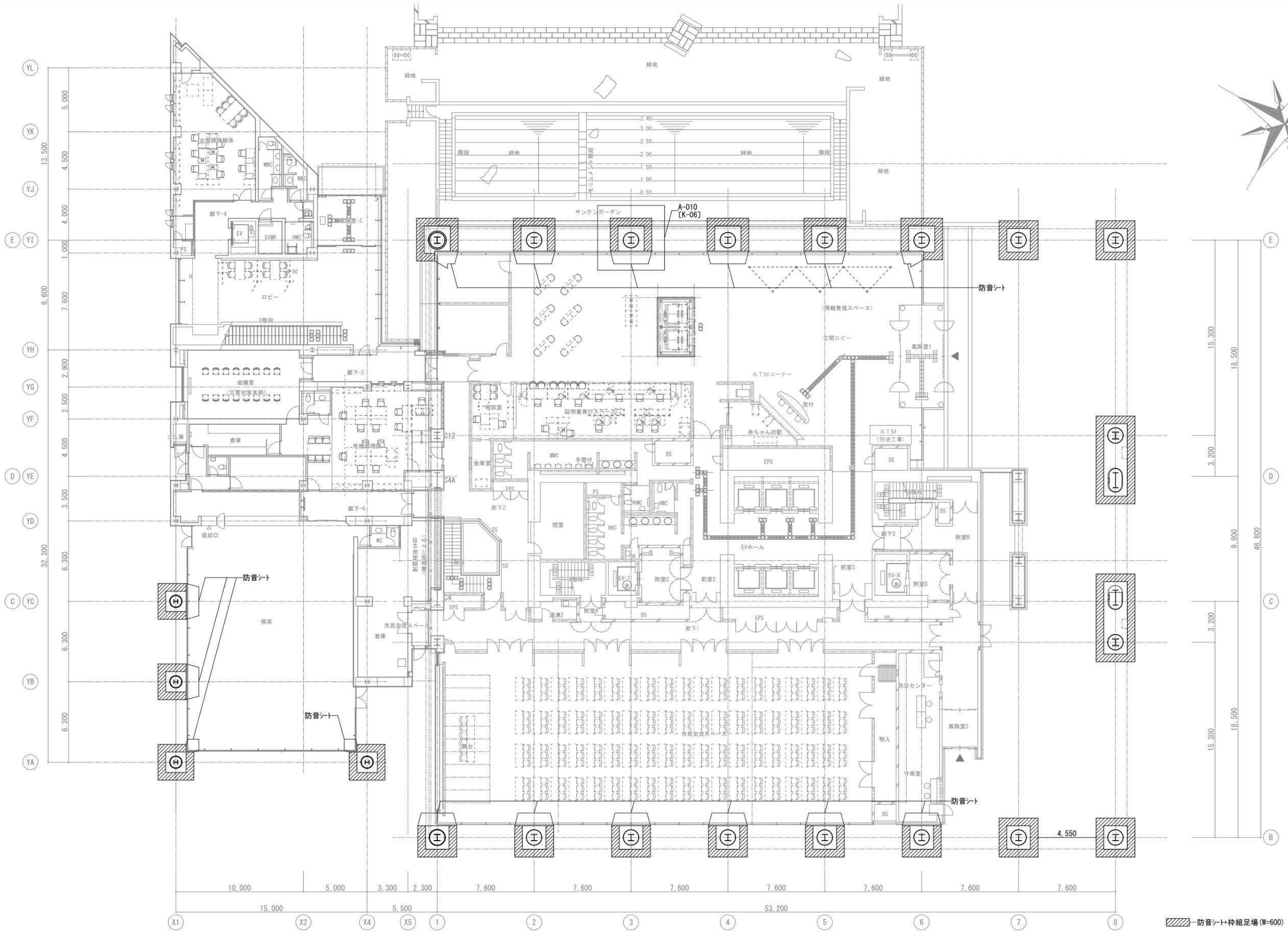
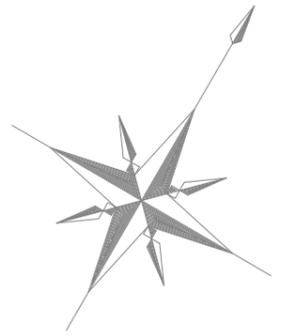
劣化状態 ○うき ○0.25 m ² 未満のうき (通常打撃で剥落しない部位) 部分エポキシ樹脂注入工法 	改修工法並びに設計数量 アンカーピンニング  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (穴)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (穴)	タ															
図示記号	設計数量 (穴)																		
タ																			
○0.25 m ² 以上のうき (通常打撃で剥落しない部位) 全面エポキシ樹脂注入工法 	アンカーピンニング アンカーピンの形状は、部分Eポキシ樹脂注入工法参照 <table border="1"> <tr><th>一般部分</th><th>アンカーピンの本数(本/ 枚)</th><th>1</th></tr> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (穴)</th><td></td></tr> <tr><td>タ</td><td></td><td></td></tr> <tr><th>指定部分</th><th>アンカーピンの本数(本/ 枚)</th><th>1</th></tr> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (穴)</th><td></td></tr> <tr><td>タ</td><td></td><td></td></tr> </table>	一般部分	アンカーピンの本数(本/ 枚)	1	図示記号	設計数量 (穴)		タ			指定部分	アンカーピンの本数(本/ 枚)	1	図示記号	設計数量 (穴)		タ		
一般部分	アンカーピンの本数(本/ 枚)	1																	
図示記号	設計数量 (穴)																		
タ																			
指定部分	アンカーピンの本数(本/ 枚)	1																	
図示記号	設計数量 (穴)																		
タ																			
○欠損 ○厚30mm未満 (露筋の無い場合)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		ポリマーセメントモルタル充填 [4.4.3]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ											
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
○厚30mm以上 (露筋の無い場合)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		エポキシ樹脂セメントモルタル充填 [4.4.3]  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ											
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
・セパレータ跡、アンカー跡 処理  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		エポキシ樹脂セメントモルタル充填  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ											
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
図示記号	設計数量 (箇所)																		
タ																			
劣化状態 ・ひび割れ ・ひび割れ幅0.3mm以上 (室内に漏水の無い場合) 	改修工法並びに設計数量 Uカット専用モルタル充填工法 <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ															
図示記号	設計数量 (m)																		
タ																			
・ひび割れ幅0.3mm以上 (室内に漏水の有る場合) 	Uカットシール材充填工法 <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ															
図示記号	設計数量 (m)																		
タ																			

劣化状態 ・ひび割れ ・ひび割れ幅0.3mm以上 (室内に漏水の無い場合) 	改修工法並びに設計数量 Uカット専用モルタル充填工法  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ					
図示記号	設計数量 (m)								
タ									
・ひび割れ幅0.3mm以上 (室内に漏水の有る場合) 	Uカットシール材充填工法  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (m)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (m)	タ					
図示記号	設計数量 (m)								
タ									
・欠損 (露筋の無い場合)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		ALC専用モルタル充填工法  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ	
図示記号	設計数量 (箇所)								
タ									
図示記号	設計数量 (箇所)								
タ									
・露筋 (構造耐力に関連しない部位)  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ		ALC専用モルタル充填工法  <table border="1"> <tr><th>図示記号</th><th>設計数量 (箇所)</th></tr> <tr><td>タ</td><td></td></tr> </table>	図示記号	設計数量 (箇所)	タ	
図示記号	設計数量 (箇所)								
タ									
図示記号	設計数量 (箇所)								
タ									
工事名称 庁舎外壁改修工事 令和6年度 図面サイズ	外壁改修詳細図 A2								
設計事務所 株式会社CADS 代表 清水 鈴木 鈴木	縮尺 1/100								

(1) 工事名称	庁舎外壁改修工事
(2) 建築場所	守口市京阪本通2丁目5番5号
(3) 工事対象建築物	守口市役所庁舎
工事概要	
・外壁改修工事	
劣化部補修	
吹付塗材やり替え	
タイル洗い	
目地シールやり替え	
石綿除去	
・建具改修(カーニング、シールやり替え)	
サッシカーニング	
シールやり替え	
・塗装改修工事	
鉄部塗装やり替え	
凡例	
[斜線] ...本業務範囲を示す	
[矢印] ...工事車両通行ルート	
[矢印] ...歩行者通行ルート	
⑥s ...ガードマン(スタッフ) 220人	



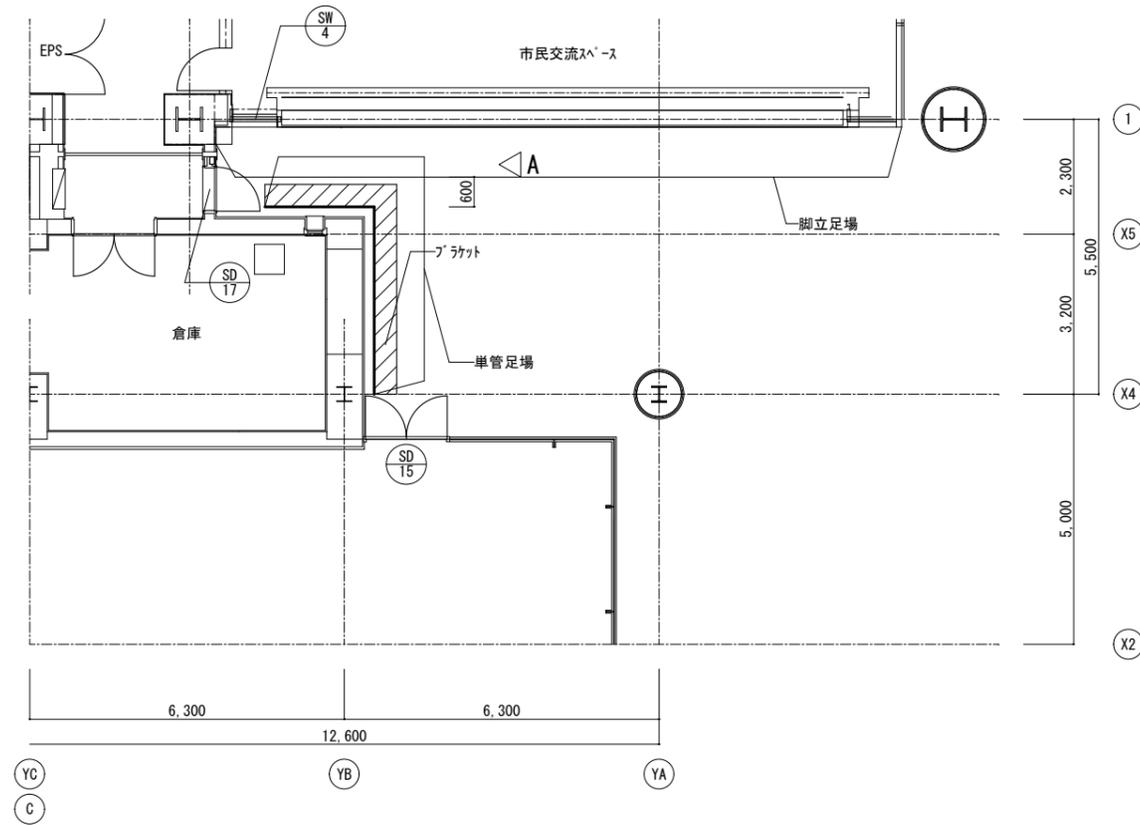
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	附近見取図・配置図・仮設計画図(1)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	005
	清水	鈴木	鈴木	1/400	041



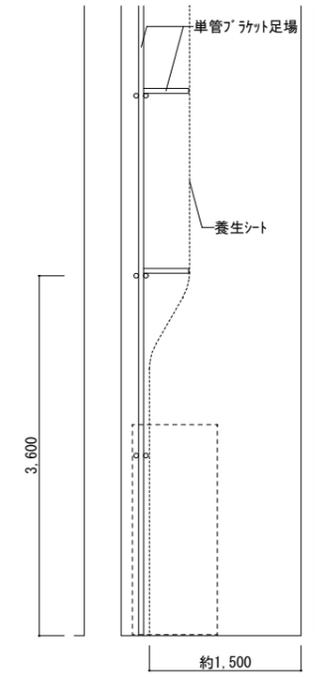
1階平面図 S=1:200

防音シート+枠組足場(W=600)

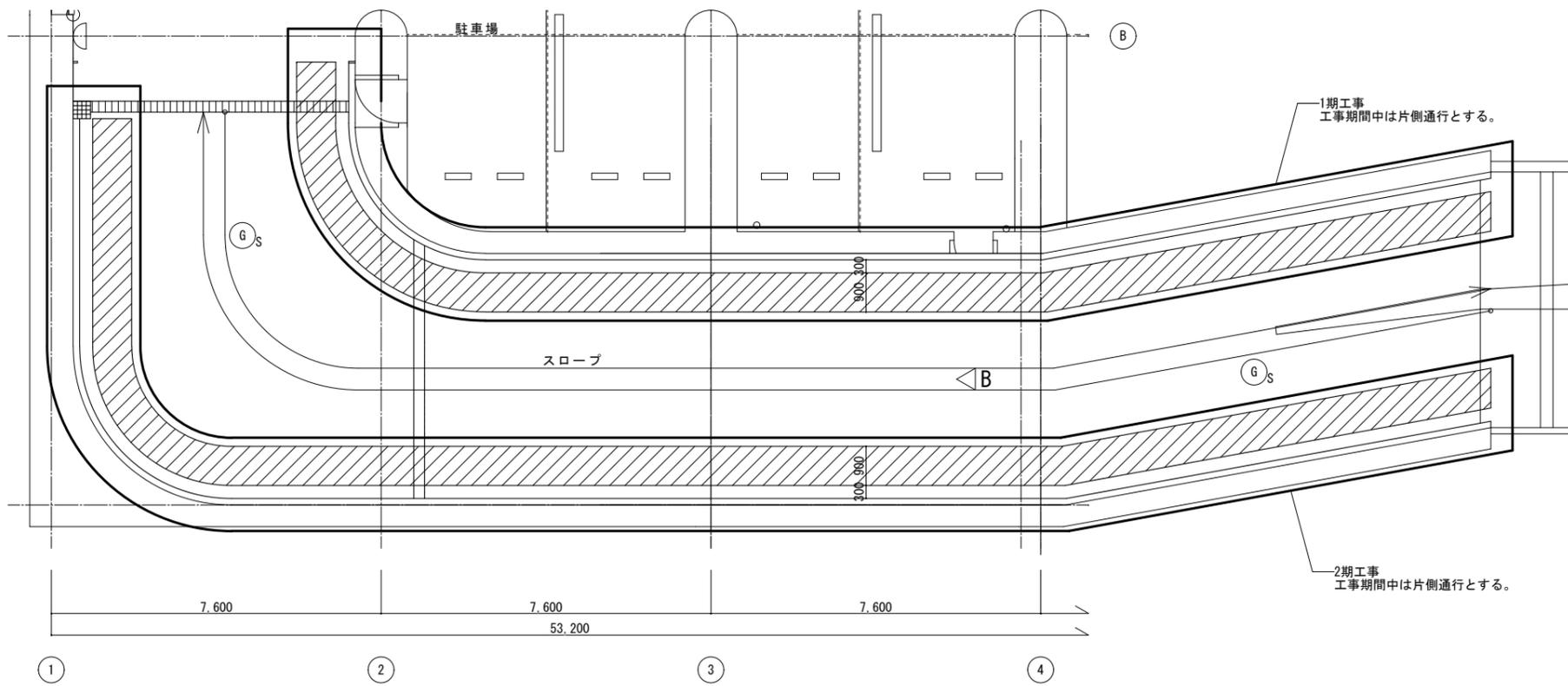
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	仮設計画図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	006
	清水	鈴木	鈴木	1/200	041



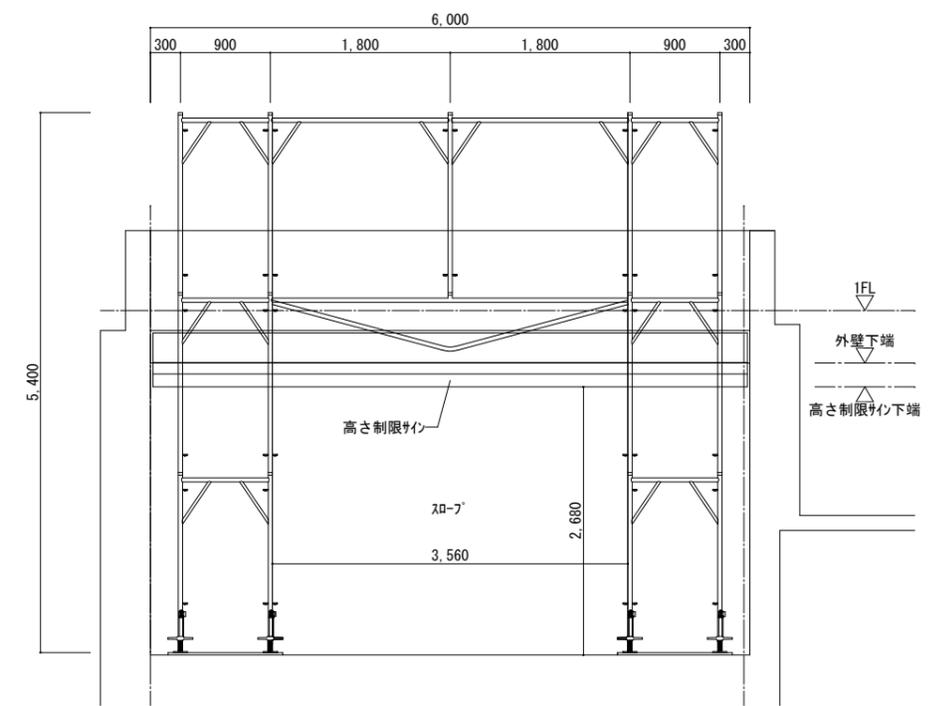
1F南側出入口仮設計画図 S=1/100



単管ブケットA面仮設詳細図 S=1/50

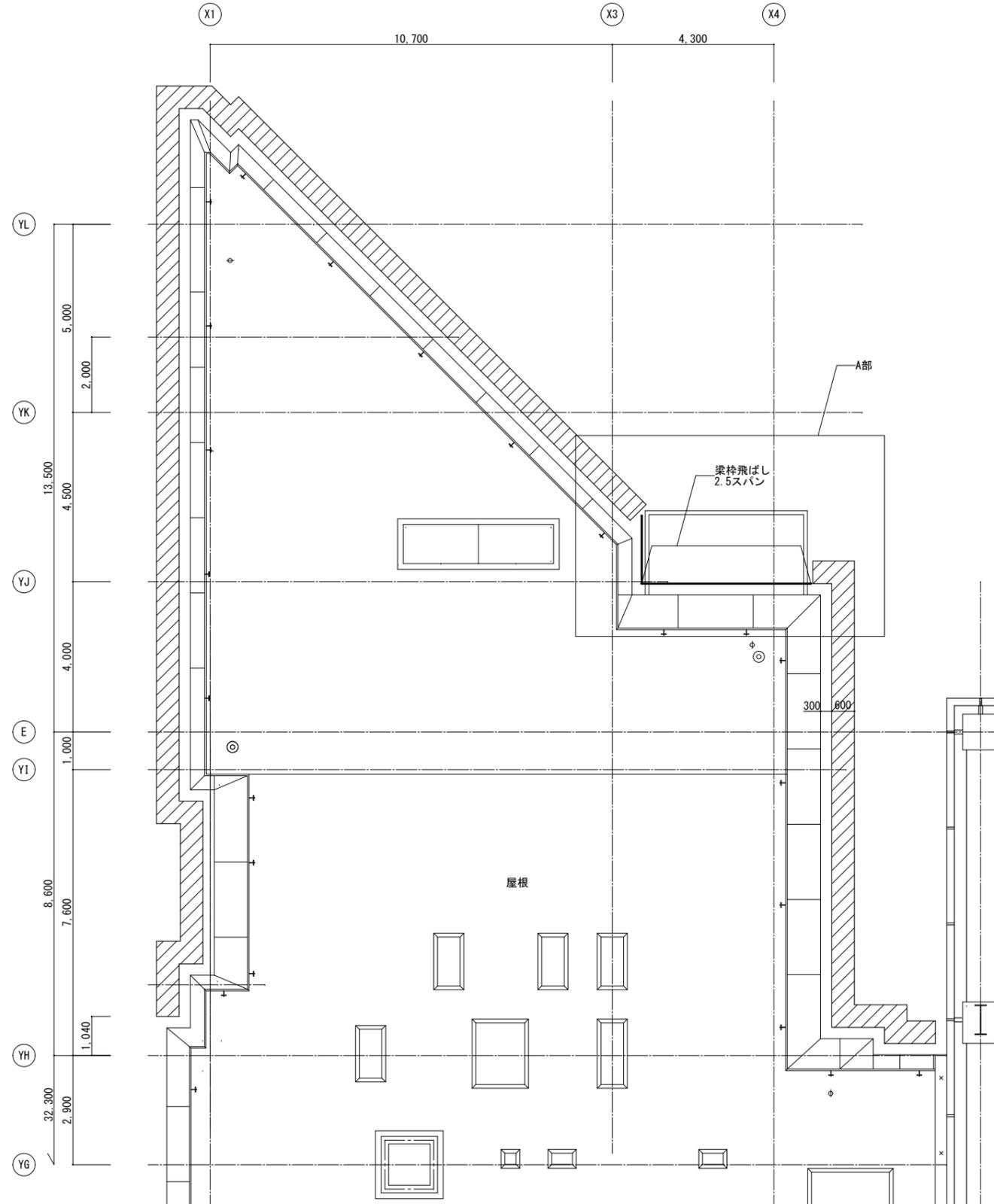


スロープ仮設計画図 S=1/100

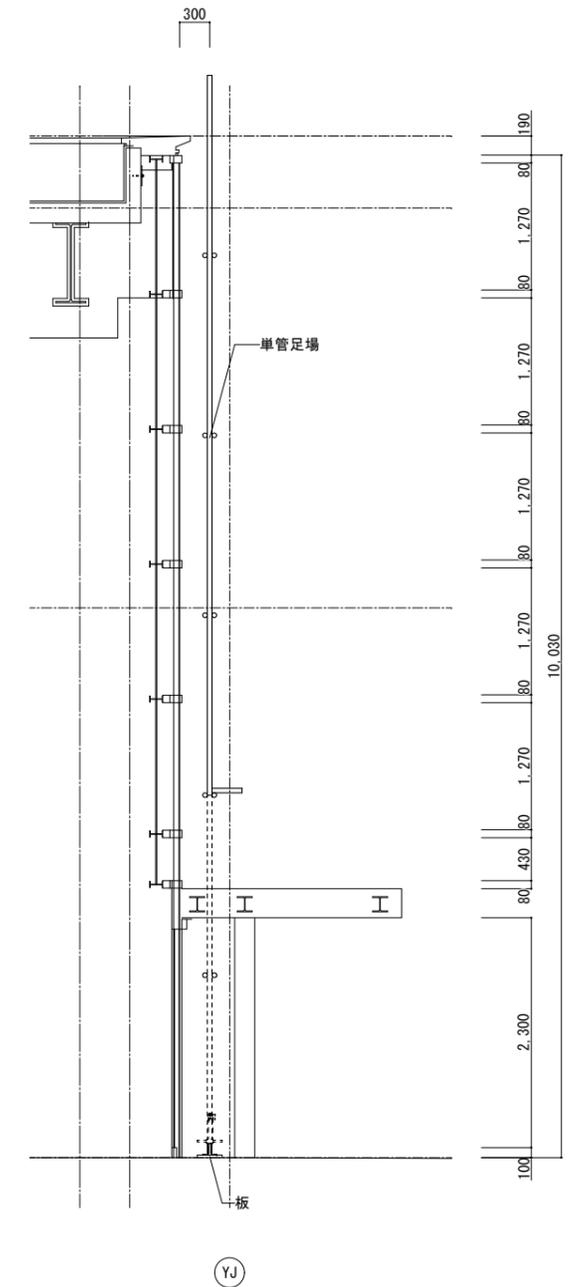
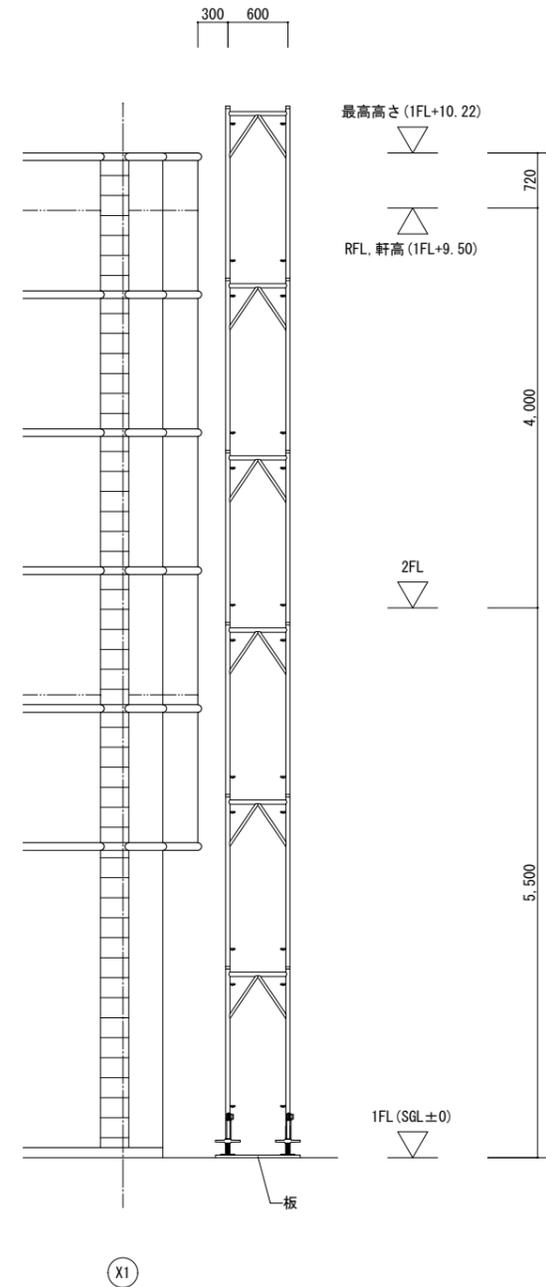


スロープB面仮設詳細図 S=1/50

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	仮設計画図(3)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表設計作図縮尺				A
	清水	鈴木	鈴木	1/50, 1/100	007/041

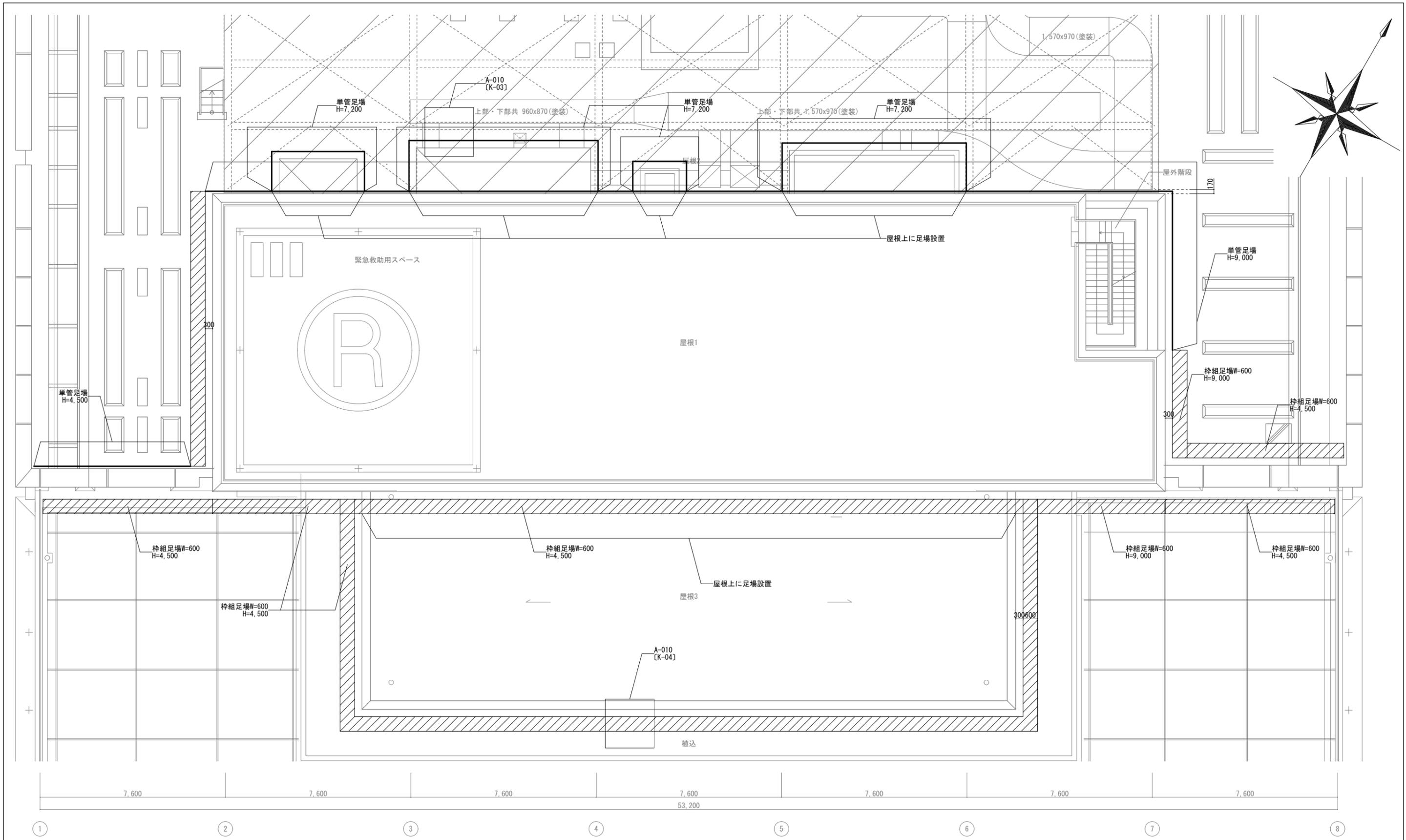


別館 R階平面図 S=1/100



...枠組足場 W=600
 ...単管アライメント足場

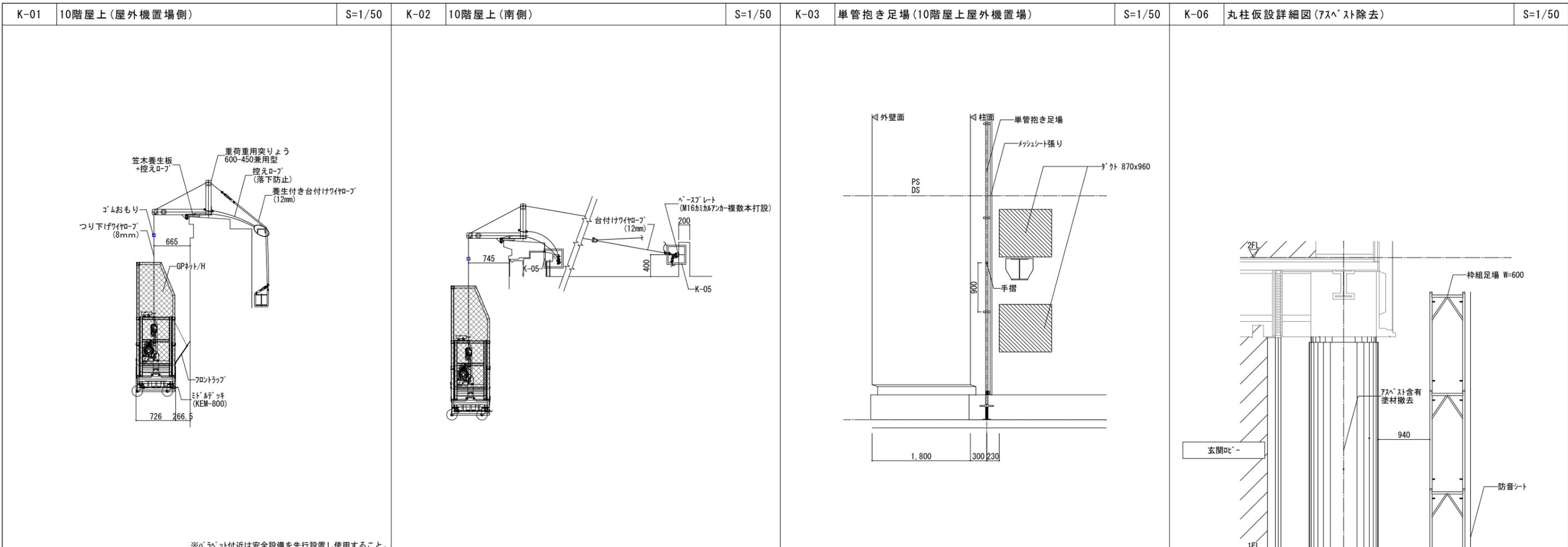
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称	仮設計画図(4)				A2
設計事務所	株式会社CADS			代表設計作図縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/50, 1/100	008 041



本館 RH階平面図 S=1/100

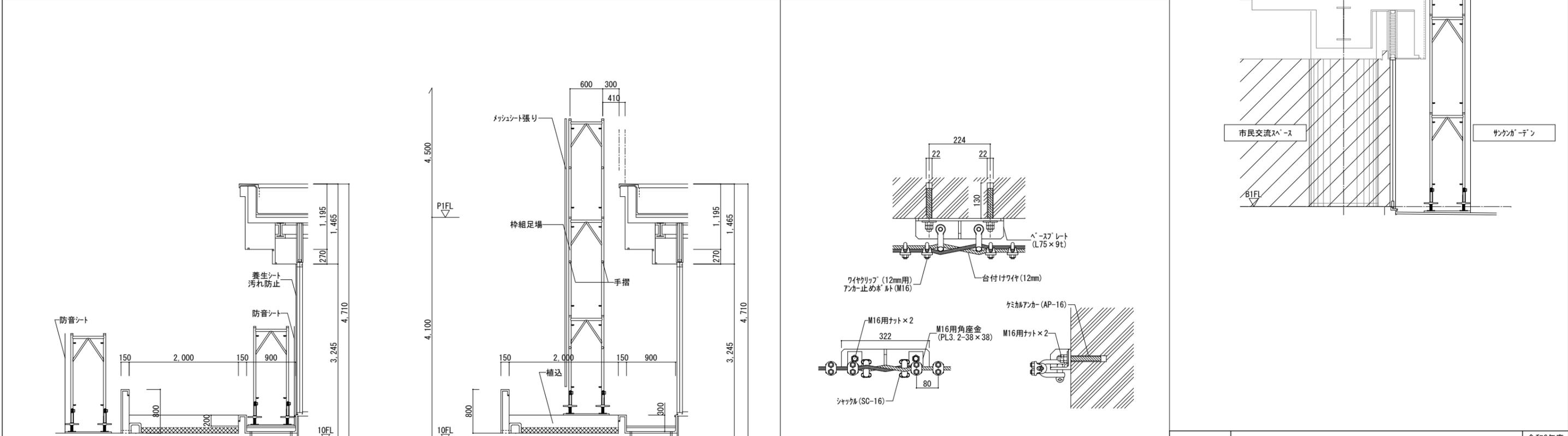
...枠組足場 W=600
 ...単管足場

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称	仮設計画図(5)				A2
設計事務所	株式会社CADS			代表設計作図縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/100	009 041



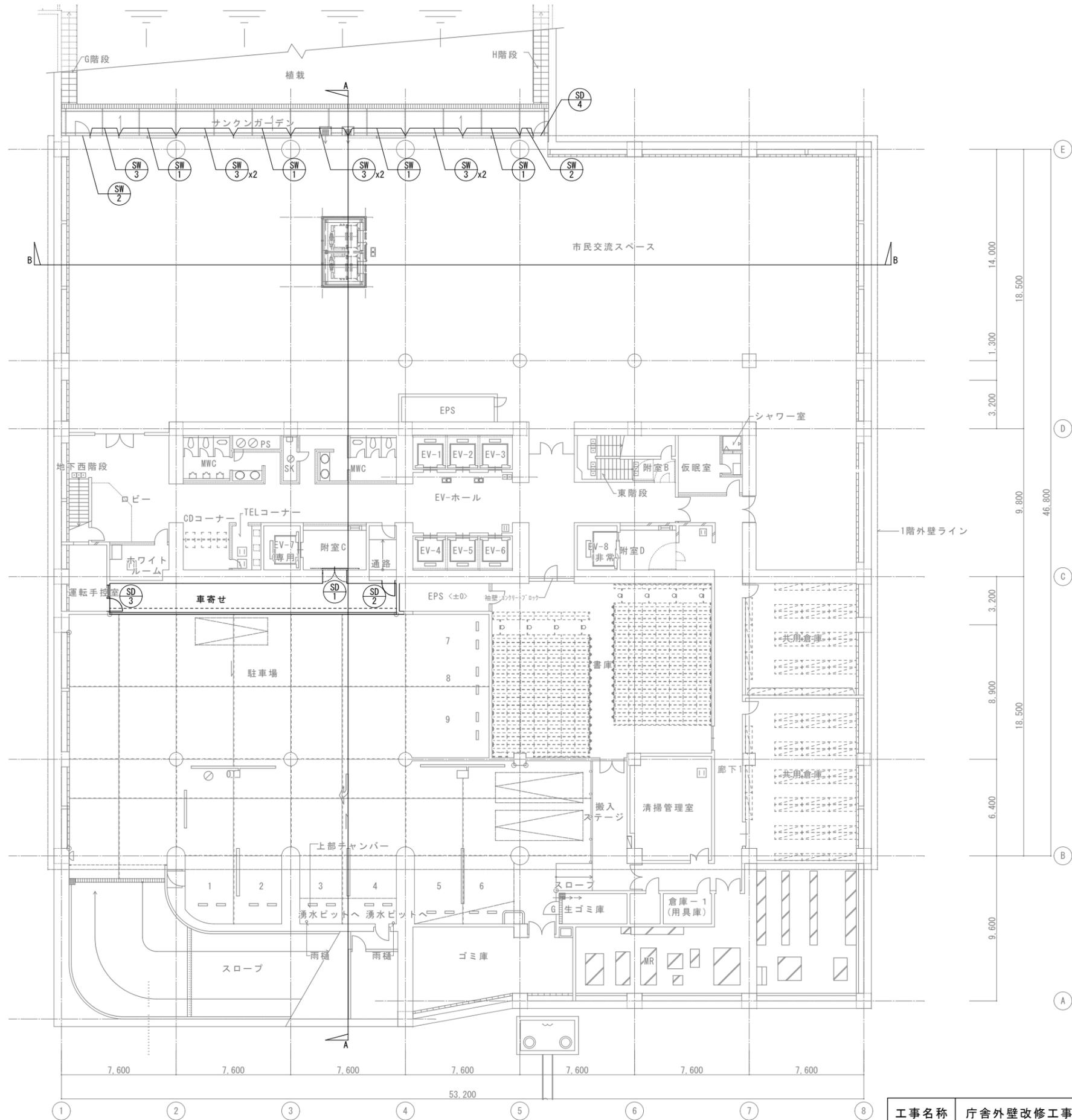
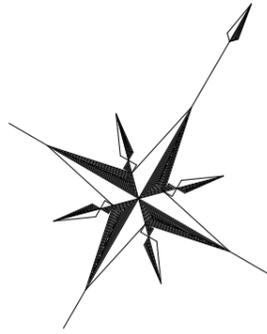
※ベースプレート付近は安全設備を先行設置し使用すること。

K-04 10階花壇仮設詳細図 (W=600) S=1/50 K-05 ベースプレート詳細図 S=1/10

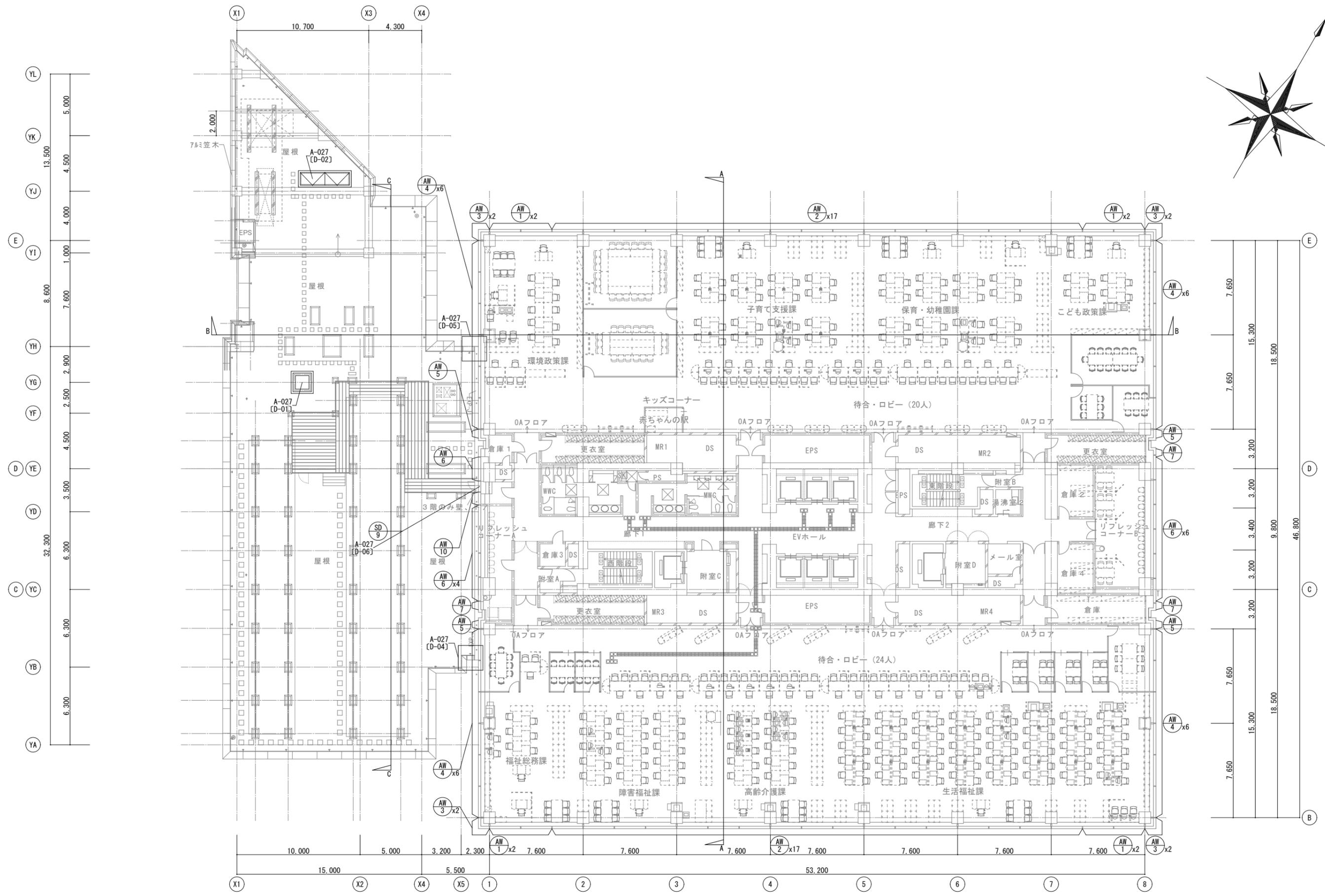
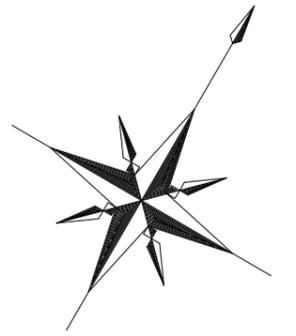


※塗装は7スベスト除去の後行うこと。

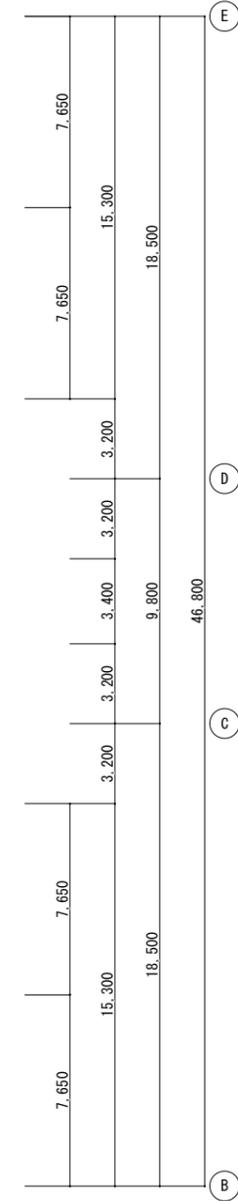
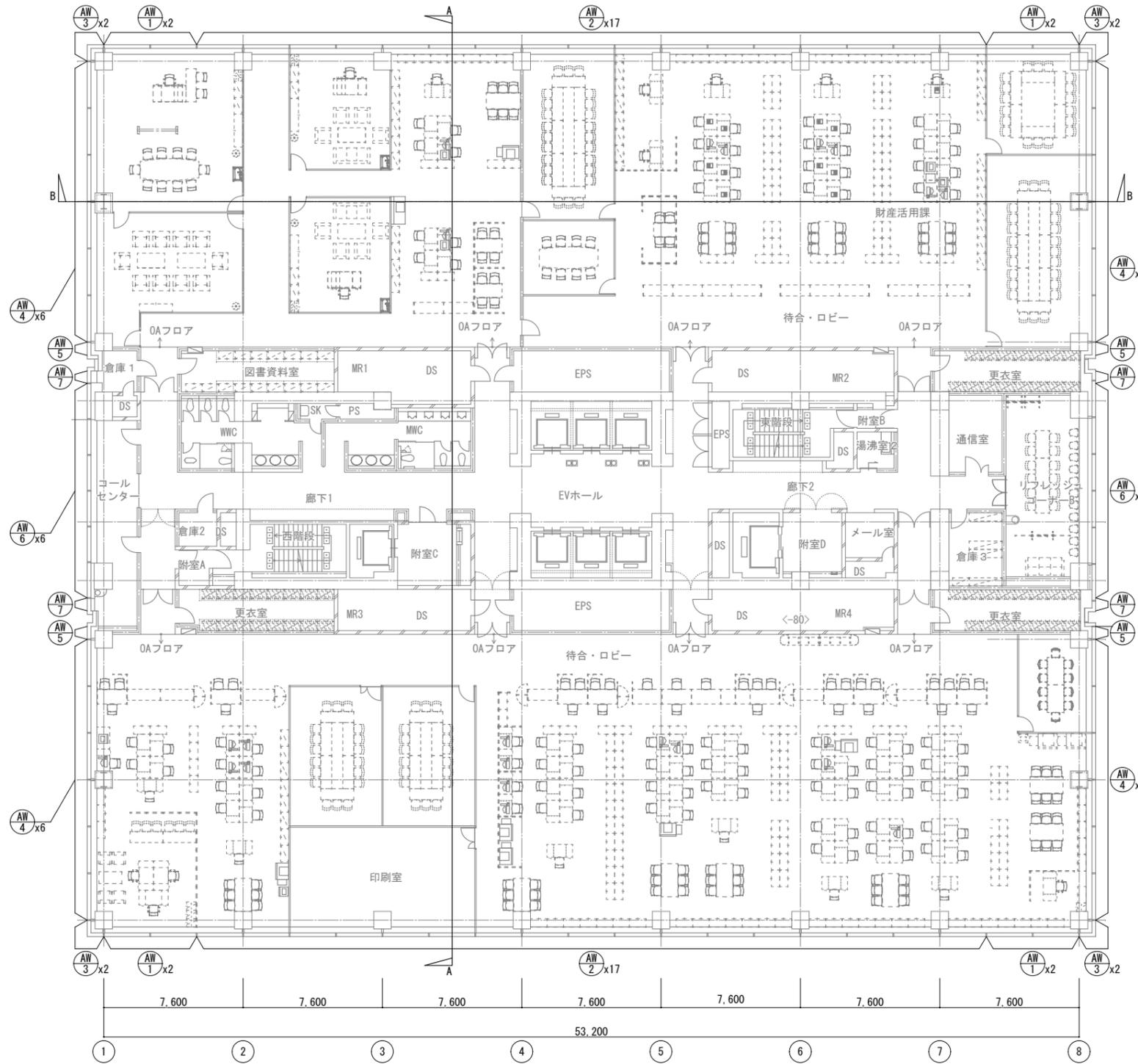
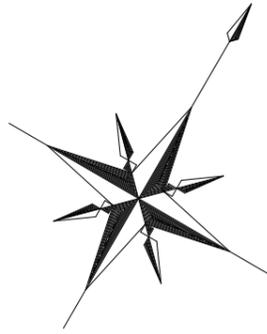
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称	仮設詳細図				A2
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	010 041
	清水	鈴木	鈴木	1/50	



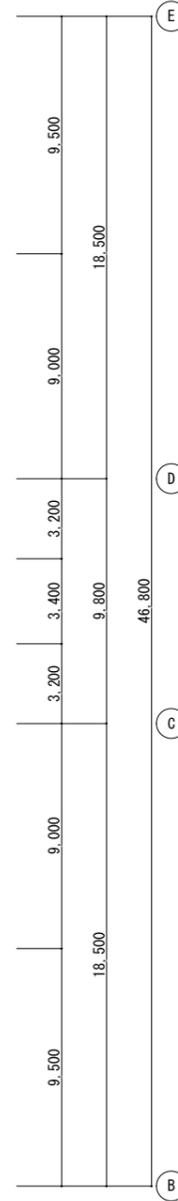
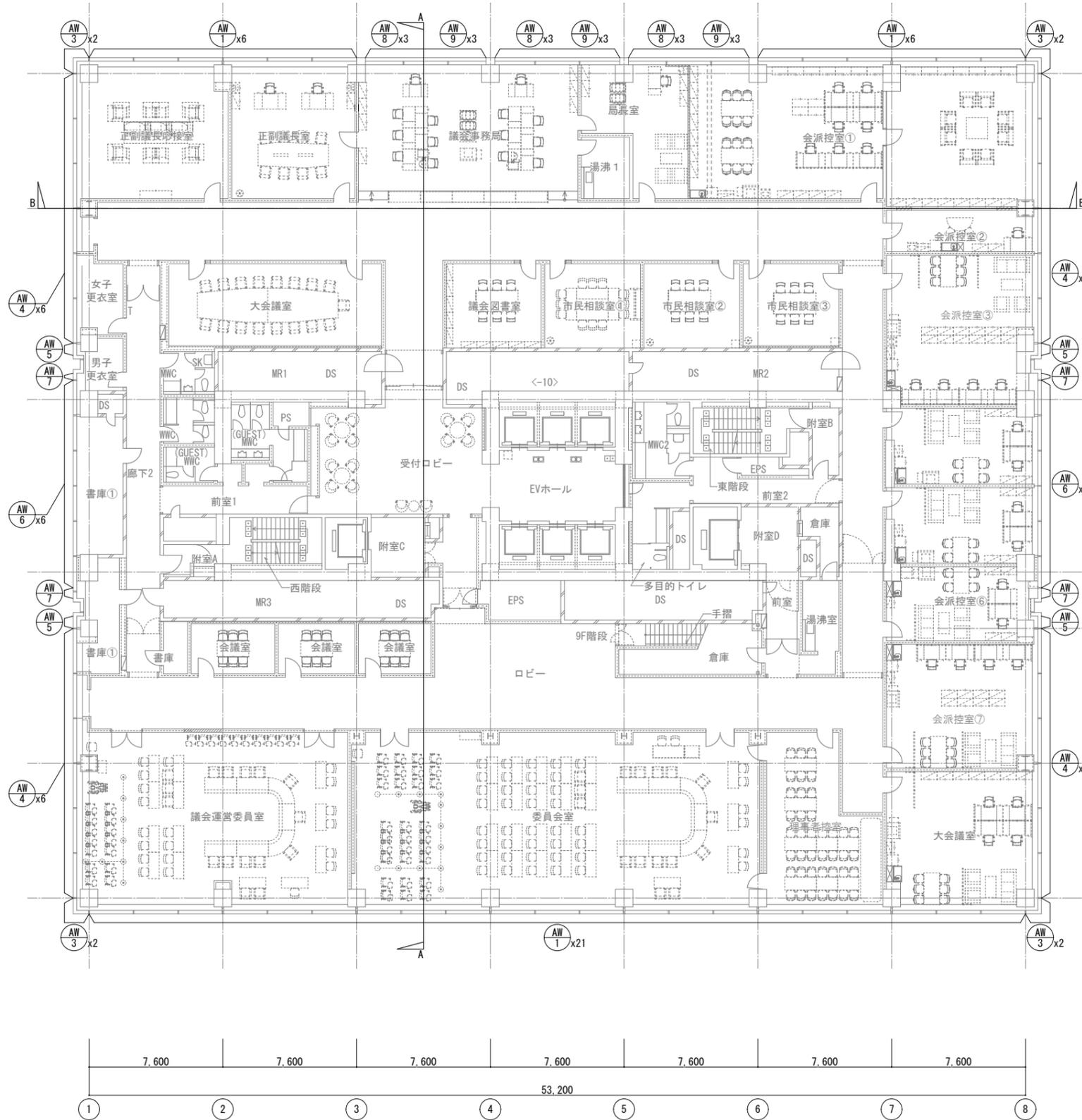
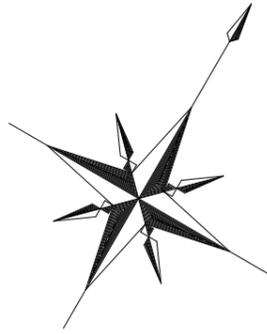
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称	B1階平面図				A2
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	011 041
	清水	鈴木	鈴木	1/200	



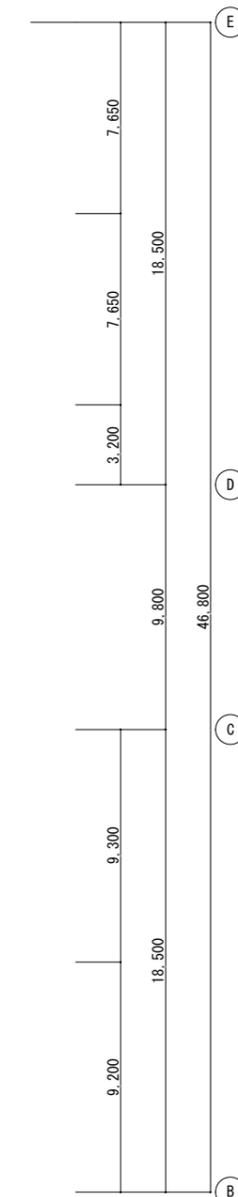
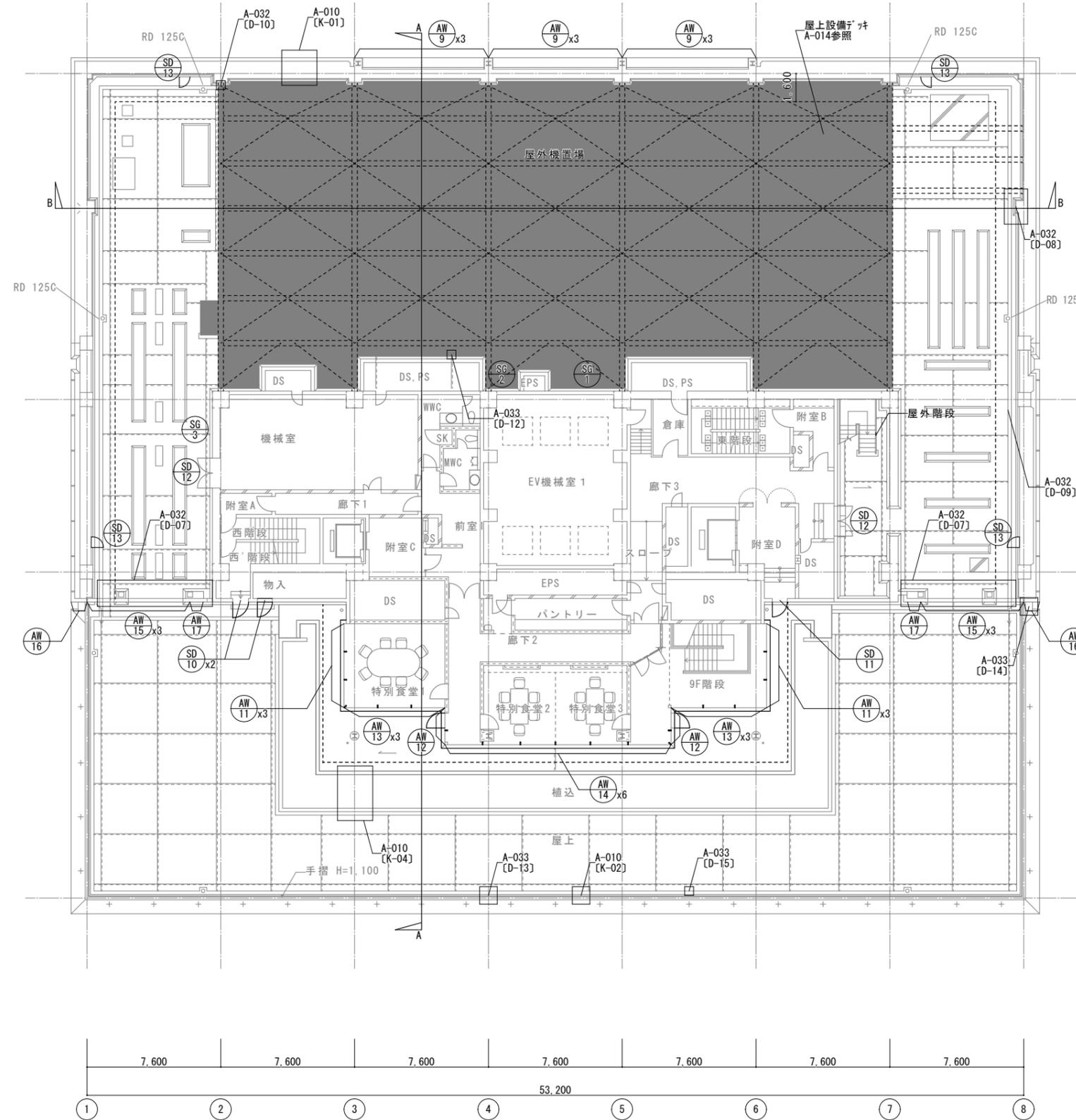
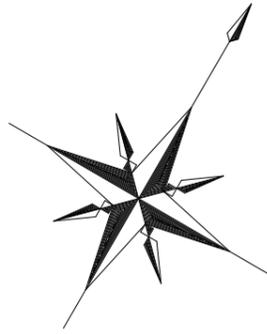
工事名称		庁舎外壁改修工事			令和6年度
図面名称		3階平面図			図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	014 041



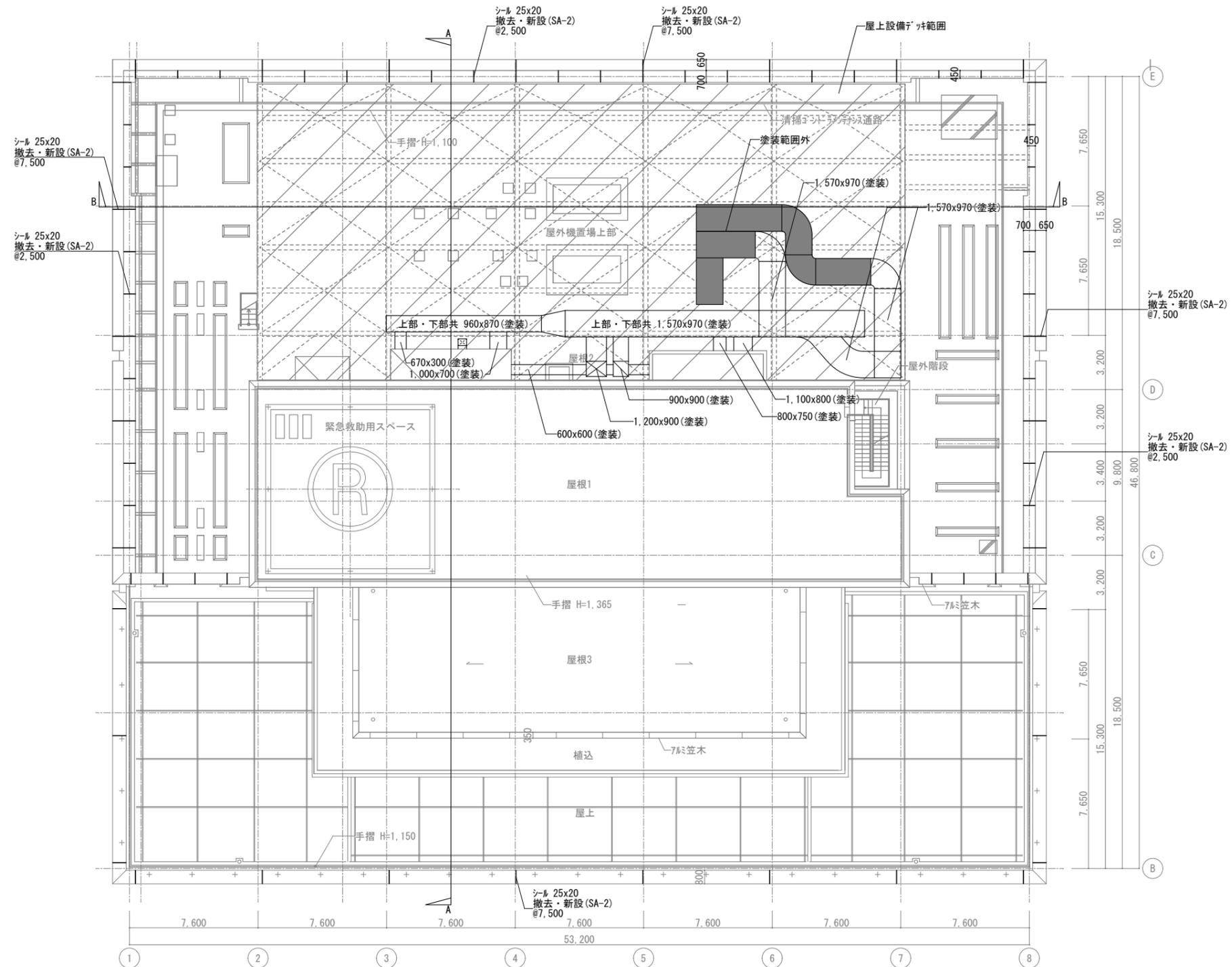
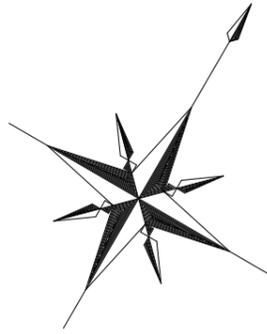
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度			
図面名称	基準階平面図(4-8階)				図面サイズ			
設計事務所	株式会社CADS				A2			
					代表設計作図縮尺			
					清水	鈴木	鈴木	1/200



工事名称		庁舎外壁改修工事			令和6年度
図面名称		9階平面図			図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表設計作図縮尺				A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	016 041

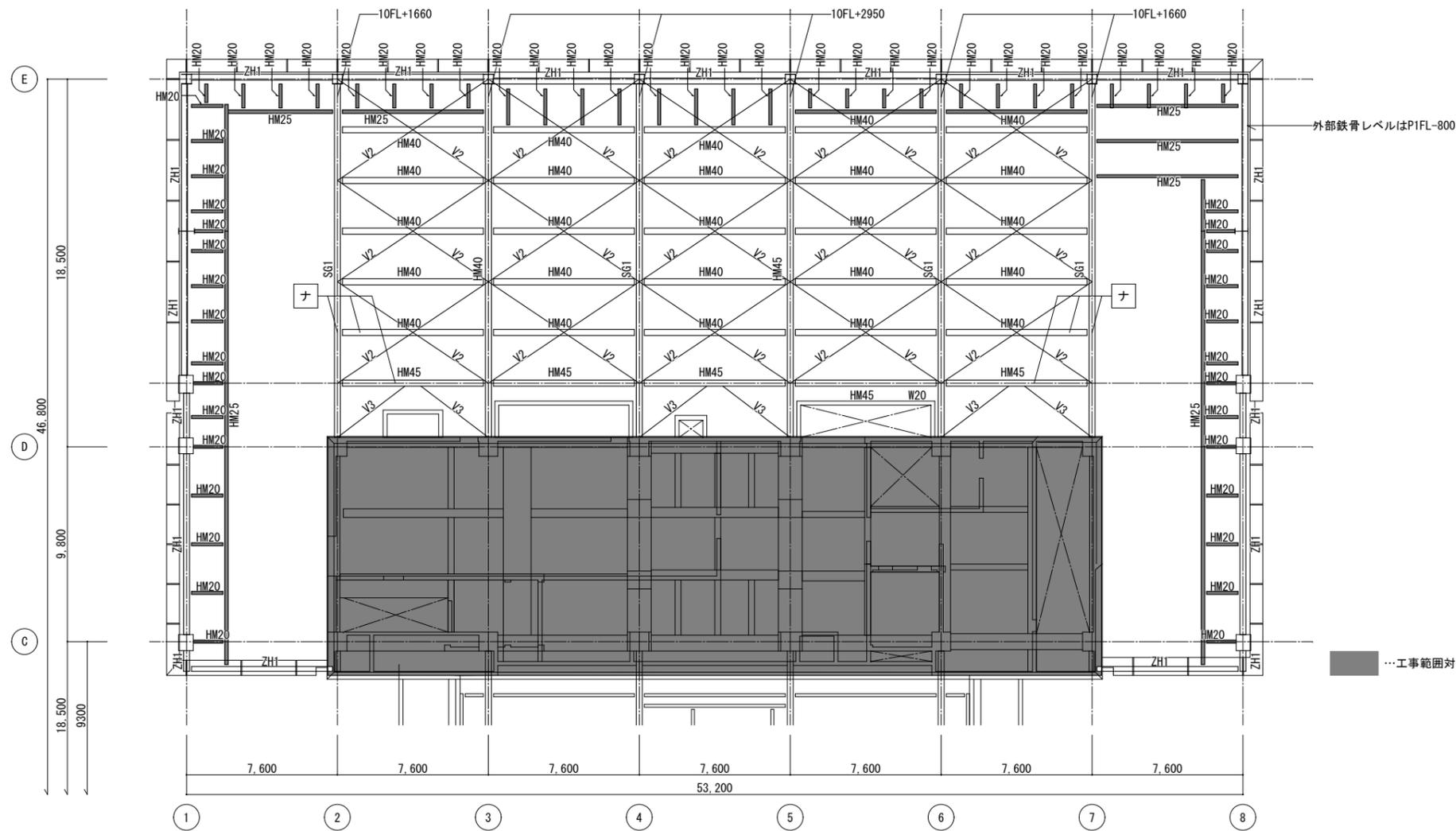


工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	10階平面図				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計	A2
	清水	鈴木	鈴木	図縮尺	A
			1/200		017/041



※塗装改修仕様
 下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
 ※■部はスリス部分につき、塗装範囲外

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称	PH階平面図・配管等設備図				A2
設計事務所 株式会社CADS	代表設計者			図縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	018 041



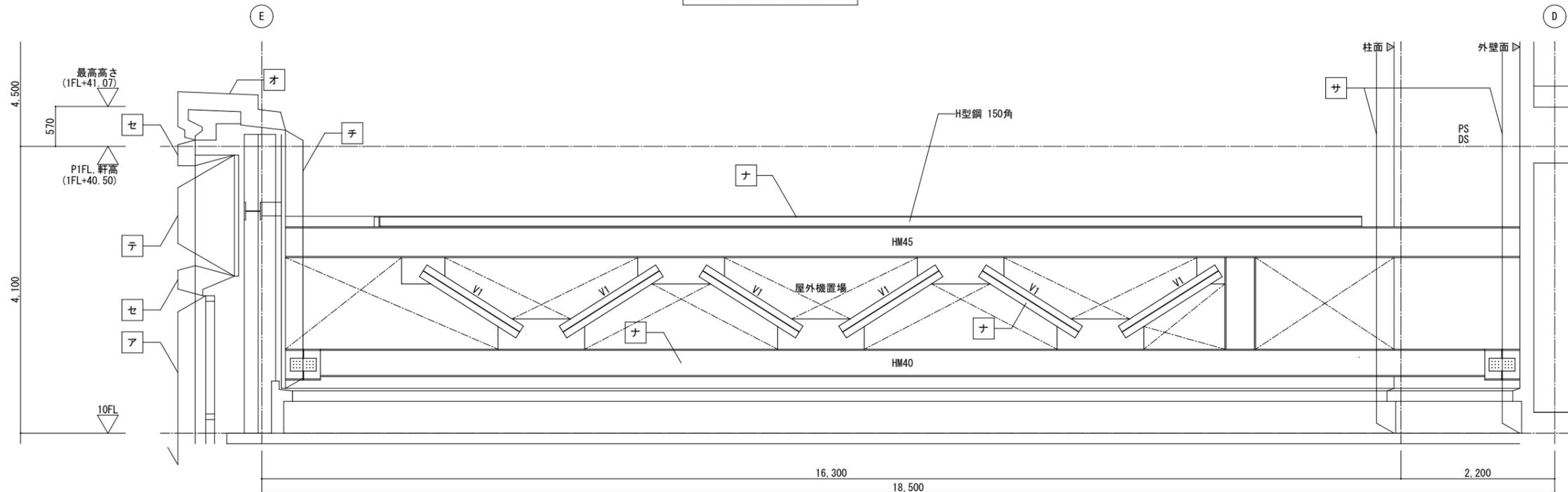
PH階鉄骨伏図 S=1:200

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラリ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ゲート	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ笠木 ｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾈﾙ	下地調整C-2、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水X-2
カ	笠木	ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄ笠木 ｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾈﾙ	クリーニング
キ	笠木	ｱﾙﾐ笠木 ｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾈﾙ	撤去・新設
ク	笠木	ｱﾙﾐ笠木 ｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾈﾙ	クリーニング
ケ	外壁	ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ 磁器質45ﾆｯﾄﾞﾀｲﾙ打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄの上、磁器質45ﾆｯﾄﾞﾀｲﾙ打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ｸﾚﾝ工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ｸﾚﾝ工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上磁器質ﾓﾉｲﾀｲﾙ張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	ｱﾙﾐﾊﾞﾙ ｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾈﾙ	クリーニング
ソ	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しの上塗装仕上	劣化部補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し成形版(ﾘｯﾌﾟ付) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾈﾙ(常温型)塗装	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
○		ﾀｲﾙ目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		ｱﾙﾐﾊﾞﾙ 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

...7ｽﾊﾞ ｵﾝ含有建材を示す

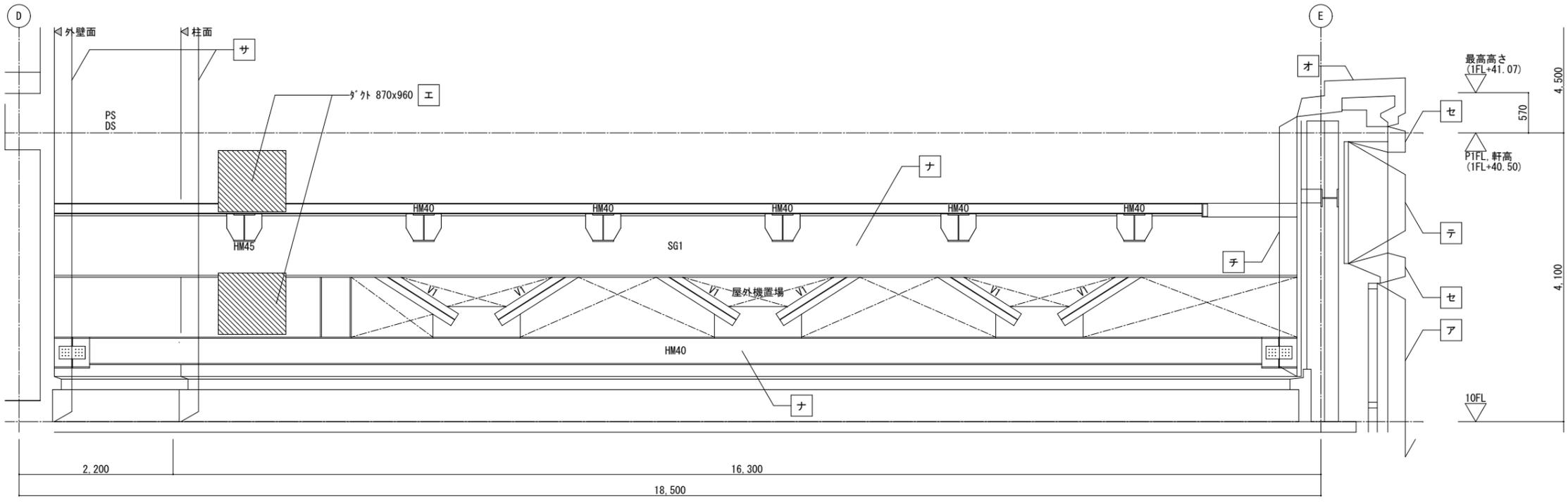
符号	部材断面
HM20	H-194x150x 6x 9
HM25	H-244x175x 7x 11
HM40	H-390x300x 10x 16
HM45	H-440x300x 11x 18
ZH1	H-250x250x 9x 14
V1	2CT-140x200x 8x 12
V2	CT-170x250x 9x 14
V3	2CT-170x250x 9x 14
SG1	H-900x300x 16x 28

...工事範囲対象外を示す

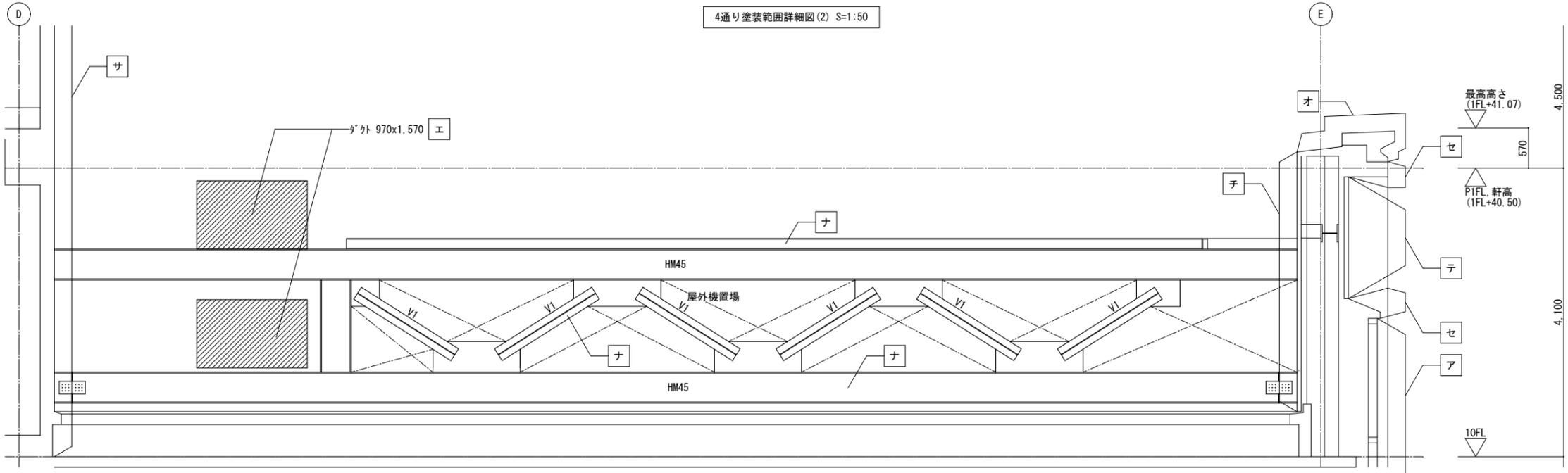


3通り塗装範囲詳細図(1) S=1:50

工事名称	庁舎外壁改修工事	令和6年度 図面サイズ
図面名称	PH階鉄骨伏図・塗装範囲詳細図(1)	A2
設計事務所	株式会社CADS	A
	代表設計者 縮尺	019 041
	清水 鈴木 鈴木	1/50



4通り塗装範囲詳細図(2) S=1:50

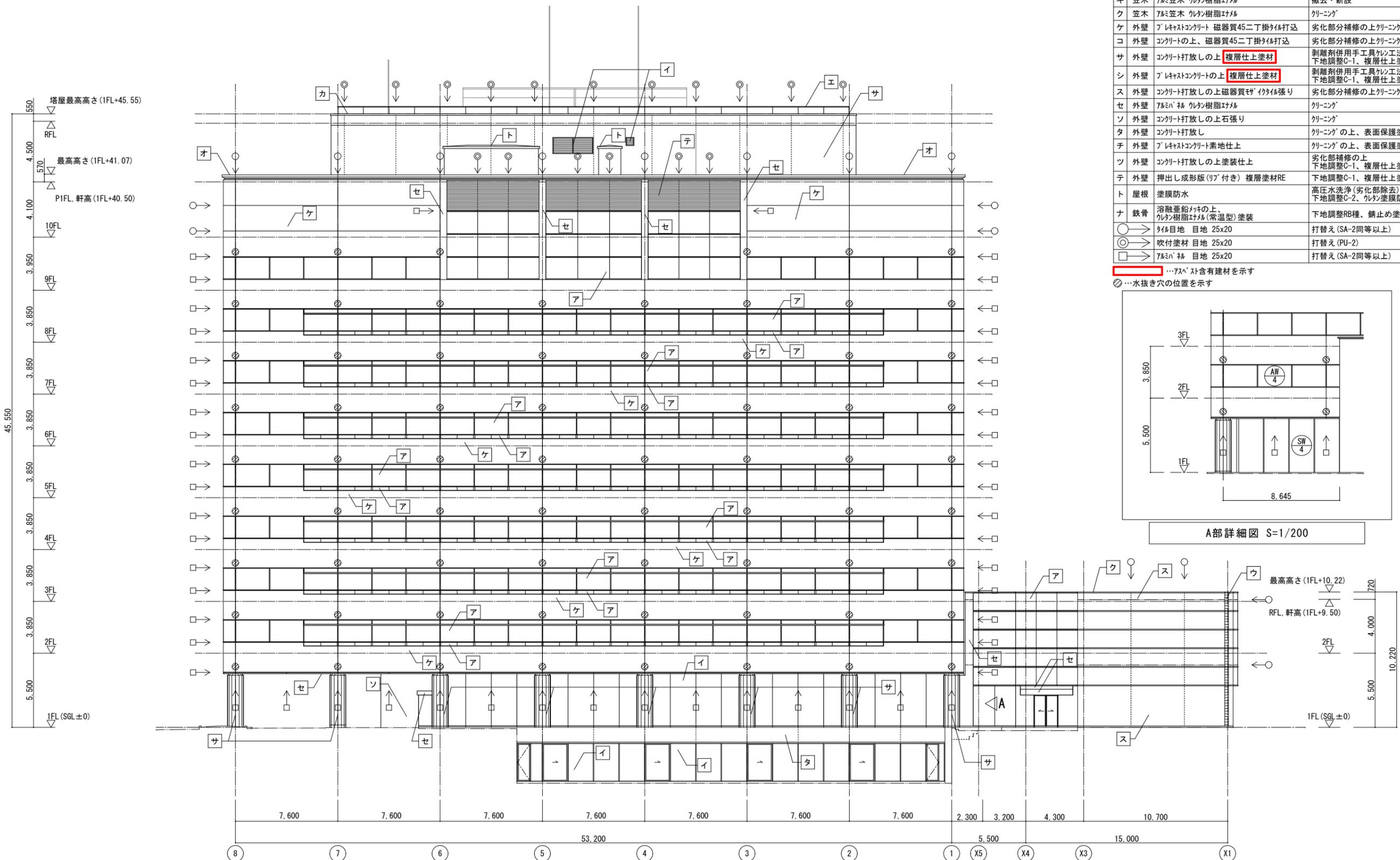


5通り塗装範囲詳細図(3) S=1:50

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様	記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サツ	アルミ製サツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング	セ	外壁	7&Mバネ 樹脂樹脂エマル	クリーニング
イ	サツ	ステンレスサツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング	ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
ウ	サツ	アルミ製サツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング	タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装	チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2	ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング	テ	外壁	押出し成形版(リブ)付き 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
キ	笠木	7&M笠木 ウレタン樹脂エマル	撤去・新設	ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ク	笠木	7&M笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング	ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エマル(常温型)塗装	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング	○→		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング	◎→		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E	□→		7&Mバネ 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E				
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質タイル張り	劣化部分補修の上クリーニング				

符号	部材断面
HM20	H-194x150x 6x 9
HM25	H-244x175x 7x 11
HM40	H-390x300x 10x 16
HM45	H-440x300x 11x 18
ZH1	H-250x250x 9x 14
V1	2CT-140x200x 8x 12
V2	CT-170x250x 9x 14
V3	2CT-170x250x 9x 14
SG1	H-900x300x 16x 28

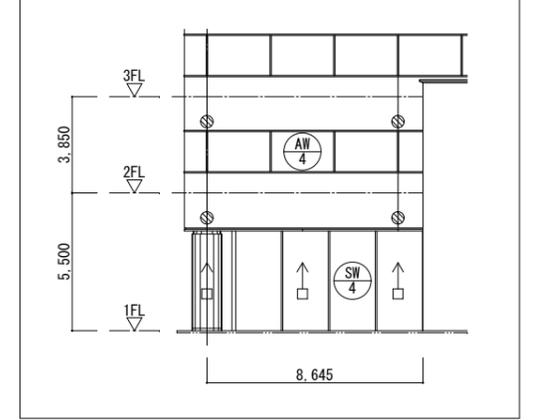
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	PH階鉄骨伏図・塗装範囲詳細図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計	A
	清水	鈴木	鈴木	縮尺	020
				1/50	041



北側立面図 S=1/200

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ゲート	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具洗浄工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具洗浄工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ板 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し出し成形版(リブ付) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミ板 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

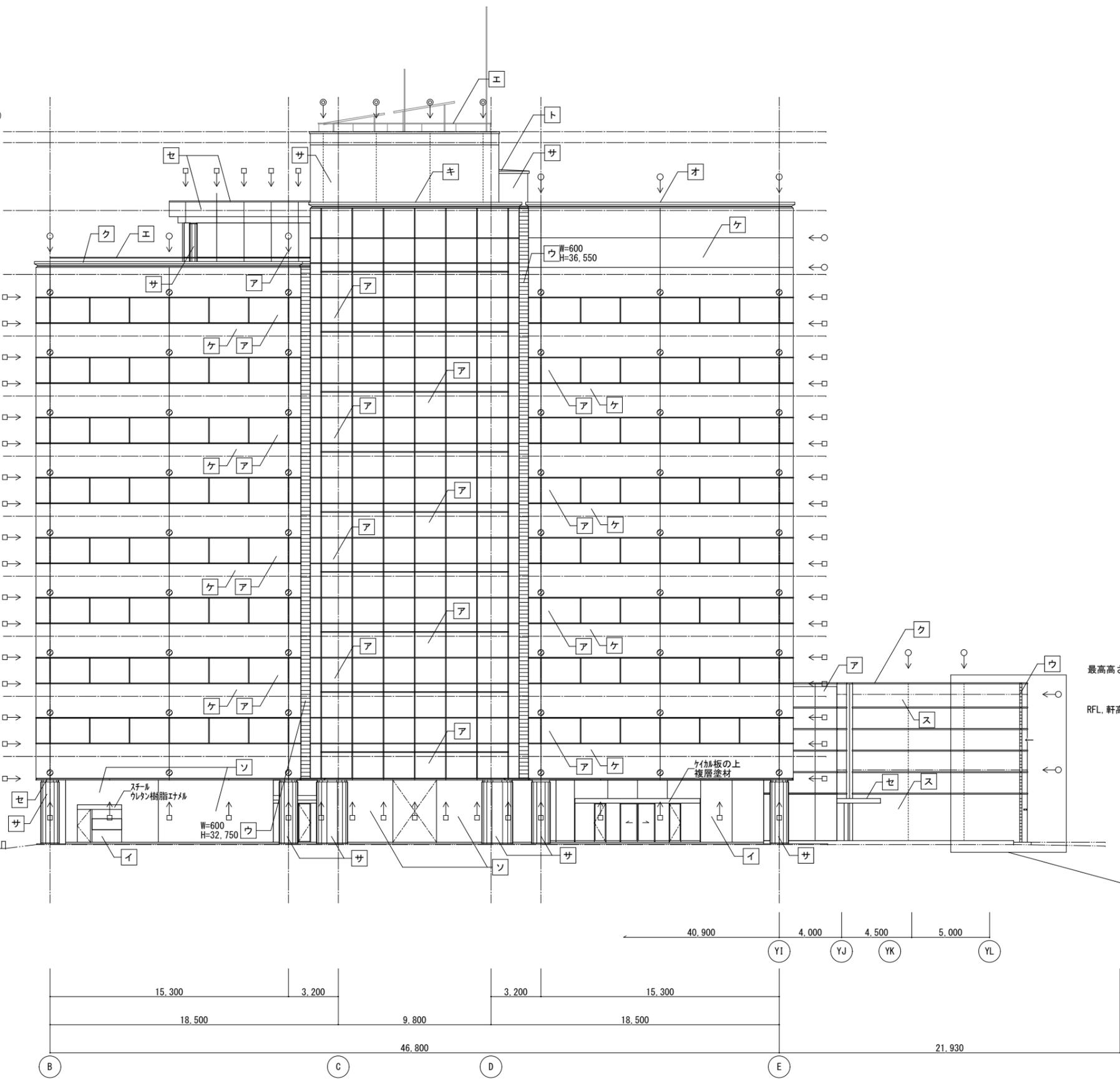
…75x75 寸含有建材を示す
○…水抜き穴の位置を示す



A部詳細図 S=1/200

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	立面図(1)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	021 041

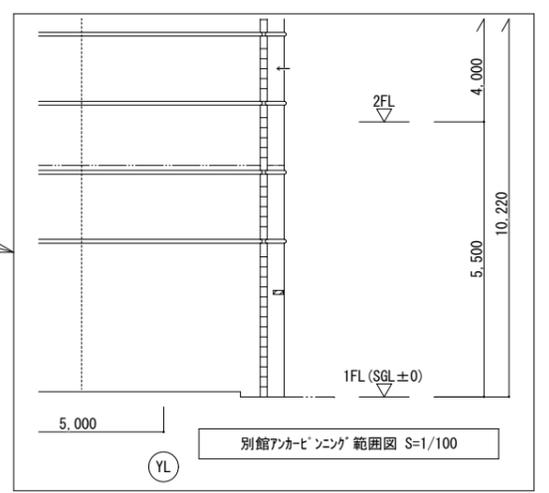
塔屋最高高さ (1FL+45.55)
 最高高さ (1FL+41.07)
 P1FL, 軒高 (1FL+40.50)
 10FL
 9FL
 8FL
 7FL
 6FL
 5FL
 4FL
 3FL
 2FL
 1FL (SGL±0)



記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラリ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ゲート	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エマル	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
キ	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エマル	撤去・新設
ク	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具クン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具クン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ製 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押出し成形版(リブ付き) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エマル(常温型) 塗装	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミ製 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

...ア等... 含有建材を示す ...水抜き穴の位置を示す
 ...ア等... 範囲を示す ...側面のア等... 範囲を示す

最高高さ (1FL+10.22)
 RFL, 軒高 (1FL+9.50)
 2FL
 1FL (SGL±0)

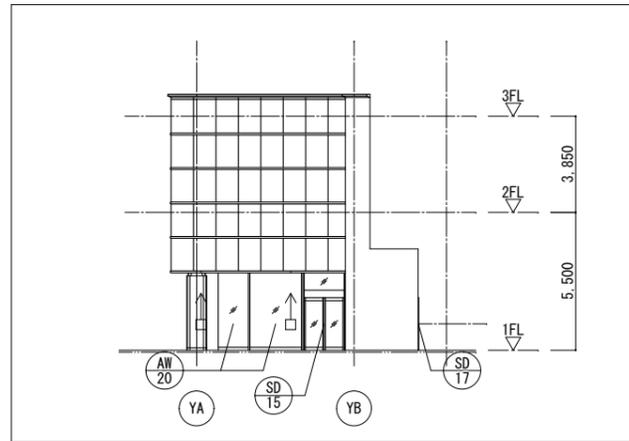


東側立面図 S=1/200

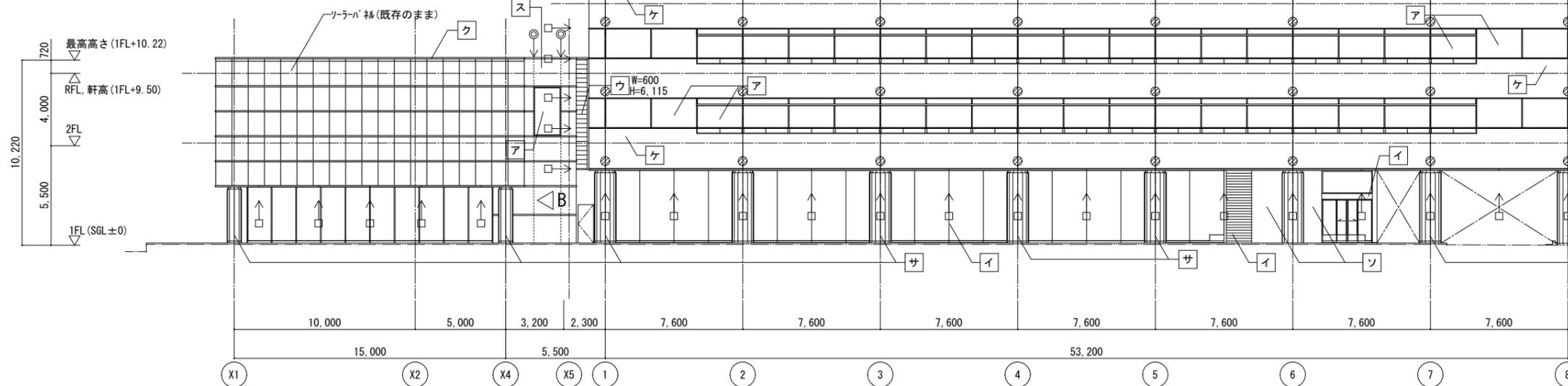
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	立面図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	022/041
	清水	鈴木	鈴木	1/200	

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サツ	アルミ製サツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サツ	ステンレスサツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サツ	アルミ製ガラリ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エマル	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミハ 柵 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し成形版(リブ付き) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エマル(常温型)塗装	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミハ 柵 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

□…75x75' スト含有建材を示す
 ◎…水抜き穴の位置を示す



B部詳細図 S=1/200



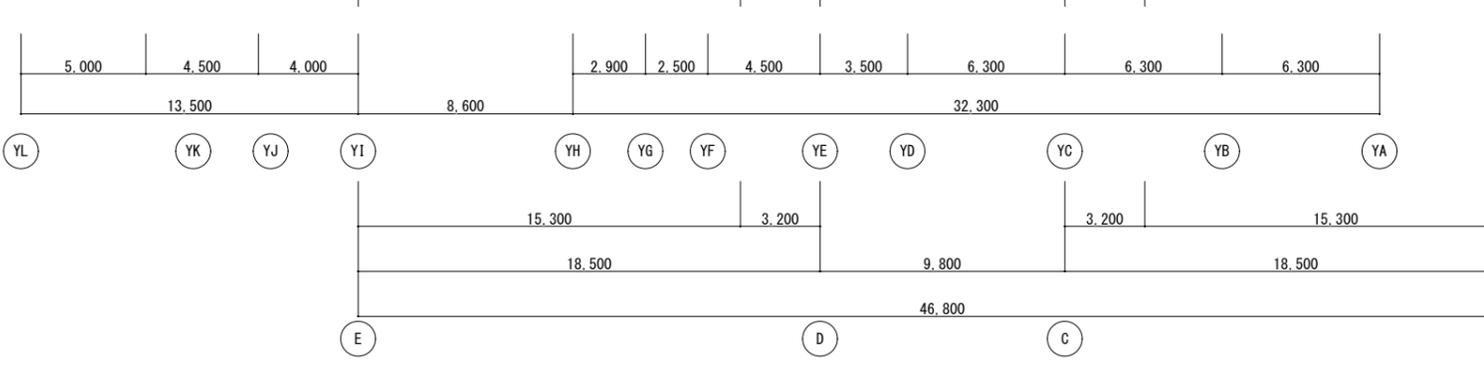
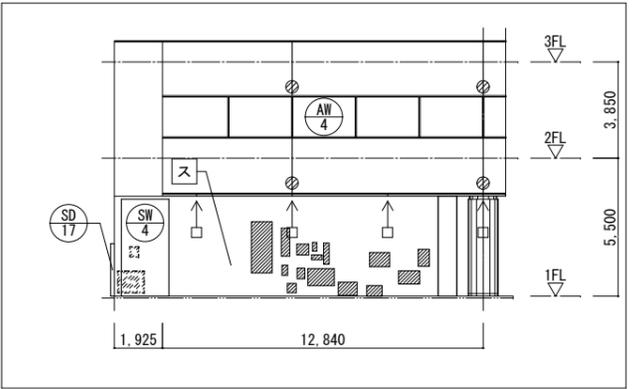
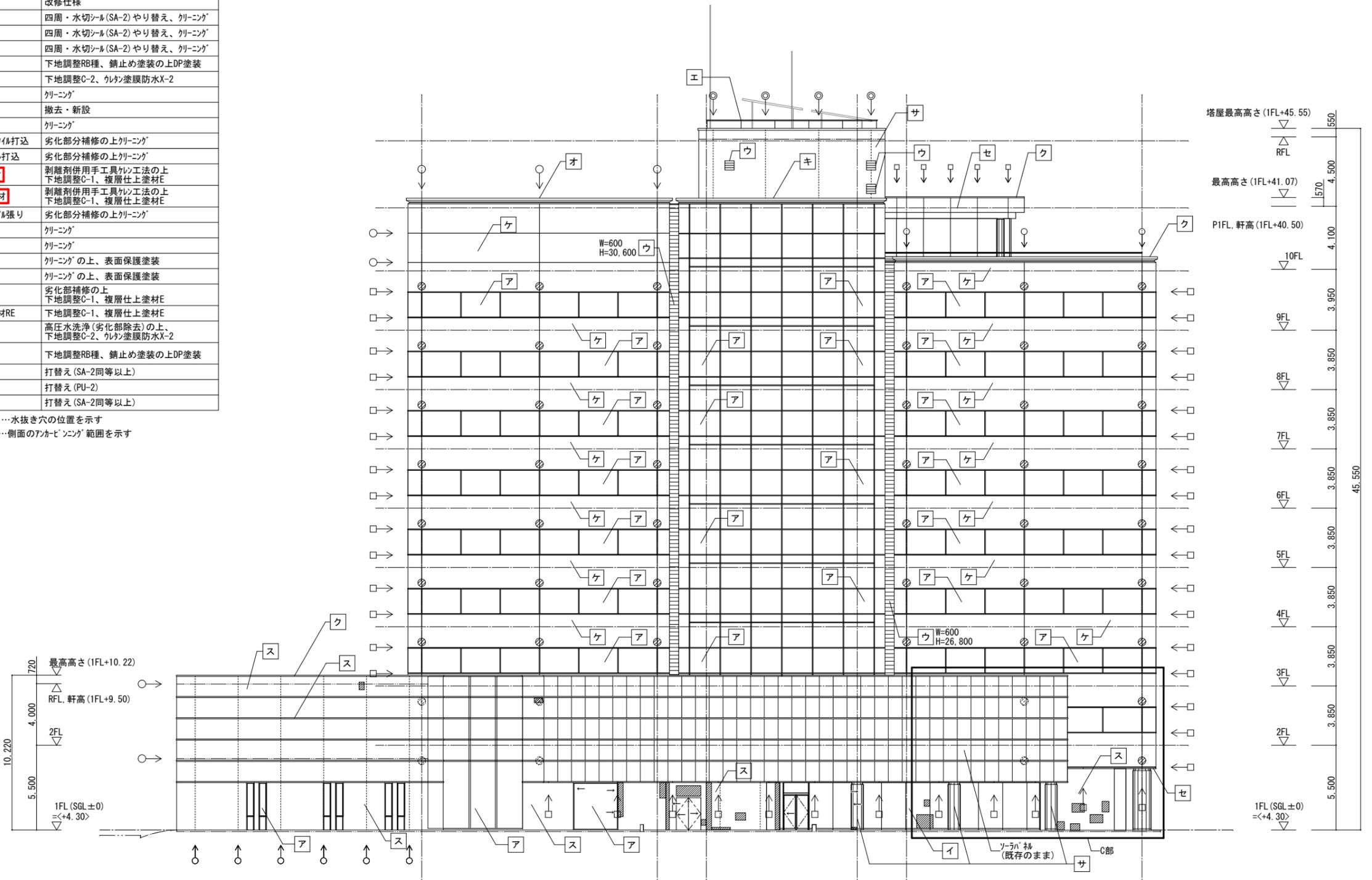
南側立面図 S=1/200

塔屋最高高さ (1FL+45.55)	▽	550
RFL	△	4,500
最高高さ (1FL+41.07)	▽	570
P1FL 軒高 (1FL+40.50)	△	4,100
10FL	▽	
9FL	▽	3,950
8FL	▽	3,850
7FL	▽	3,850
6FL	▽	3,850
5FL	▽	3,850
4FL	▽	3,850
3FL	▽	3,850
2FL	▽	3,850
1FL (SGL±0)	▽	5,500
		45,550

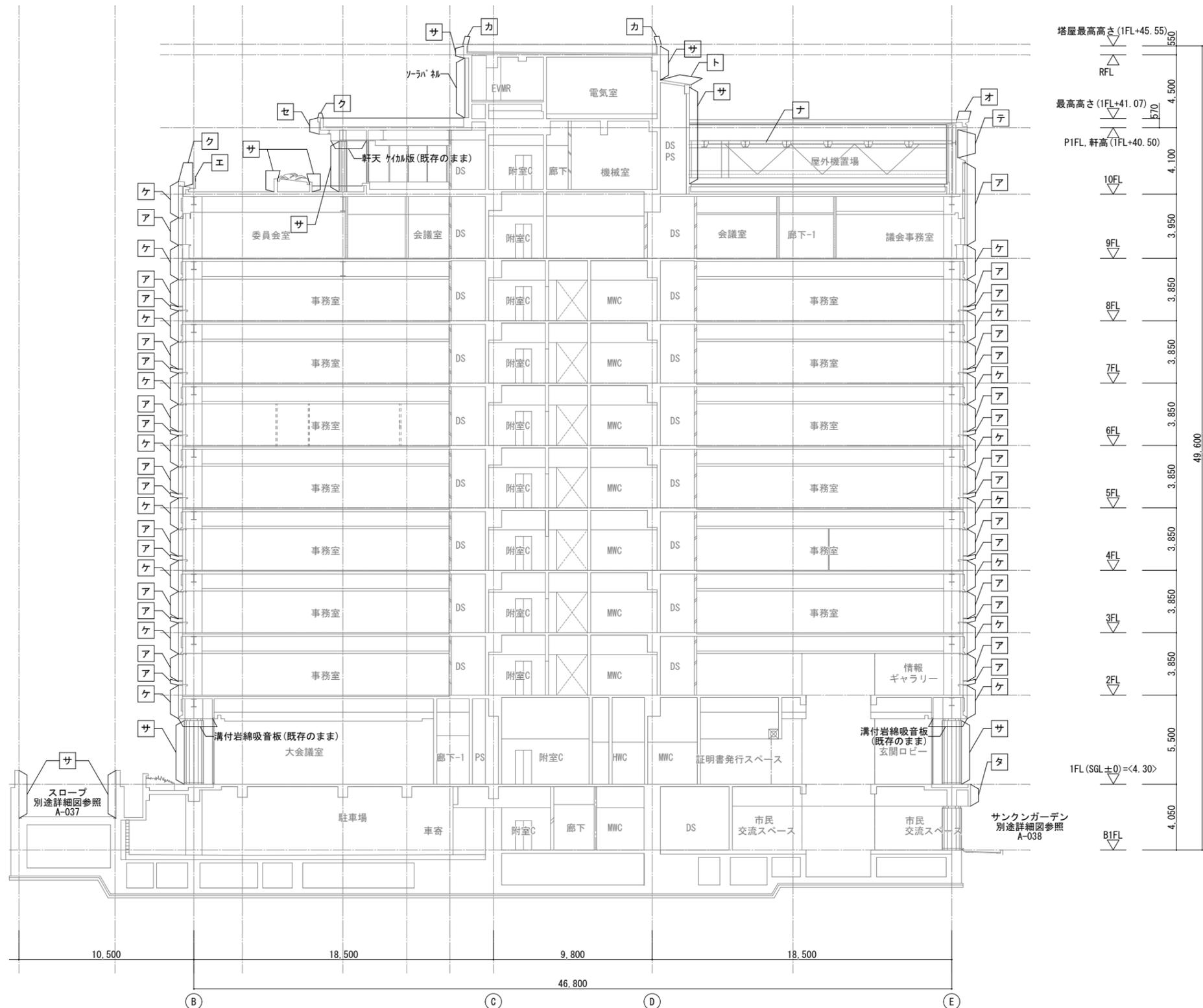
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	立面図 (3)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計	A2
	清水	鈴木	鈴木	縮尺	A
			1/200		023/041

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サツ	アルミ製サツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サツ	ステンレスサツ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サツ	アルミ製ガラリ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エマル	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミサッシ ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し出し成形版(リブ付き) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エマル(常温型)塗装	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミサッシ 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

...アサ... 含有建材を示す ○...水抜き穴の位置を示す
 ...アサカベ... 範囲を示す ←...側面のアサカベ... 範囲を示す



工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	立面図(4)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	024/041



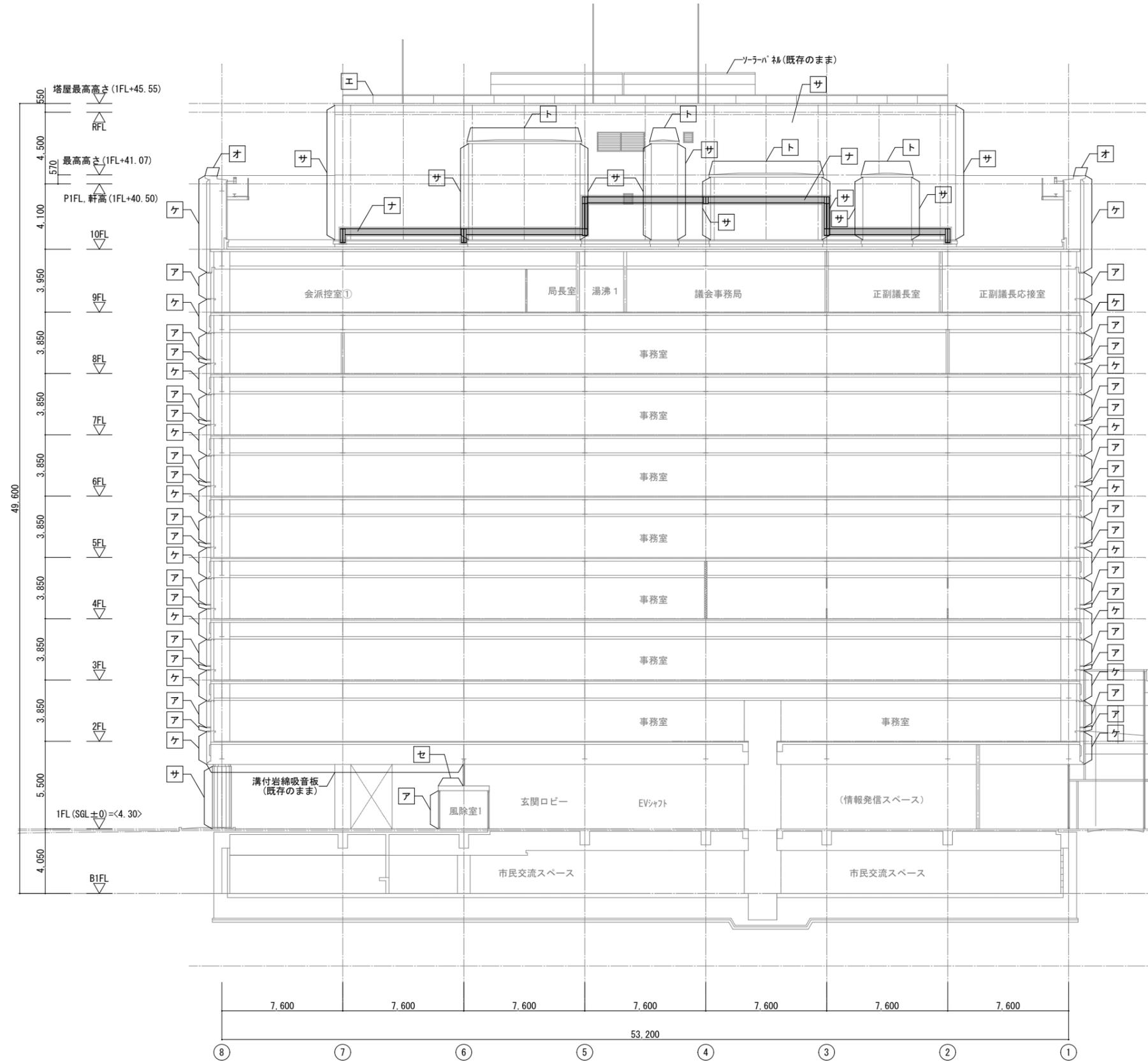
49.800

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整R種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剝離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剝離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質45ニ丁掛タイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ製 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押出し成形版(リブ)付き 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R種、錆止め塗装の上DP塗装
○	タイル目地	目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◇	吹付塗材	目地 25x20	打替え(PU-2)
□	アルミ製	目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

…777… 含有建材を示す

A-A断面図

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	断面図(1)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	制作	図縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	025 041

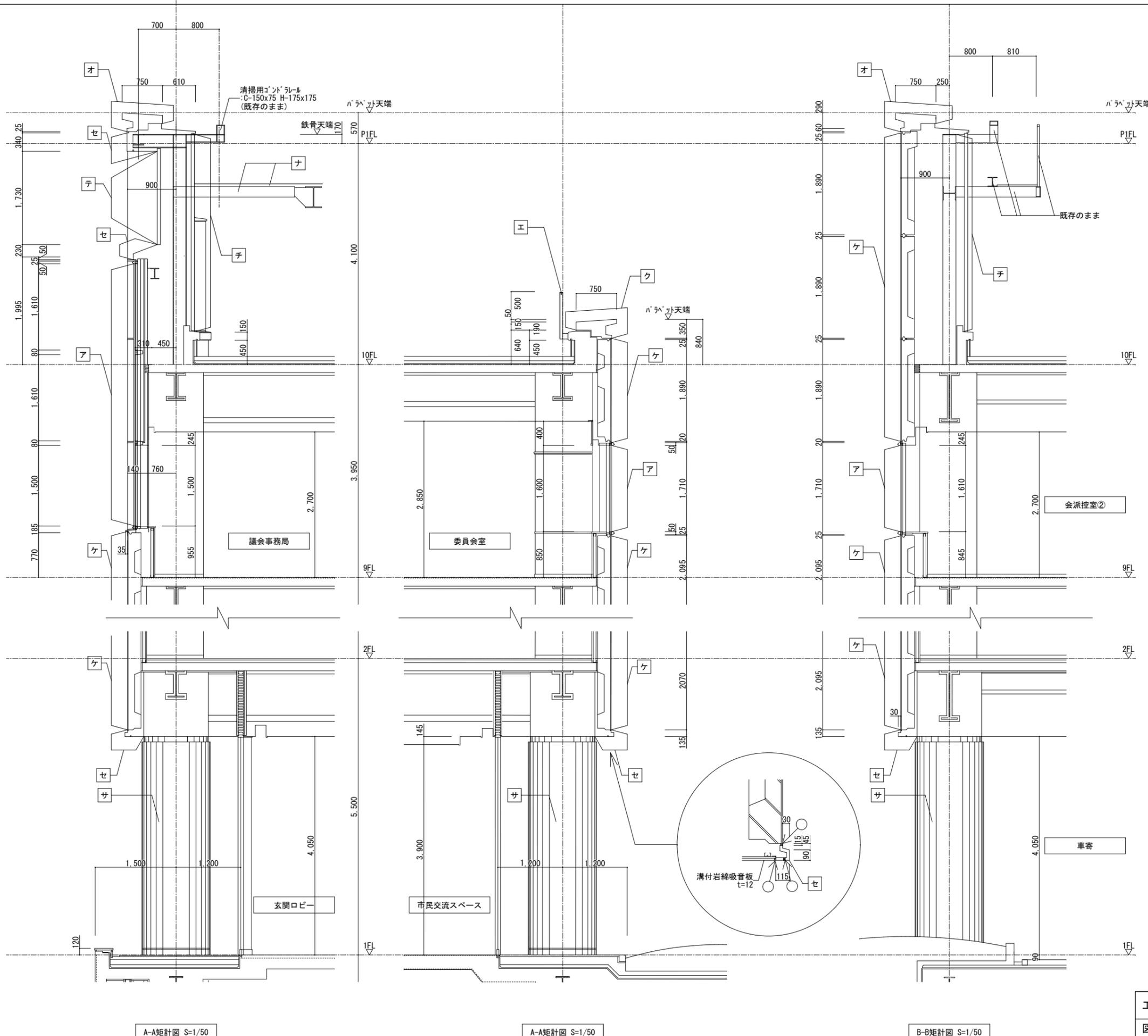


B-B断面図

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、グレート	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ製笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ製 樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し出し成形版(リブ付き) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミ製 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

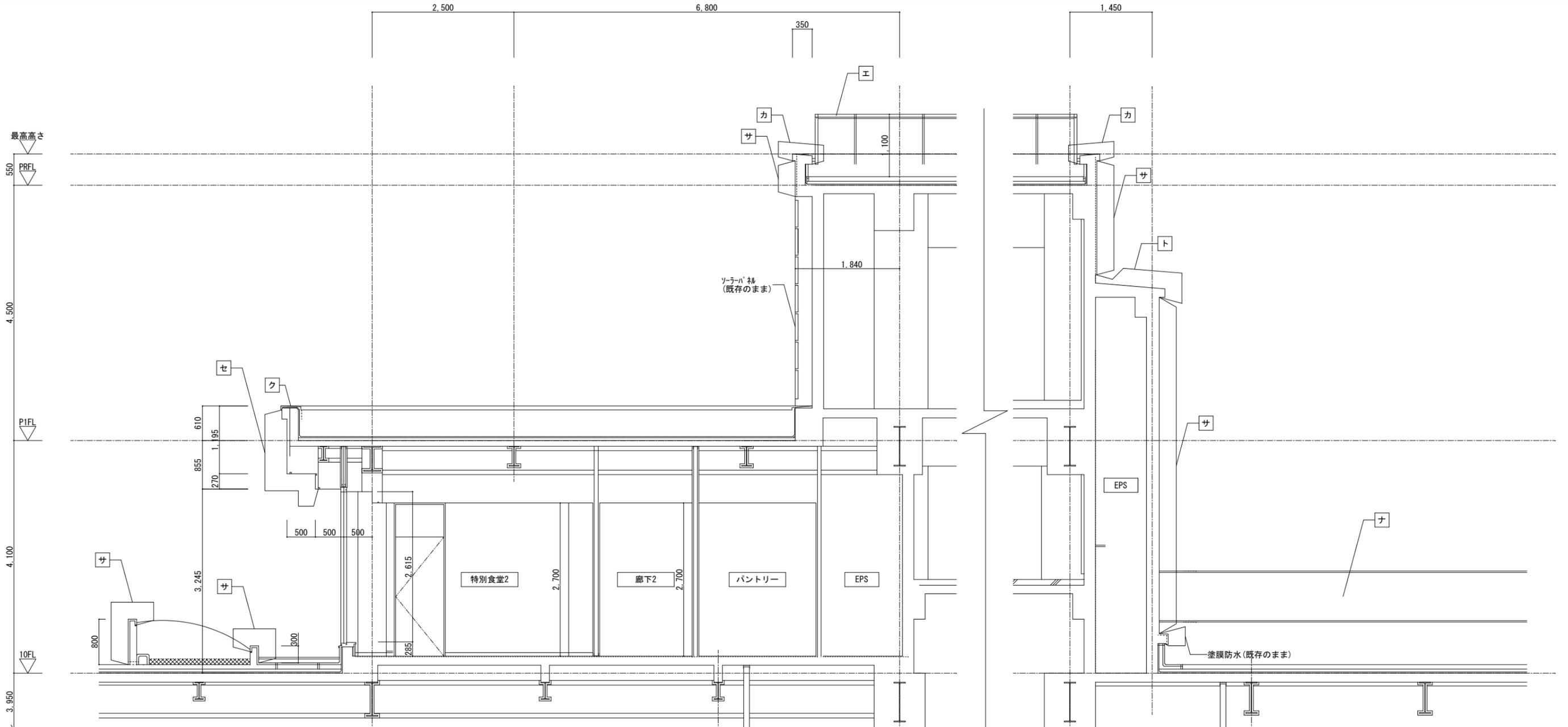
...75x75 寸含有建材を示す

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	断面図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/200	026/041



記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整R種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剝離剤併用手工具ケツ工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剝離剤併用手工具ケツ工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質45ニ丁掛タイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ板 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し成形版(リブ)付き 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R種、錆止め塗装の上DP塗装
ニ	目地	目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
ヒ	目地	目地 25x20	打替え(PU-2)
フ	目地	目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

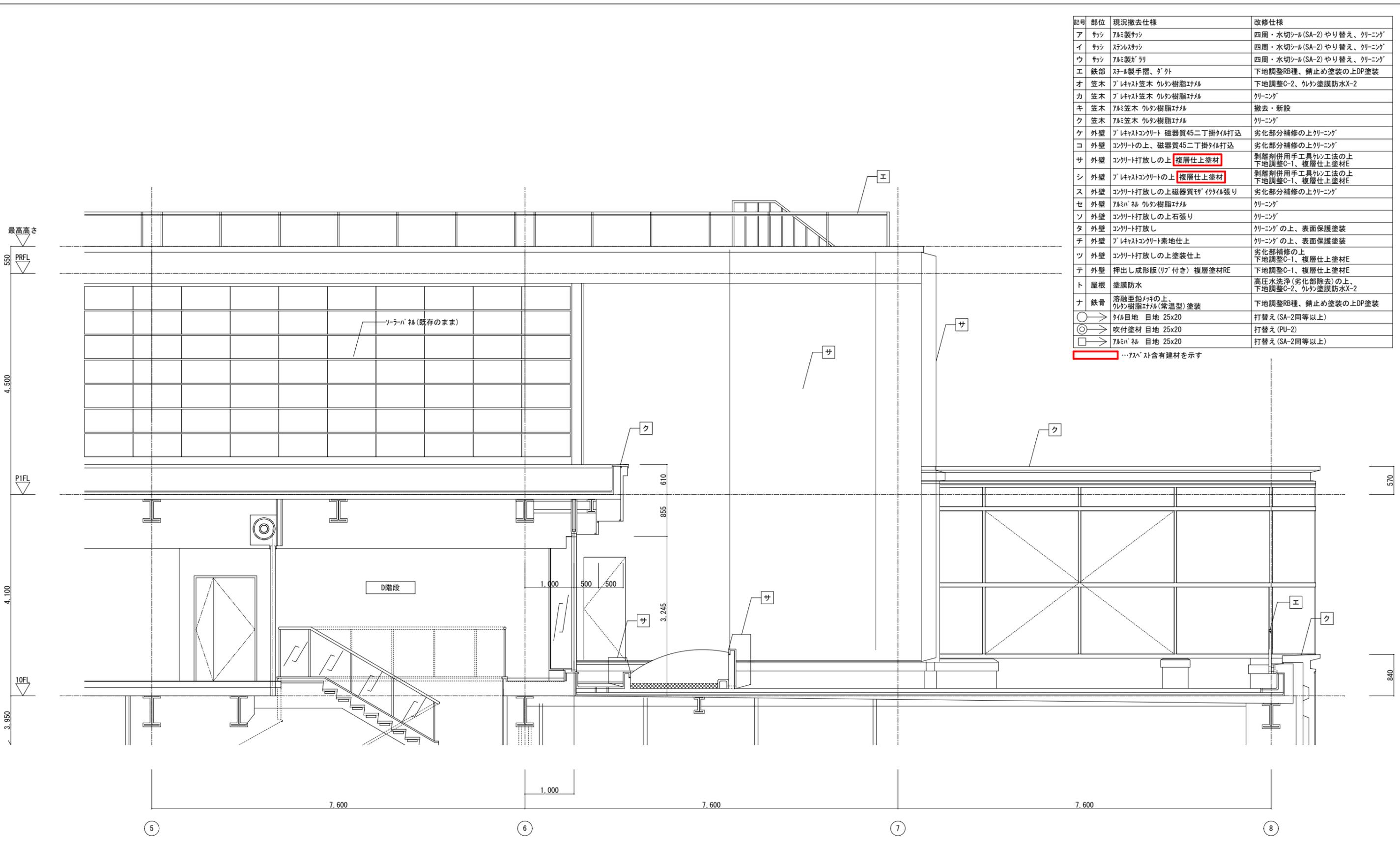
工事名称		庁舎外壁改修工事			令和6年度
図面名称		矩計図(1)			図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	027/041
	清水	鈴木	鈴木	1/50	



記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラリ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エマル	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミパネ ウレタン樹脂エマル	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し成形版(リブ付き) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エマル(常温型)塗装	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タタキ目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミパネ目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

10・P1階 4-5間 断面詳細図 S=1/50

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	矩計図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計	A
	清水	鈴木	鈴木	縮尺	028/041
				縮尺	1/50

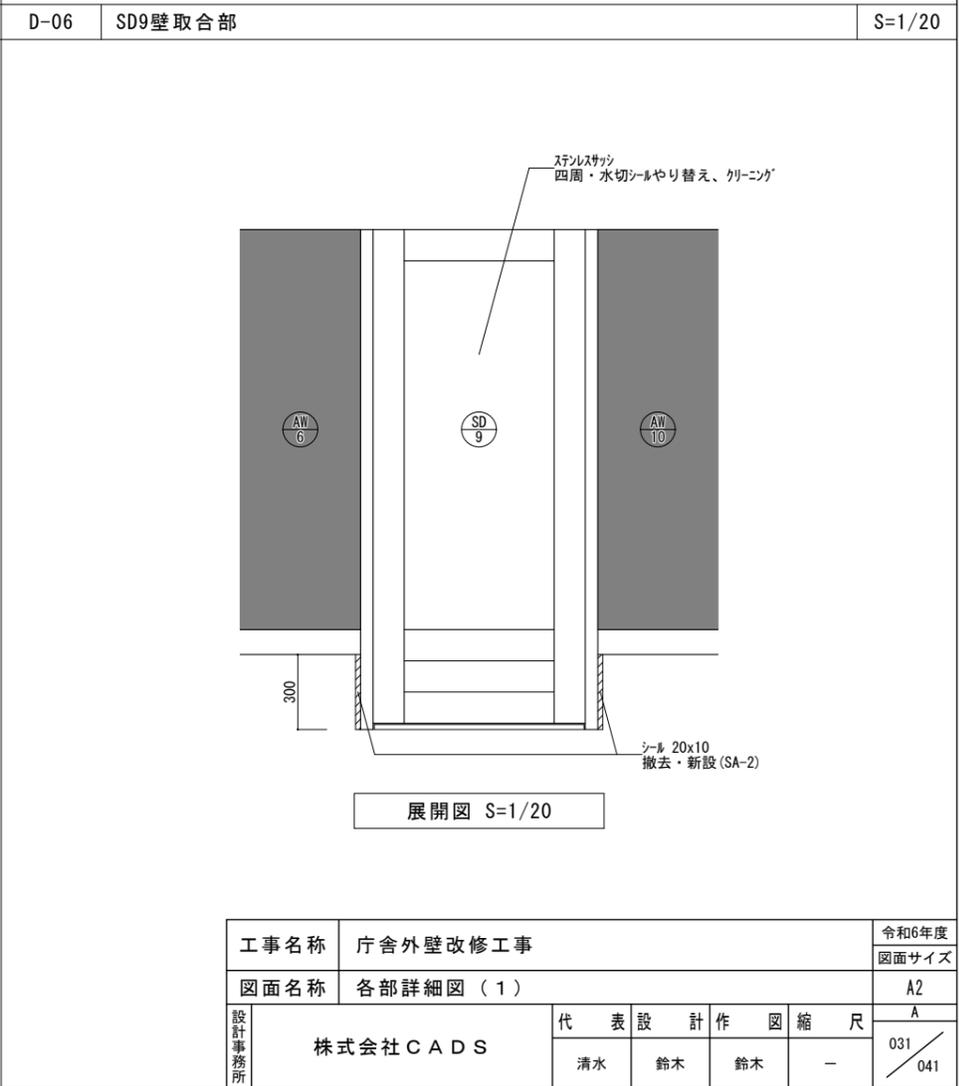
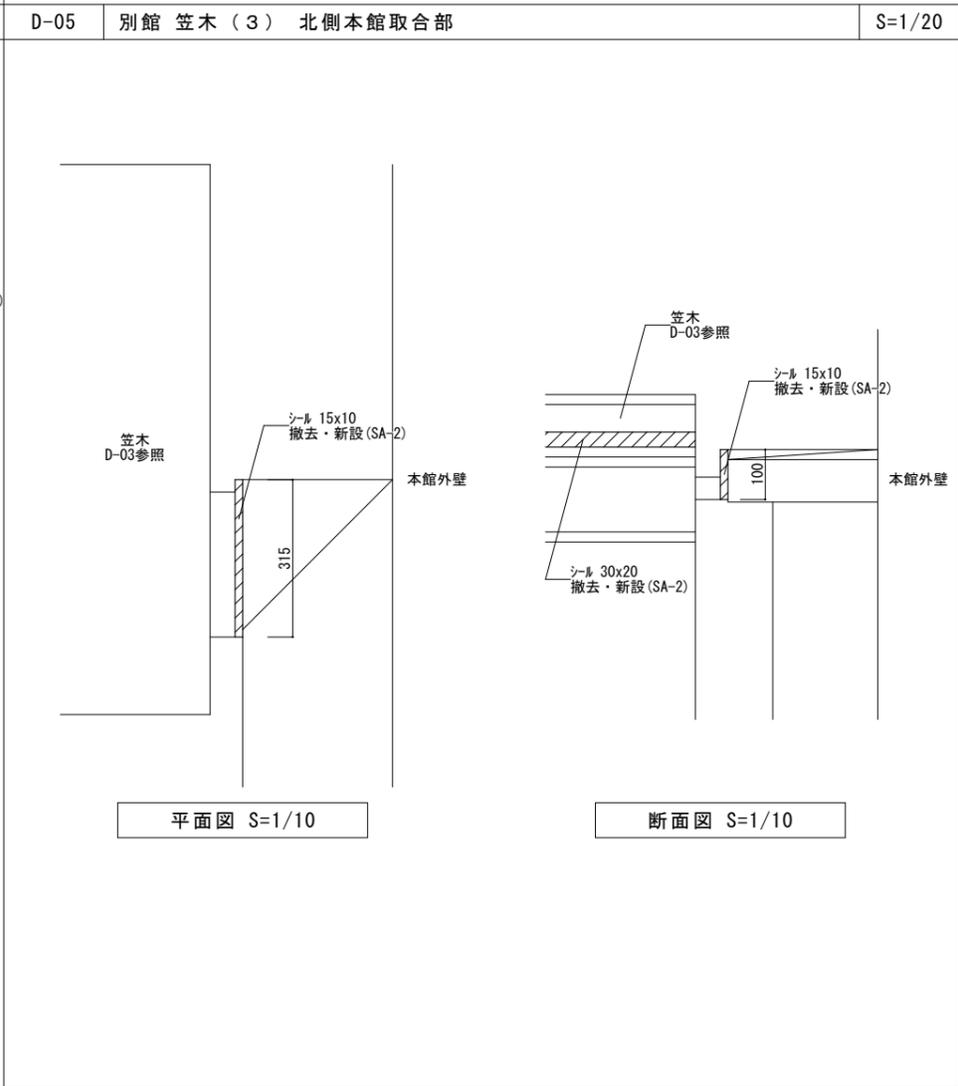
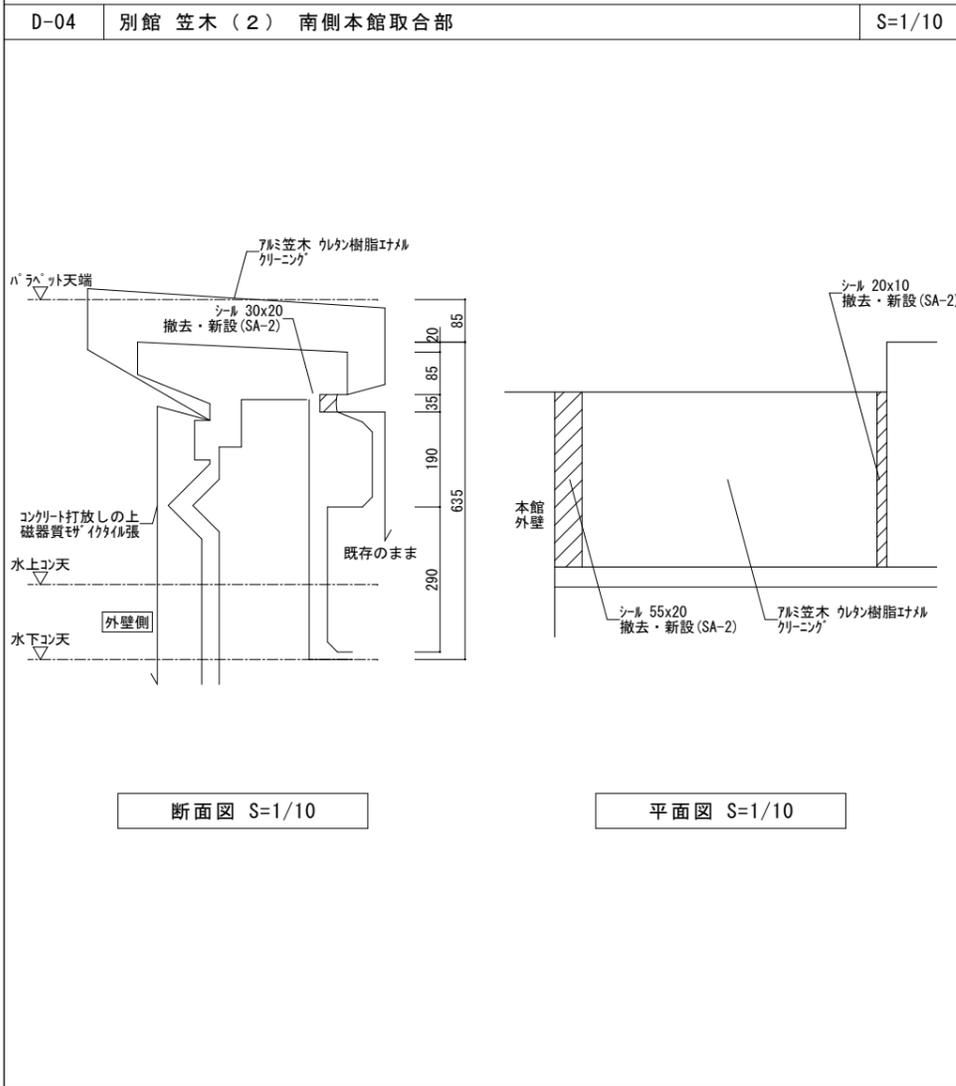
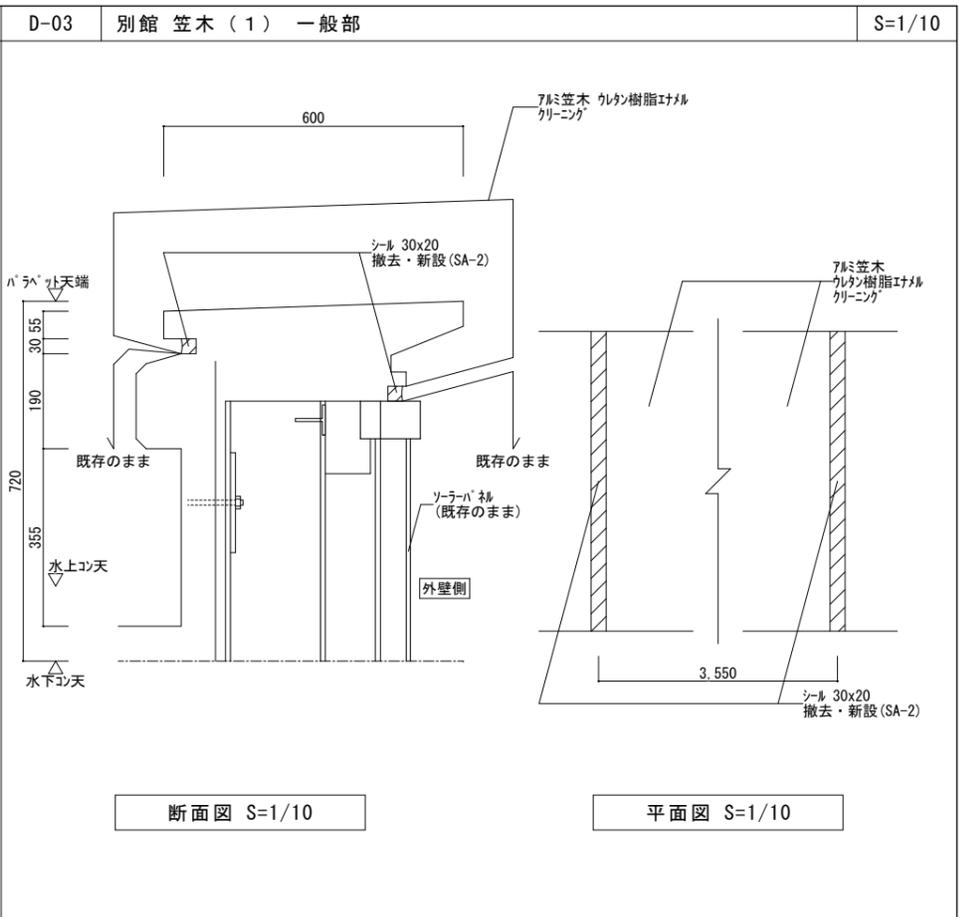
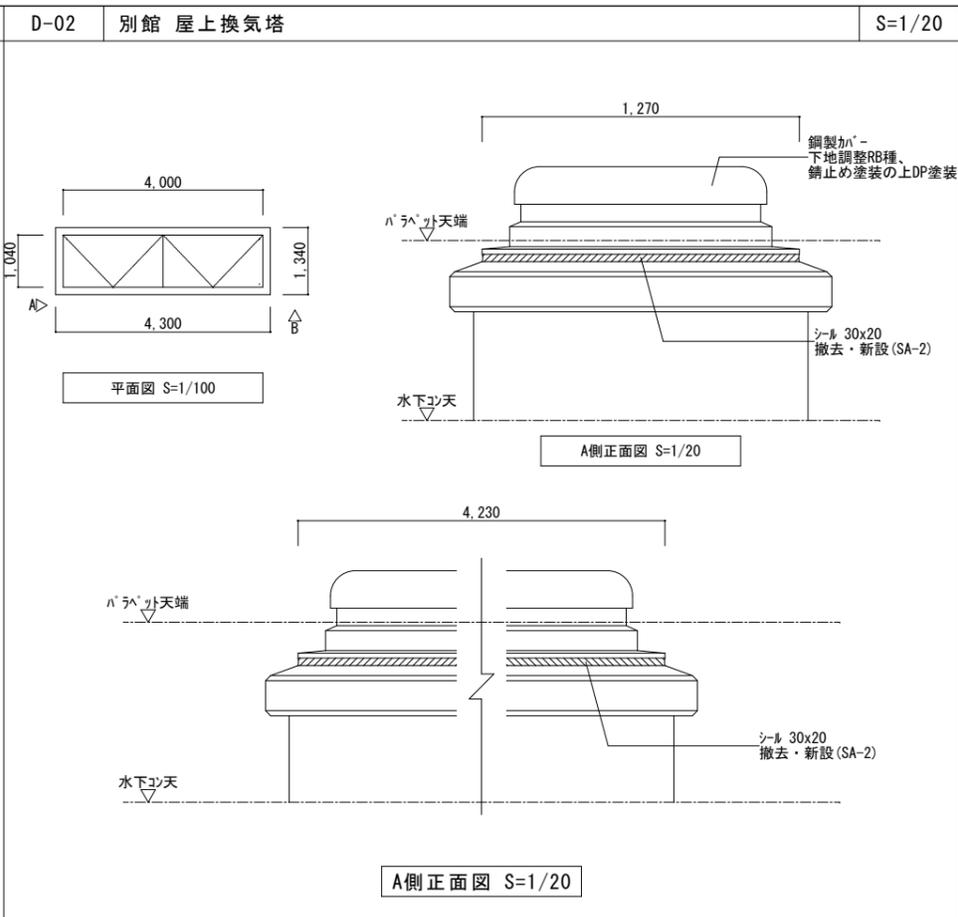
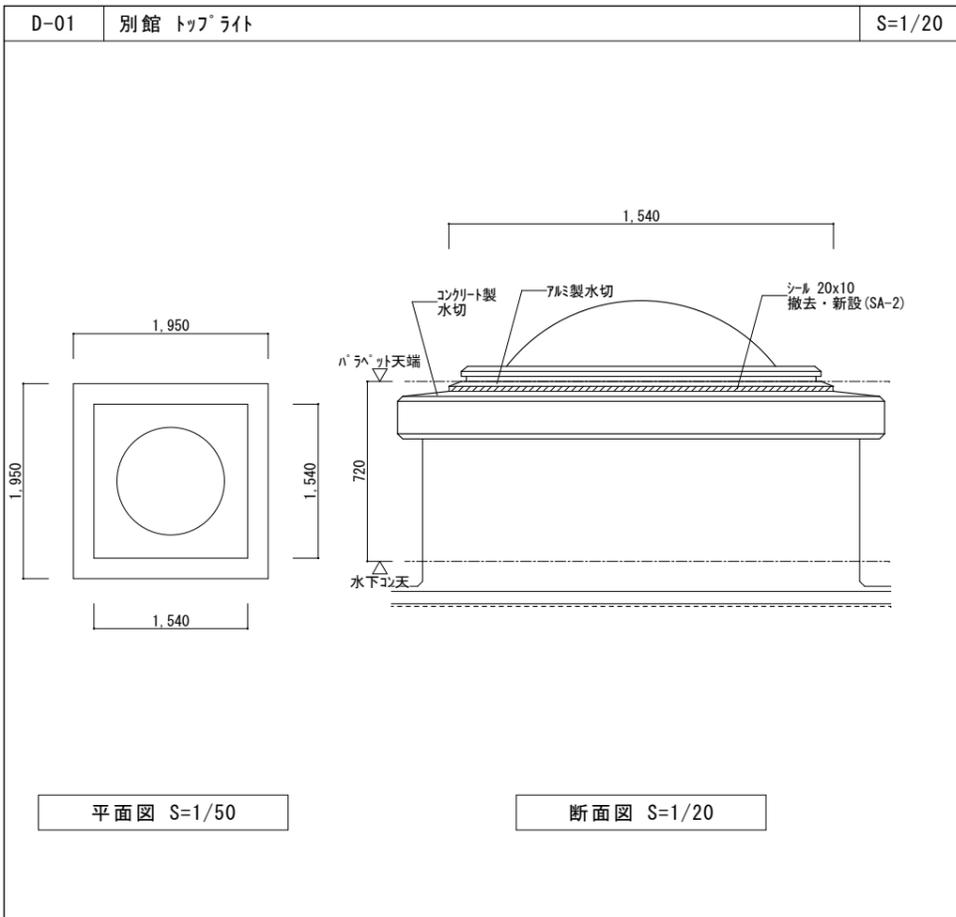


記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、グレート	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具クン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具クン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミパネル ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押出し成形版(リブ付き) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミパネル 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

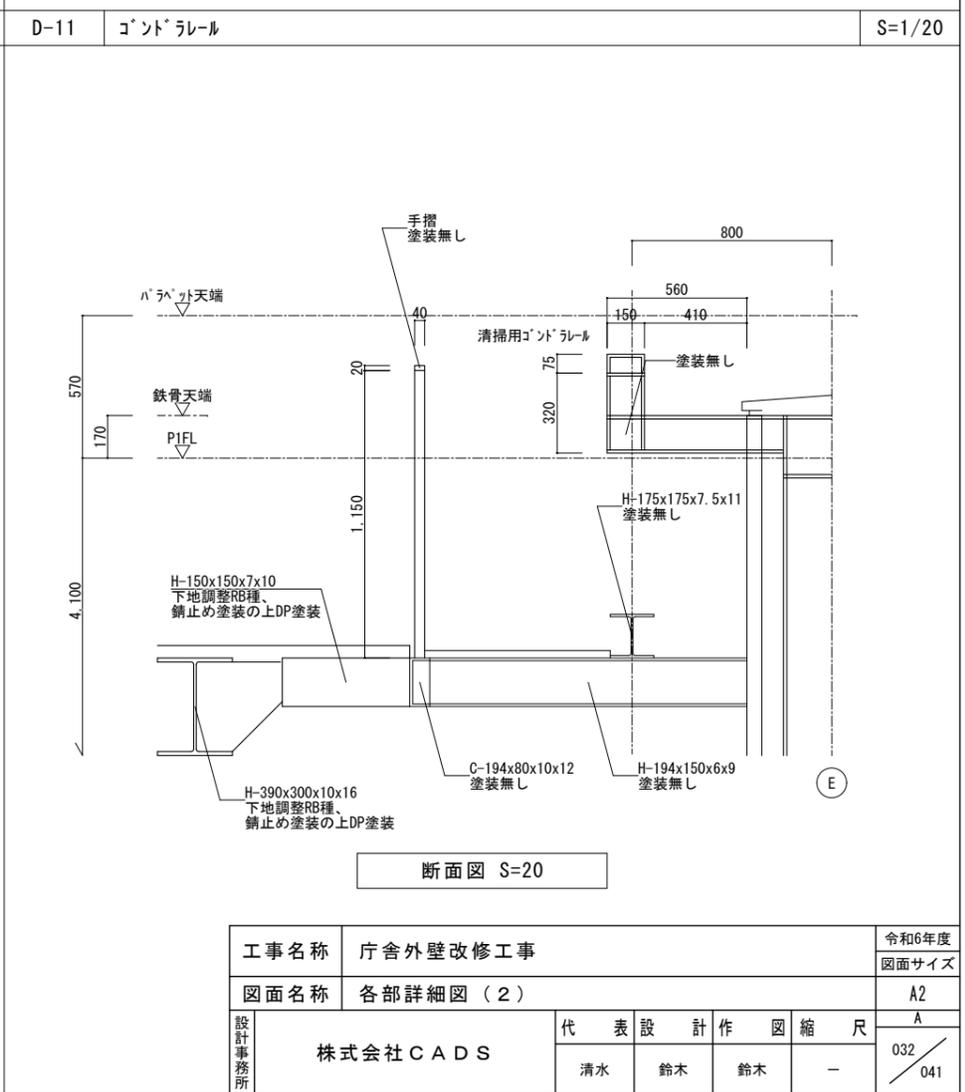
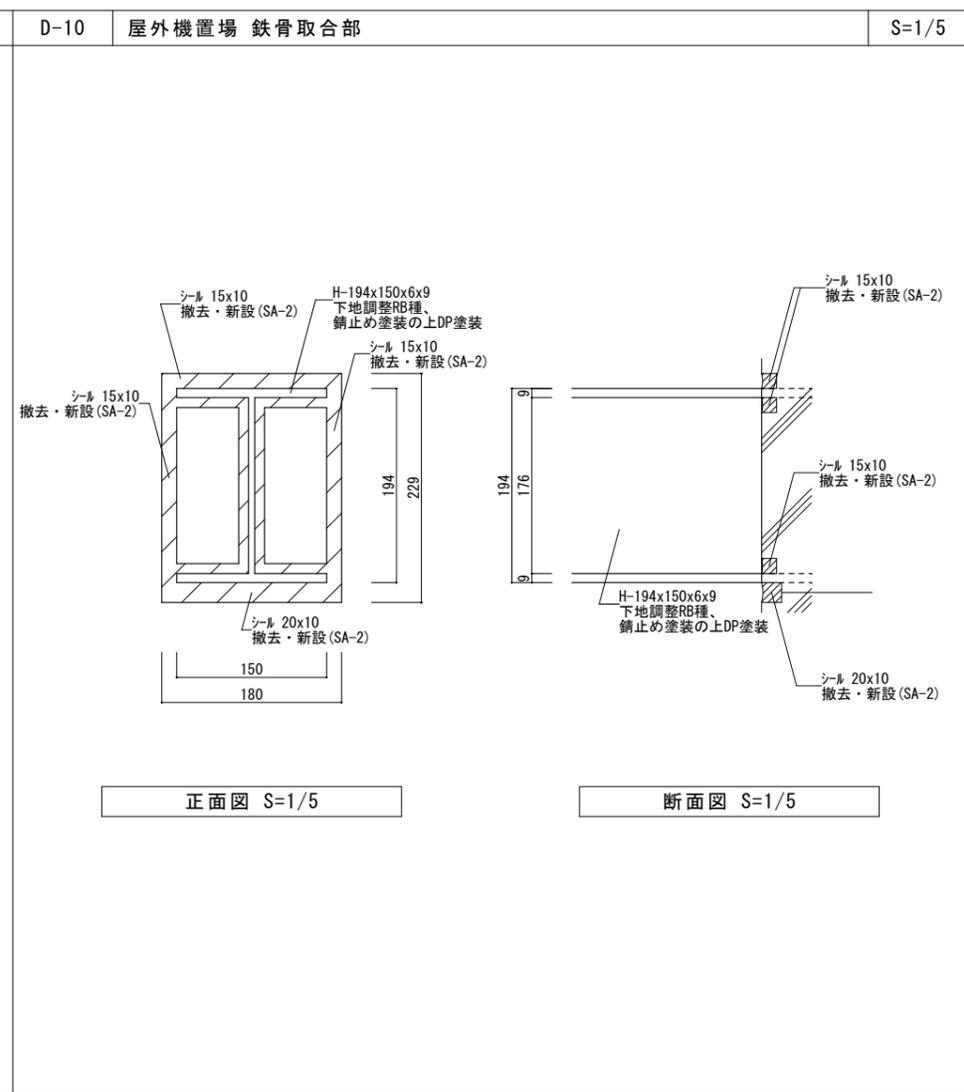
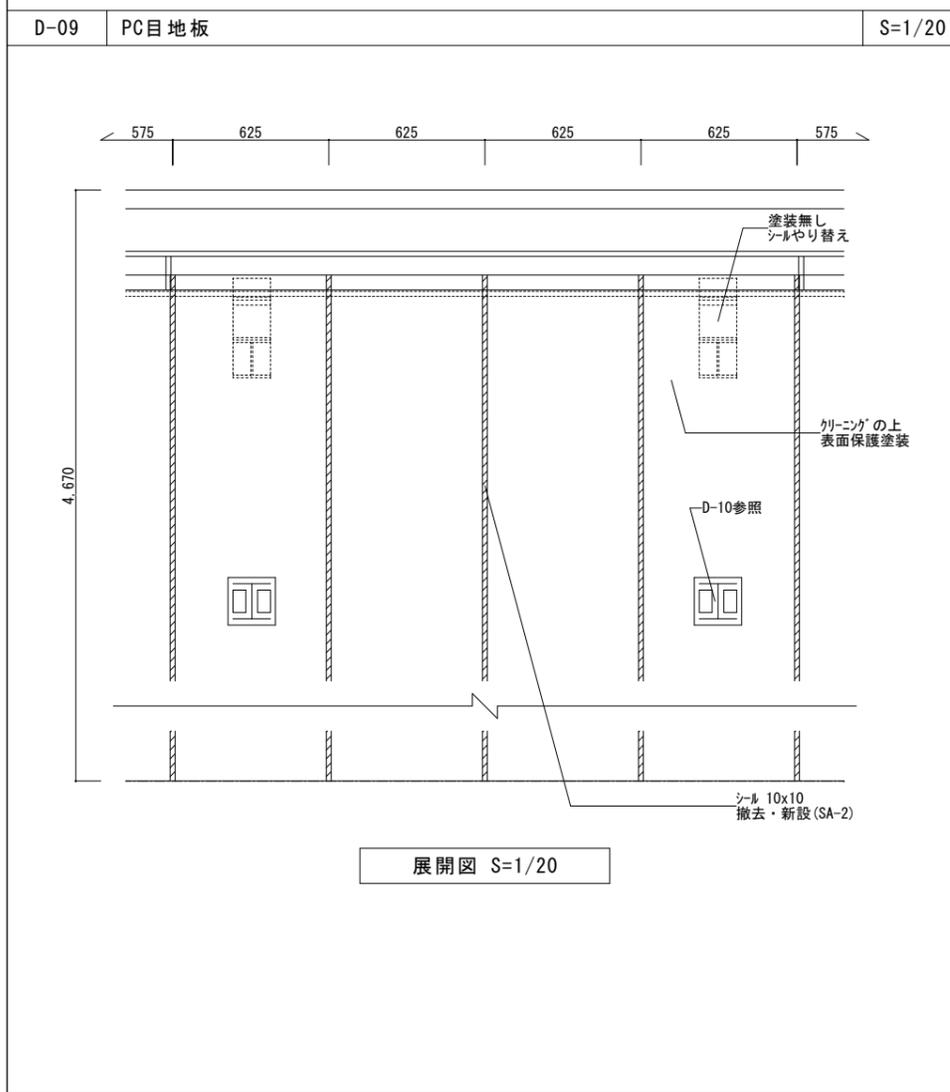
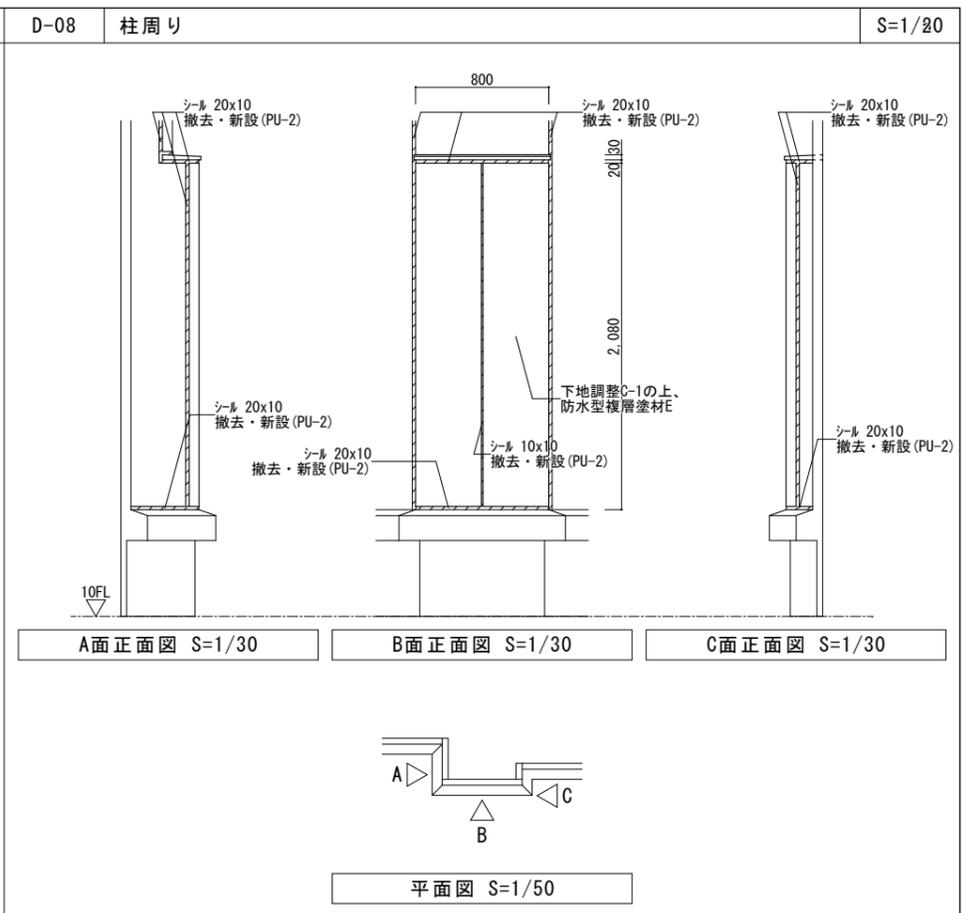
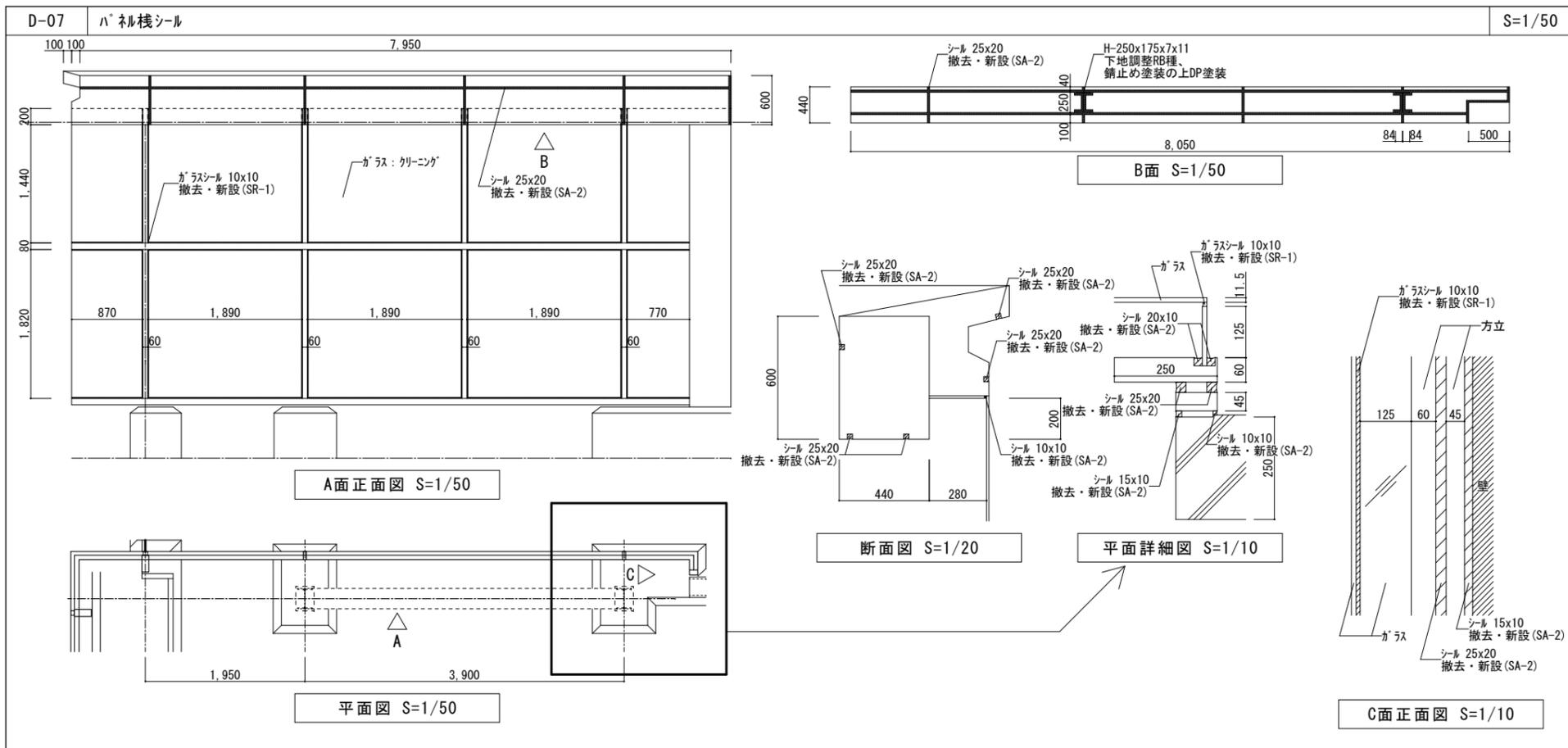
■ ...75% 含有建材を示す

10・P1階 B-C間 断面詳細図 S=1/50

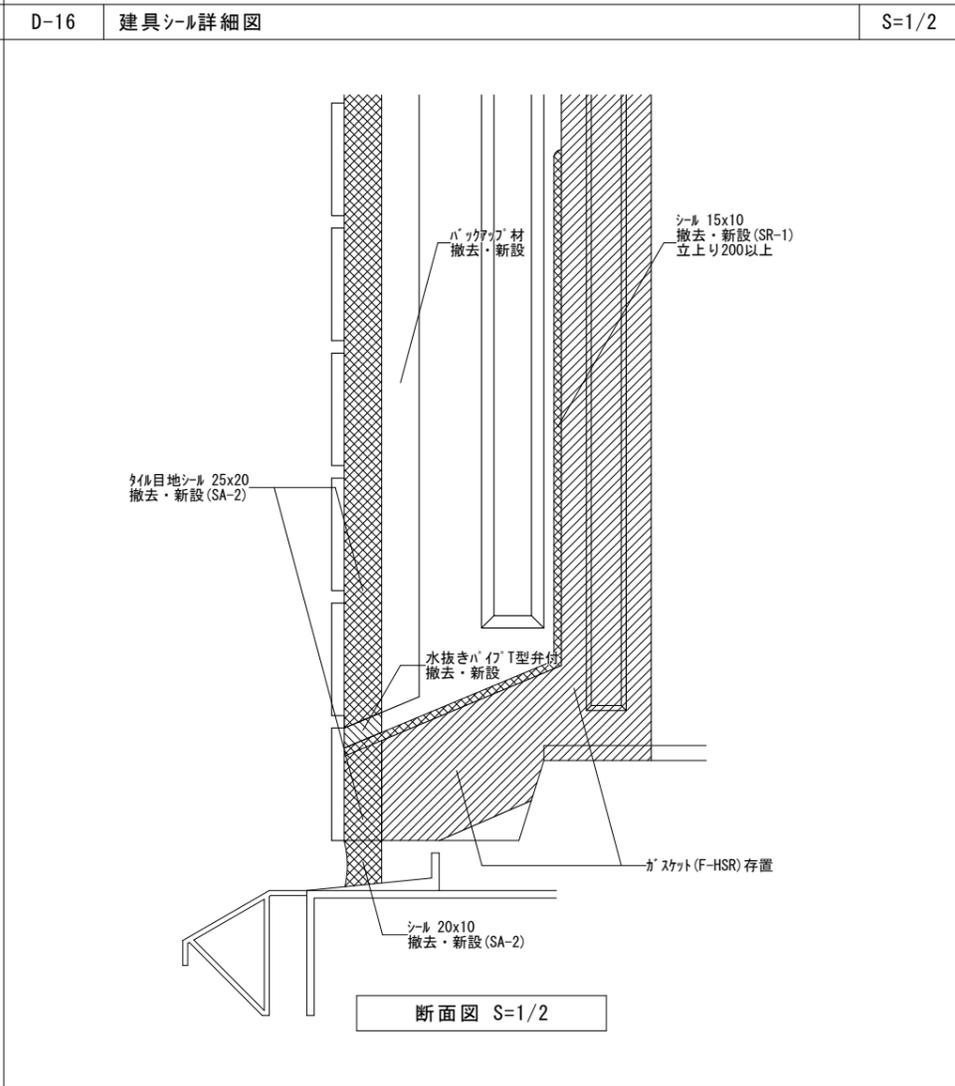
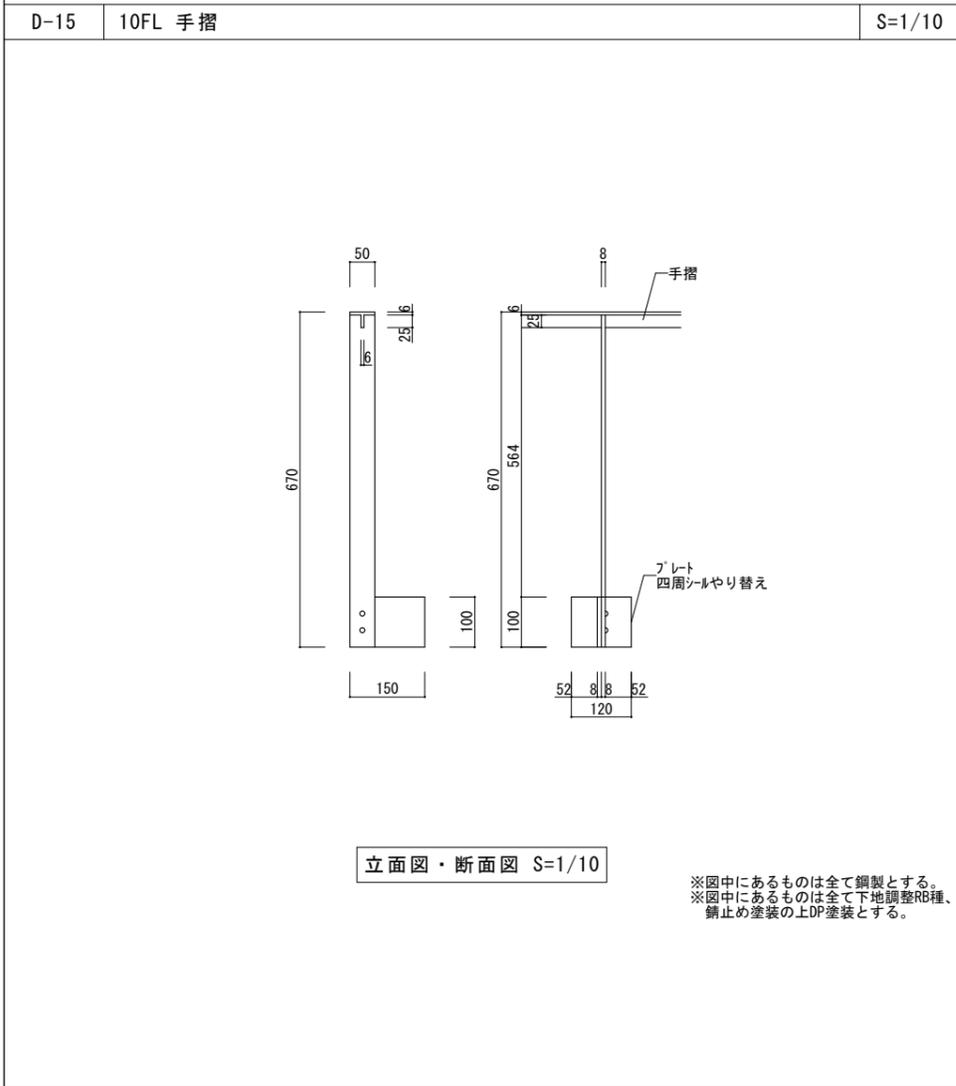
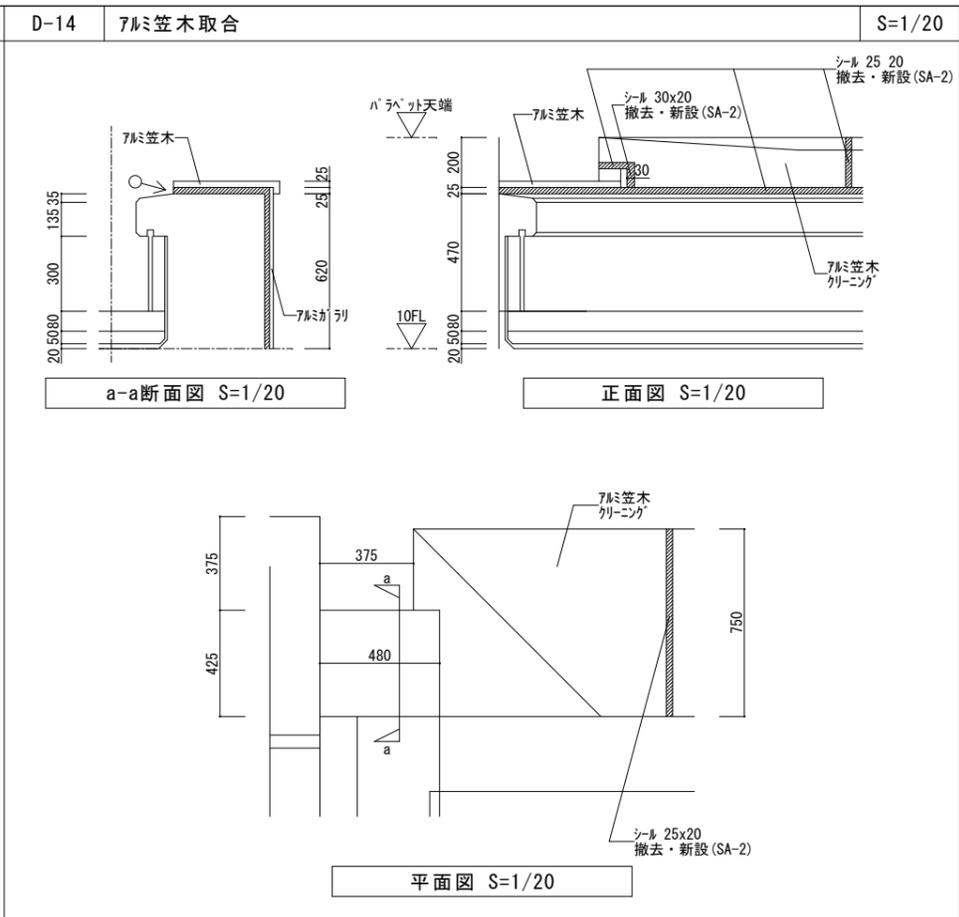
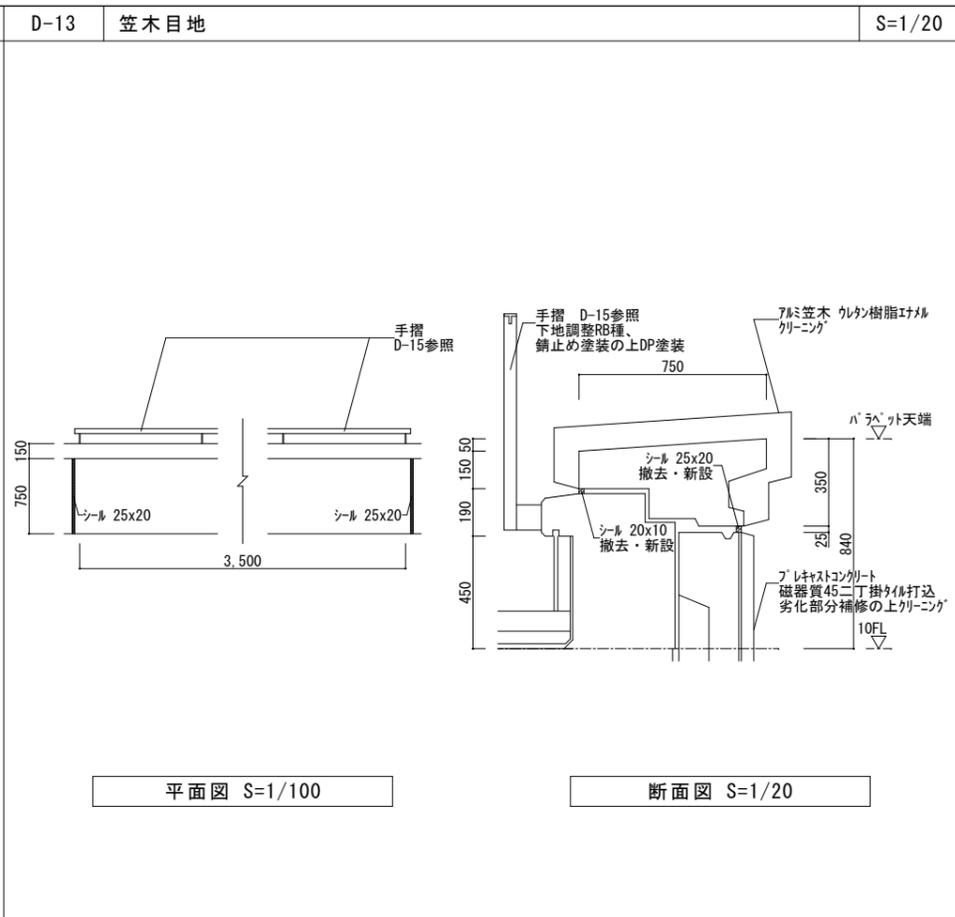
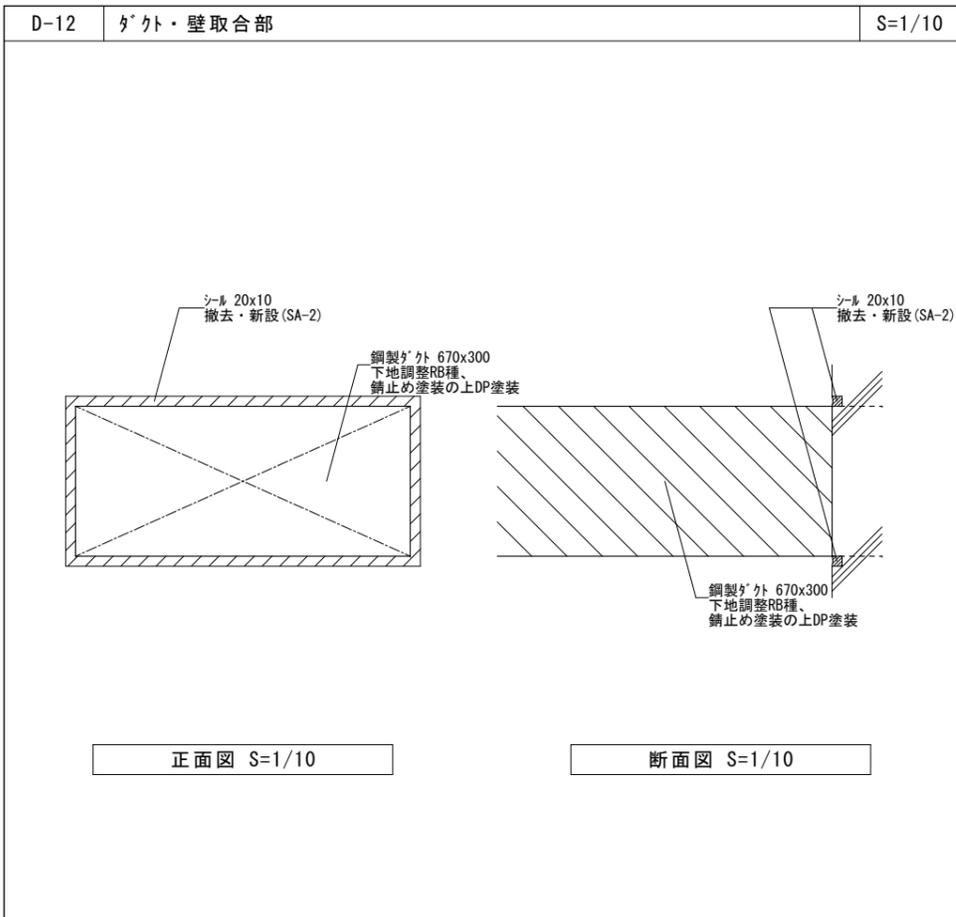
工事名称		庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称		矩計図(3)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				代表	A2
	清水	鈴木	鈴木	1/50	縮尺	A
						029/041



工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	各部詳細図 (1)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	-	031/041



工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	各部詳細図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	032
	清水	鈴木	鈴木	-	041



工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	各部詳細図 (3)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	-	033/041

符号・使用箇所	(S1/1) 本館 B1F S=1/100	(S2/2) 本館 地下1階 S=1/100	(S3/3) 本館 地下1階 S=1/100	(S4/4) 本館 地下1階 S=1/100	(S5/5) 本館 1階 S=1/100	(S6/6) 本館 1階 S=1/100	(S7/7) 本館 1階 S=1/100
姿図 寸法							
型式	両開き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸	両引き戸	欄間付両引き戸	両開き戸
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	1,600x2,400	850x2,400	1,800x2,400	950x2,800	8,050x2,800	2,900x3,980	1,700x2,800
数量	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所
材質・仕様	スチール	スチール	スチール	スチール	ガラス	ガラス	スチール
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装						
符号・使用箇所	(S8/8) 本館 1階 S=1/100	(S9/9) 本館 3階 S=1/100	(S10/10) 本館 10階 S=1/100	(S11/11) 本館 10階 S=1/100	(S12/12) 本館 10階 S=1/100	(S13/13) 本館 10階 S=1/100	(S14/14) 別館 1階 S=1/100
姿図 寸法							
型式	片開き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸	両開き	点検口	両引き戸
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	950x2,400	850x2,000	900x2,350	850x2,350	1,800x2,200	560x1,070	1,600x2,100
数量	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	2箇所	4箇所	2箇所
材質・仕様	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール	スチール	ガラス
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め調整・DP塗装						
符号・使用箇所	(S15/15) 別館 1階 S=1/100	(S16/16) 別館 1階 S=1/100	(S17/17) 別館 1階 S=1/100	(S18/18) 本館 10階 S=1/100	(S19/19) 本館 10階 S=1/100	(S20/20) 本館 10階 S=1/100	(S21/21) 別館 1階 S=1/100
姿図 寸法							
型式	欄間付両開き戸	片開き戸	ガラス	ガラス	ガラス		
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	1,700x3,075	850x2,100	3,000x1,200	600x600	1,300x700		
数量	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
材質・仕様	スチール	スチール	ステンレス	ステンレス	ステンレス		
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め調整・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め調整・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め調整・DP塗装		
符号・使用箇所	(S22/22) 本館 B1F S=1/100	(S23/23) 本館 B1F S=1/100	(S24/24) 本館 B1F S=1/100	(S25/25) 本館 1F S=1/100			
姿図 寸法							
型式	両開き窓	はめ殺し窓	はめ殺し窓	はめ殺し窓			
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	1,950x3,850	920x2,900	1,950x2,900	1,900x3,880			
数量	3箇所	1箇所	7箇所	50箇所			
材質・仕様	スチール	スチール	スチール	スチール			
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装	四周シールやり替え サッシクリーニング 下地調整 さび止め塗装・DP塗装			

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	建具表(1)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/100	034/041

符号・使用箇所	(AW1) 本館 2-9F S=1/100	(AW2) 本館 2-8F S=1/100	(AW3) 本館 2-9F S=1/100	(AW4) 本館 2-9F S=1/100	(AW5) 本館 2-9F S=1/100	(AW6) 本館 2-9F S=1/100	(AW7) 本館 2-9F S=1/100	(AW8) 本館 2-9F S=1/100
姿図 寸法								
型式	はめ殺し窓							
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	2,480x1,700	2,580x1,320	925x1,700	2,600x1,700	825x1,700	2,050x3,850	725x3,850	2,280x1,700
数量	89箇所	238箇所	64箇所	188箇所	30箇所	29箇所	18箇所	18箇所
材質・仕様	7mm							
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング							
符号・使用箇所	(AW9) 本館 2-9F S=1/100	(AW10) 本館 3F S=1/100	(AW11) 本館 10F S=1/100	(AW12) 本館 10F S=1/100	(AW13) 本館 10F S=1/100	(AW14) 本館 10F S=1/100	(AW15) 本館 10F S=1/100	(AW16) 本館 10F S=1/100
姿図 寸法								
型式	はめ殺し窓							
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	2,280x1,750	1,050x1,700	1,750x3,300	2,200x3,300	1,975x3,300	2,160x3,300	2,010x4,250	930x4,250
数量	27箇所	1箇所	6箇所	2箇所	6箇所	6箇所	6箇所	2箇所
材質・仕様	7mm							
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング							
符号・使用箇所	(AW17) 本館 10F S=1/100	(AW18) 別館 1階 S=1/100	(AW19) 別館 1階 S=1/100	(AW20) 別館 1階 S=1/100	(AW21) 別館 2階 S=1/100	○	○	○
姿図 寸法								
型式	はめ殺し窓	はめ殺し窓	はめ殺し窓	はめ殺し窓	はめ殺し窓			
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	780x4,250	500,3,080	2,900x3,080	1,410x3,095	1,500x2,690			
数量	2箇所	6箇所	1箇所	17箇所	1箇所			
材質・仕様	7mm	7mm	7mm	7mm	7mm			
改修内容	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング	四周シールやり替え サッシクリーニング ガラスクリーニング			
符号・使用箇所	○	○	○	○	○			
姿図 寸法								
型式								
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)								
数量								
材質・仕様								
改修内容								

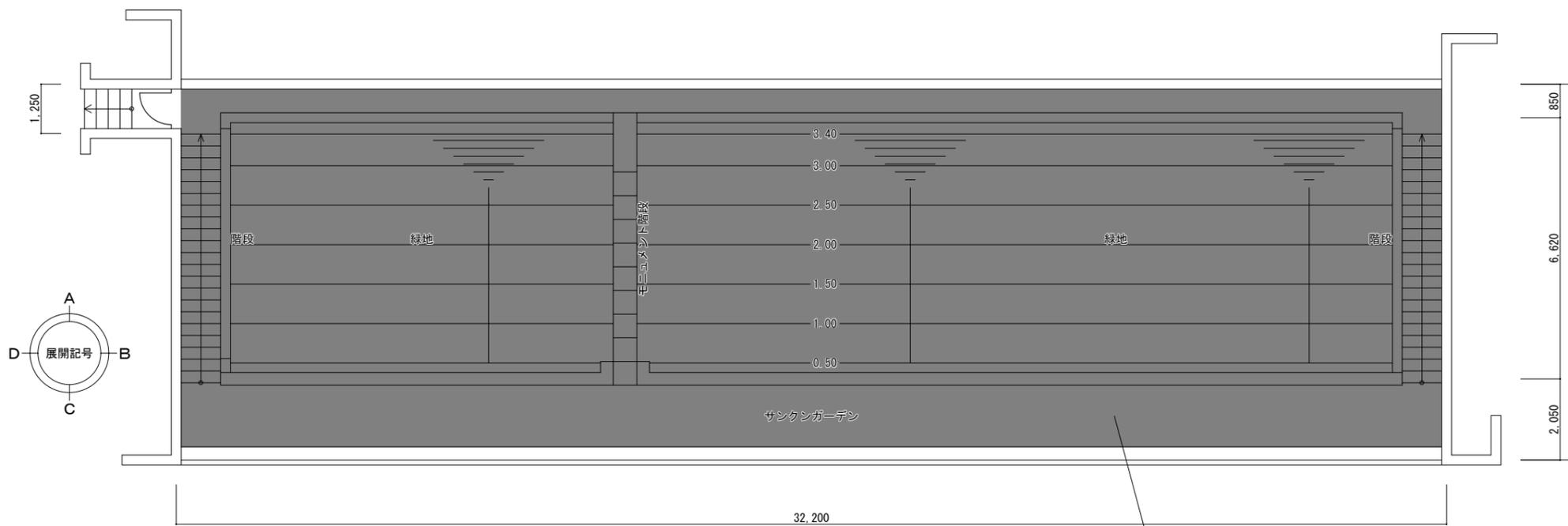
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	建具表(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/100	035/041

符号・使用箇所	(A17) 別館 1階	S=1/100	(A18) 別館 1階	S=1/100	(A19) 別館 1階	S=1/100	(A25) 別館 2階	S=1/100	(A26) 別館 2階	S=1/100	(A27) 別館 2階	S=1/100	○
図面 寸法													
型式	はめ殺し窓												
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	1,880x5,500		1,880x5,500		5,150x5,500		3,150x4,550		1,880x4,550		1,100x4,550		
数量	7箇所		1箇所		1箇所		1箇所		7箇所		1箇所		
材質・仕様	7ࣘ		7ࣘ		7ࣘ		7ࣘ		7ࣘ		7ࣘ		
改修内容	四周シールやり替え												
	サッシクリーニング		サッシクリーニング		サッシクリーニング		サッシクリーニング		サッシクリーニング		サッシクリーニング		
	ｶﾞﾗｽクリーニング		ｶﾞﾗｽクリーニング		ｶﾞﾗｽクリーニング		ｶﾞﾗｽクリーニング		ｶﾞﾗｽクリーニング		ｶﾞﾗｽクリーニング		

符号・使用箇所	(A28) 別館 2階	S=1/100	○	○	○								
---------	-------------	---------	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--

図面 寸法													
型式	はめ殺し窓												
寸法・見付・見込 (枠見付・枠見込)	5,150x4,550												
数量	1箇所												
材質・仕様	7ࣘ												
改修内容	四周シールやり替え												
	サッシクリーニング												
	ｶﾞﾗｽクリーニング												

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	建具表(3)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A
	代表	設計	作図	縮尺	036/041
	清水	鈴木	鈴木	1/100	

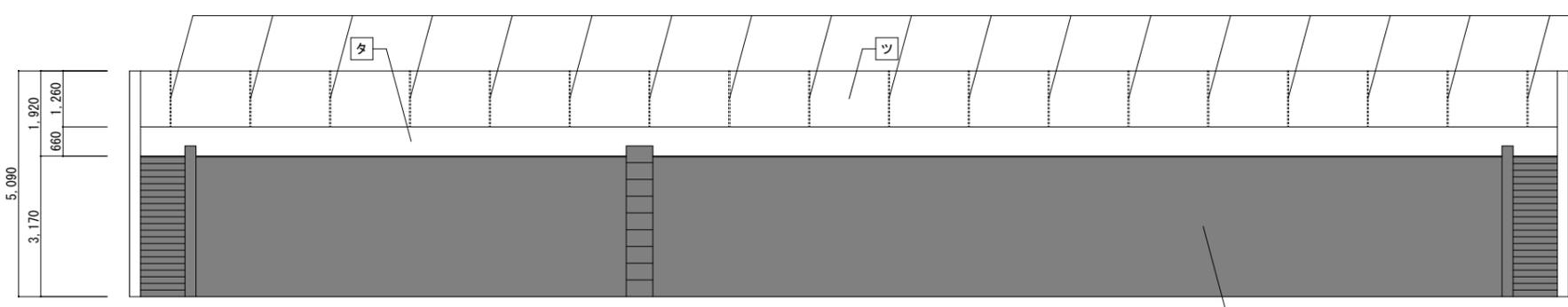


平面図 1/100

改修範囲対象外を示す

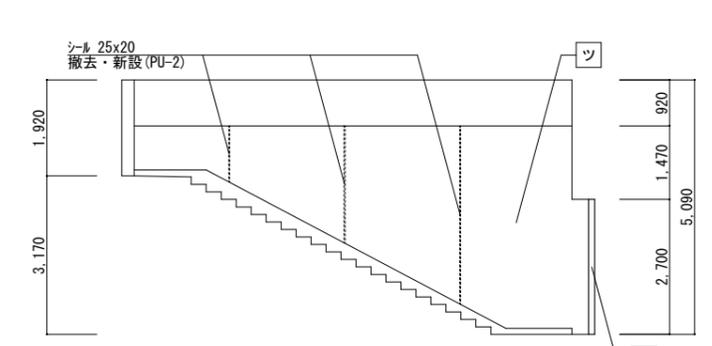
記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ゲート	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プラスチック笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プラスチック笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プラスチックコンクリート 磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45二丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具クン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プラスチックコンクリートの上 複層仕上塗材	剥離剤併用手工具クン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質モザイクタイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ板 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プラスチックコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し出し成形版(リブ付) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R8種、錆止め塗装の上DP塗装
○	タイル目地	目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎	吹付塗材	目地 25x20	打替え(PU-2)
□	アルミ板	目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

…アルミ板含有建材を示す

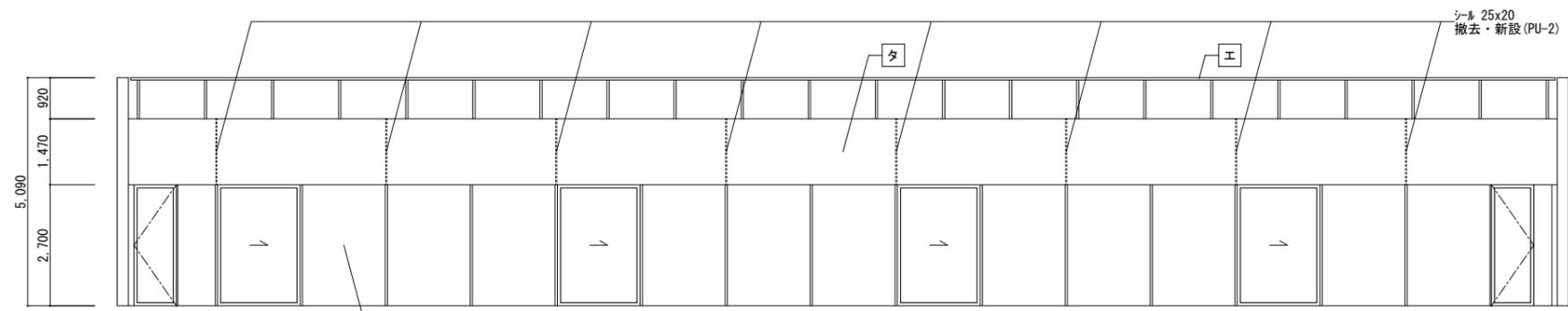


A面展開図 1/100

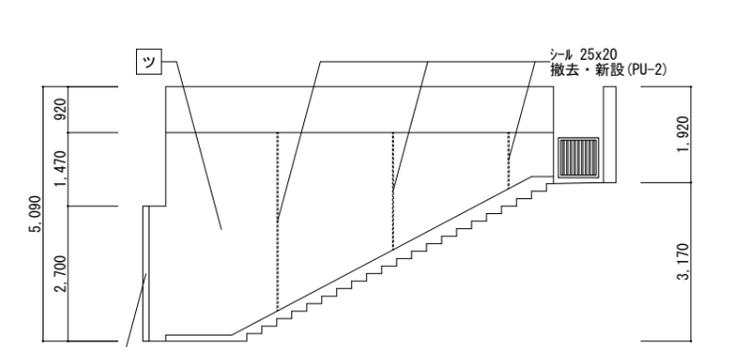
改修範囲対象外を示す



B面展開図 1/100

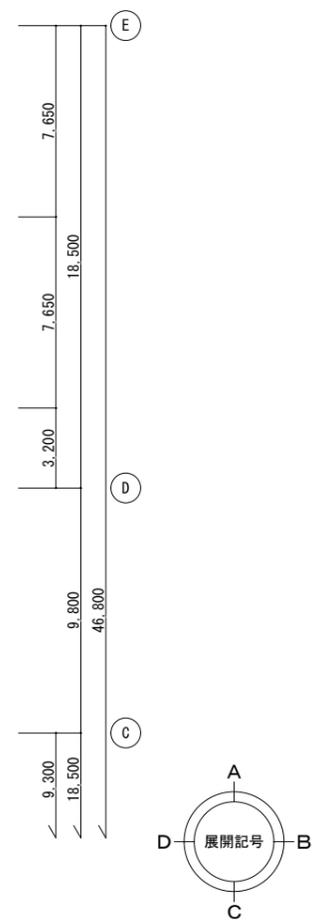
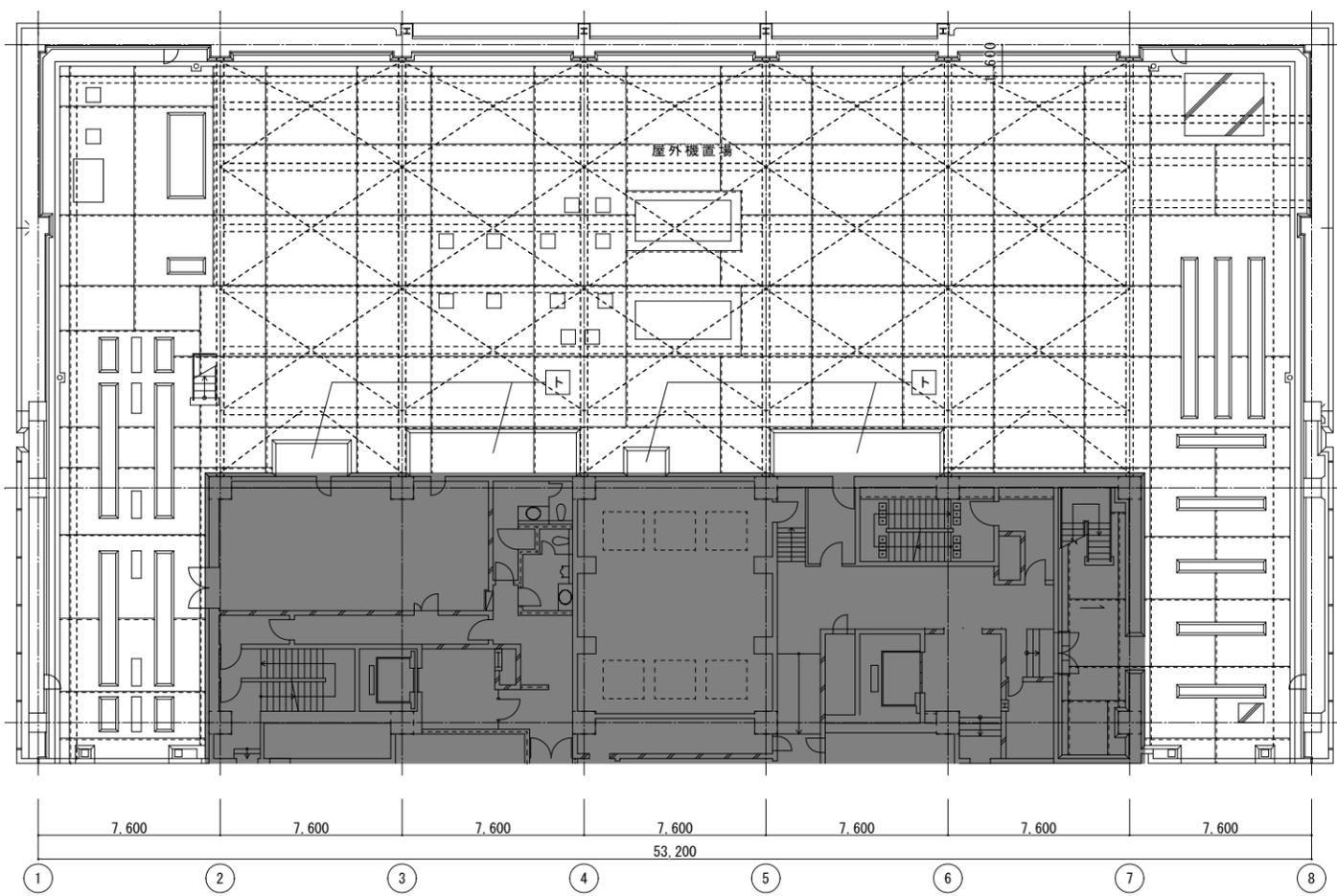
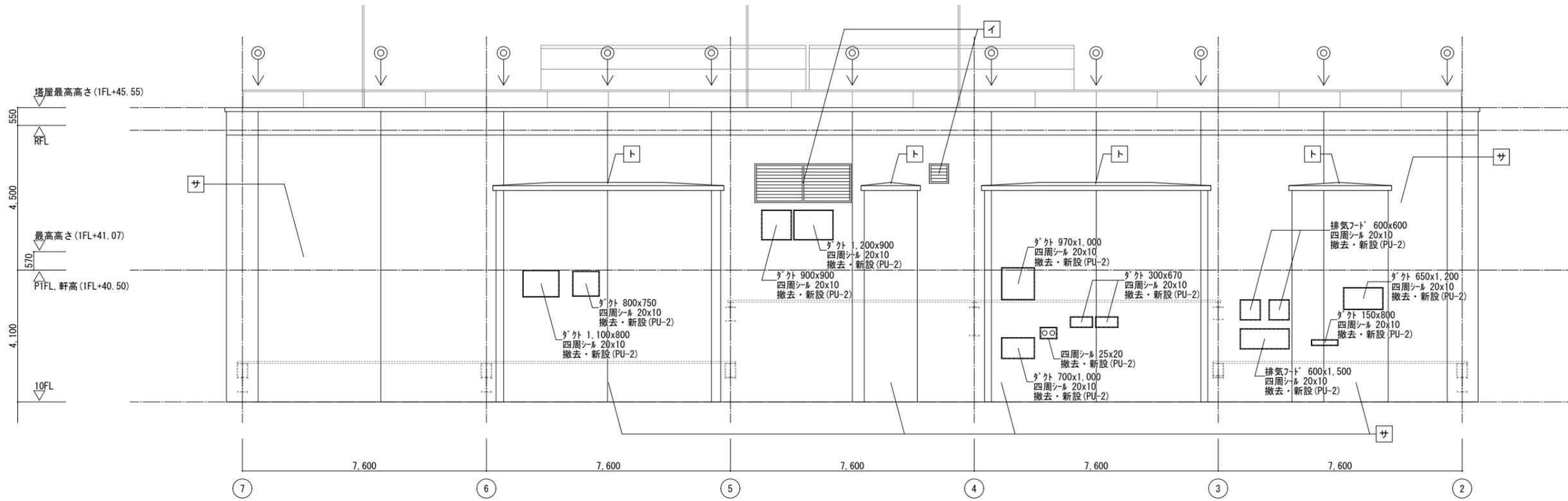


C面展開図 1/100



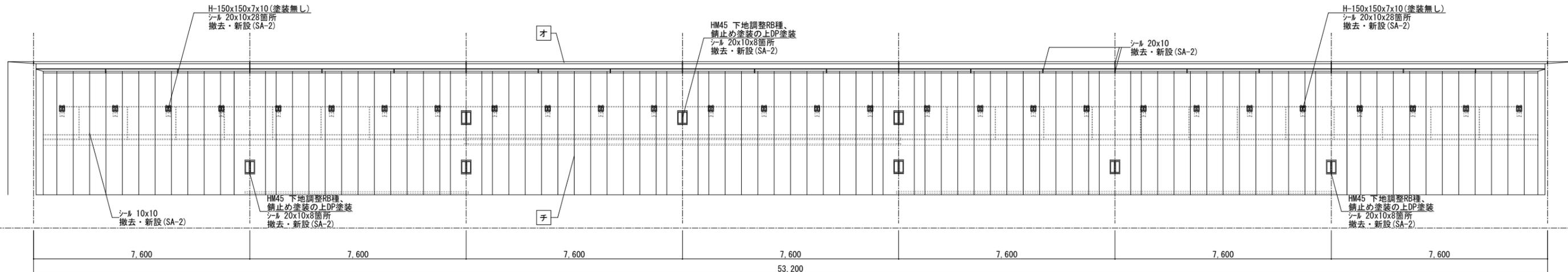
D面展開図 1/100

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	サンクンガーデン				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				A2
	代表	設計	作図	縮尺	A
	清水	鈴木	鈴木	1/100	038/041

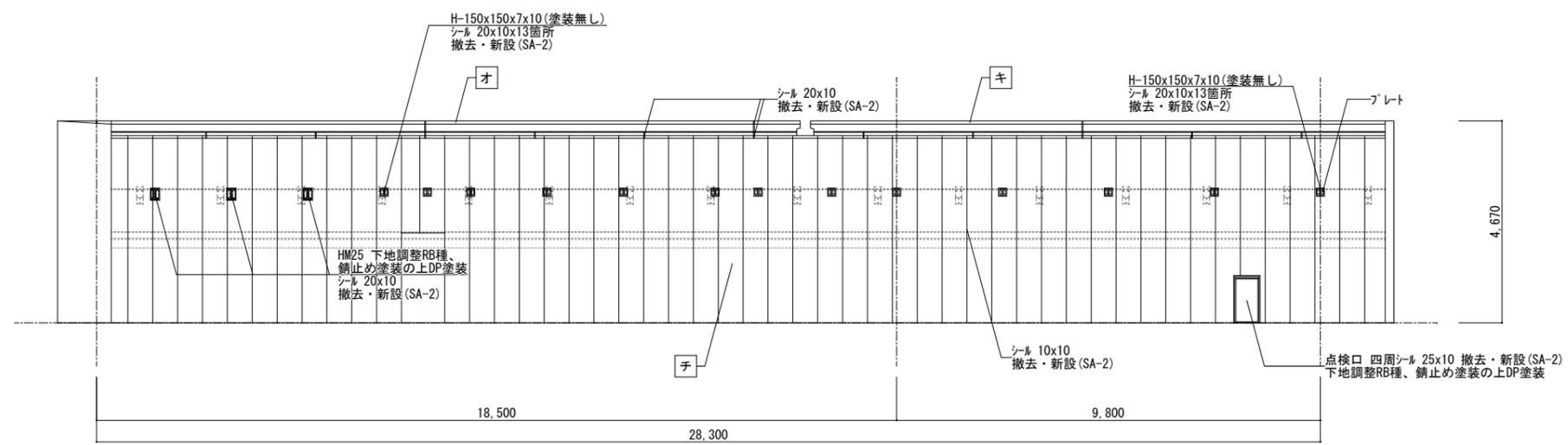


記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2)やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整R種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	ブキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	ブキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	ブキャストコンクリート 磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	ブキャストコンクリートの上	剥離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質45ニ丁掛タイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミパネル ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	ブキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗装仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押出し成形版(リブ付) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、 下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、 ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整R種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え (SA-2同等以上)
□		吹付塗材 目地 25x20	打替え (PU-2)
◇		アルミパネル 目地 25x20	打替え (SA-2同等以上)

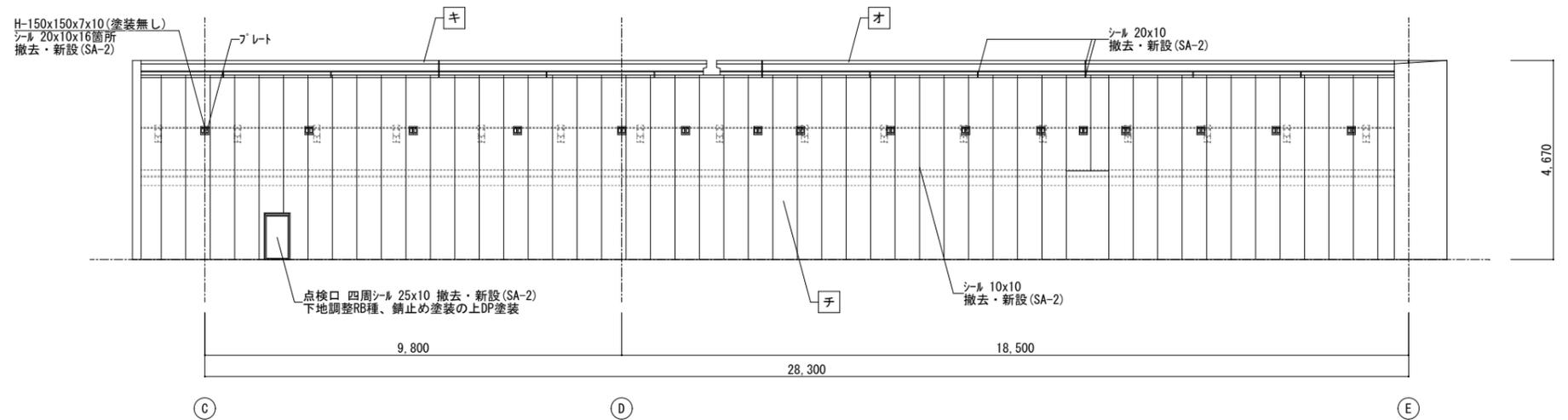
工事名称	庁舎外壁改修工事			令和6年度
図面名称	屋外機置場展開図 (1)			図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			A
	代表	設計	作図	縮尺
	清水	鈴木	鈴木	1/100
				040 041



A展開図 S=1/100



B展開図 S=1/100



D展開図 S=1/100

符号	部材断面
HM20	H-194x150x 6x 9
HM25	H-244x175x 7x 11
HM40	H-390x300x 10x 16
HM45	H-440x300x 11x 18
ZH1	H-250x250x 9x 14
V1	2CT-140x200x 8x 12
V2	CT-170x250x 9x 14
V3	2CT-170x250x 9x 14
SG1	H-900x300x 16x 28

記号	部位	現況撤去仕様	改修仕様
ア	サッシ	アルミ製サッシ	四周・水切シール(SA-2) やり替え、クリーニング
イ	サッシ	ステンレスサッシ	四周・水切シール(SA-2) やり替え、クリーニング
ウ	サッシ	アルミ製ガラス	四周・水切シール(SA-2) やり替え、クリーニング
エ	鉄部	スチール製手摺、ダクト	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
オ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
カ	笠木	プレキャスト笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
キ	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	撤去・新設
ク	笠木	アルミ笠木 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ケ	外壁	プレキャストコンクリート 磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
コ	外壁	コンクリートの上、磁器質45ニ丁掛タイル打込	劣化部分補修の上クリーニング
サ	外壁	コンクリート打放しの上 複層仕上塗材	剝離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
シ	外壁	プレキャストコンクリートの上 複層仕上塗材	剝離剤併用手工具ケレン工法の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
ス	外壁	コンクリート打放しの上磁器質45ニ丁掛タイル張り	劣化部分補修の上クリーニング
セ	外壁	アルミ製 ウレタン樹脂エポキシ	クリーニング
ソ	外壁	コンクリート打放しの上石張り	クリーニング
タ	外壁	コンクリート打放し	クリーニングの上、表面保護塗装
チ	外壁	プレキャストコンクリート素地仕上	クリーニングの上、表面保護塗装
ツ	外壁	コンクリート打放しの上塗層仕上	劣化部分補修の上 下地調整C-1、複層仕上塗材E
テ	外壁	押し成形版(リブ付) 複層塗材RE	下地調整C-1、複層仕上塗材E
ト	屋根	塗膜防水	高圧水洗浄(劣化部除去)の上、下地調整C-2、ウレタン塗膜防水X-2
ナ	鉄骨	溶融亜鉛メッキの上、ウレタン樹脂エポキシ(常温型)塗装	下地調整RB種、錆止め塗装の上DP塗装
○		タイル目地 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)
◎		吹付塗材 目地 25x20	打替え(PU-2)
□		アルミ製 目地 25x20	打替え(SA-2同等以上)

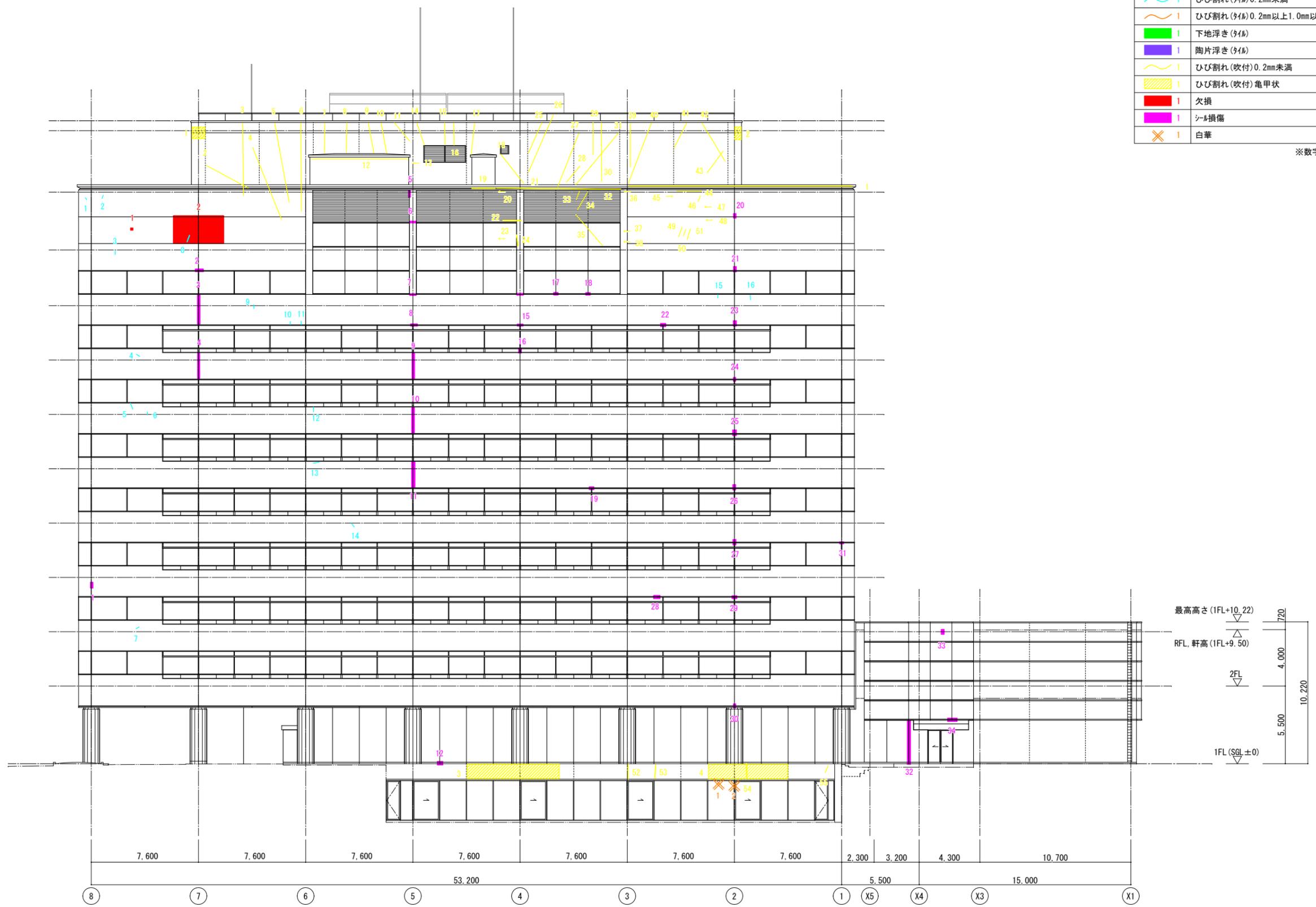
…777… 示す

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	屋外機置場展開図(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計	A
	清水	鈴木	鈴木	1/100	041/041

凡例	
	ひび割れ(タイル)0.2mm未満
	ひび割れ(タイル)0.2mm以上1.0mm以下
	下地浮き(タイル)
	陶片浮き(タイル)
	ひび割れ(吹付)0.2mm未満
	ひび割れ(吹付)亀甲状
	欠損
	シール損傷
	白華

※数字は損傷番号を示す

塔屋最高高さ(1FL+45.55)
 RFL
 最高高さ(1FL+41.07)
 P1FL, 軒高(1FL+40.50)
 10FL
 9FL
 8FL
 7FL
 6FL
 5FL
 4FL
 3FL
 2FL
 1FL (SGL±0)

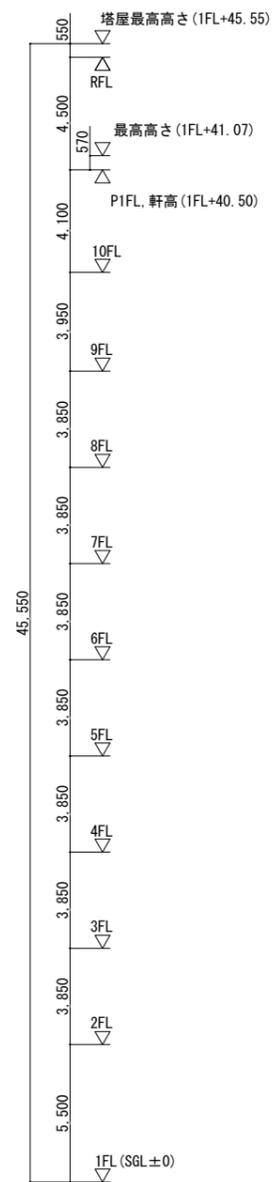


最高高さ(1FL+10.22)
 RFL, 軒高(1FL+9.50)
 2FL
 1FL (SGL±0)

北側立面図 S=1/200

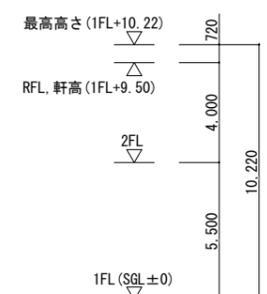
参考図

工事名称	庁舎外壁改修工事	令和6年度
図面名称	北立面図(劣化調査図)	図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS	A2
代表	清水	参考図
設計	鈴木	01
作図	鈴木	08
図縮尺	1/200	



凡例	
	ひび割れ(タイル)0.2mm未満
	ひび割れ(タイル)0.2mm以上1.0mm以下
	下地浮き(タイル)
	陶片浮き(タイル)
	ひび割れ(吹付)0.2mm未満
	ひび割れ(吹付)亀甲状
	欠損
	シール損傷
	白華

※数字は損傷番号を示す



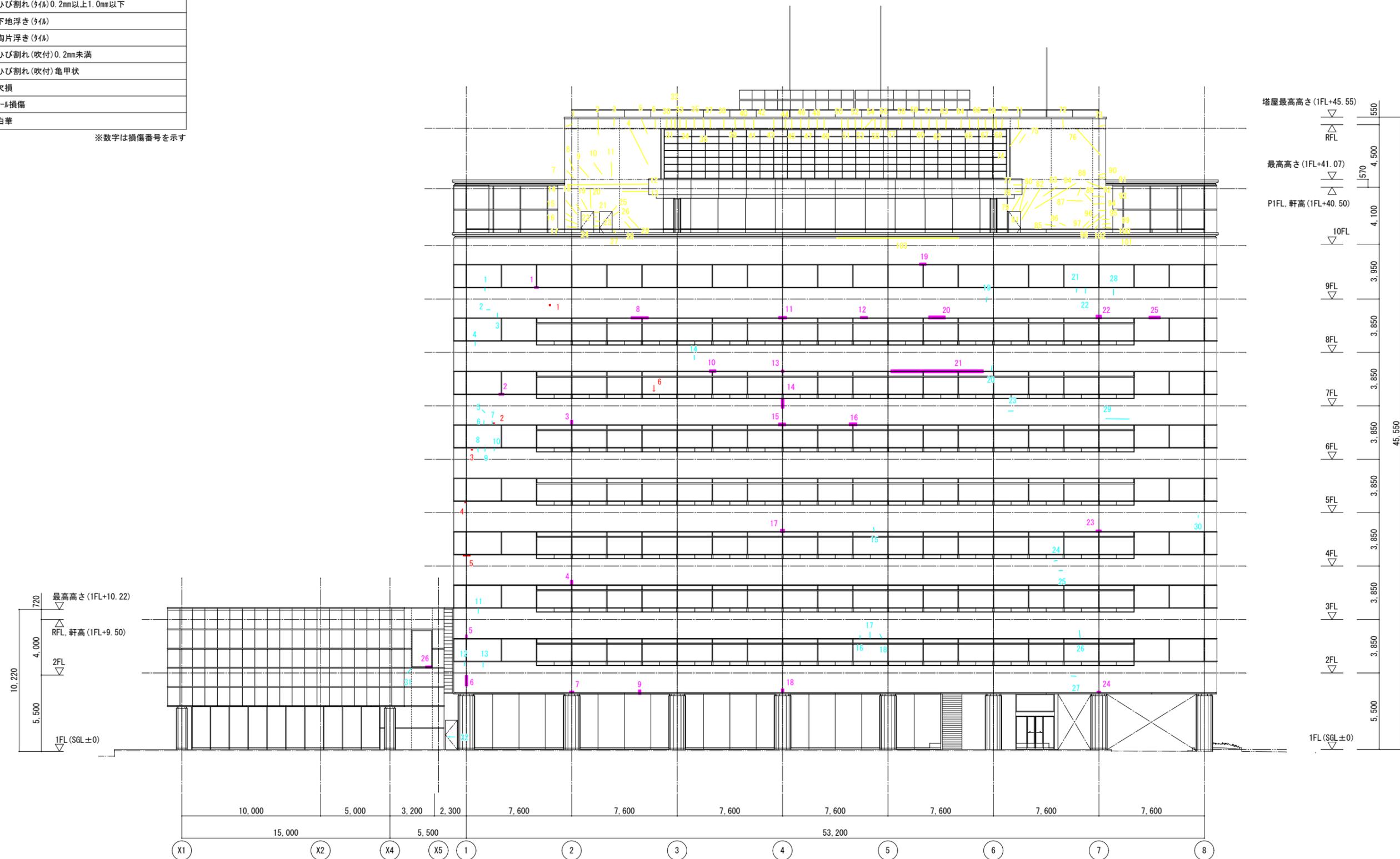
東側立面図 S=1/200

参考図

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	東立面図 (劣化調査図)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計作図縮尺	A2
	清水	鈴木	鈴木	1/200	参考図
					02/08

凡例	
	ひび割れ(タイル)0.2mm未満
	ひび割れ(タイル)0.2mm以上1.0mm以下
	下地浮き(タイル)
	陶片浮き(タイル)
	ひび割れ(吹付)0.2mm未満
	ひび割れ(吹付)亀甲状
	欠損
	シール損傷
	白華

※数字は損傷番号を示す



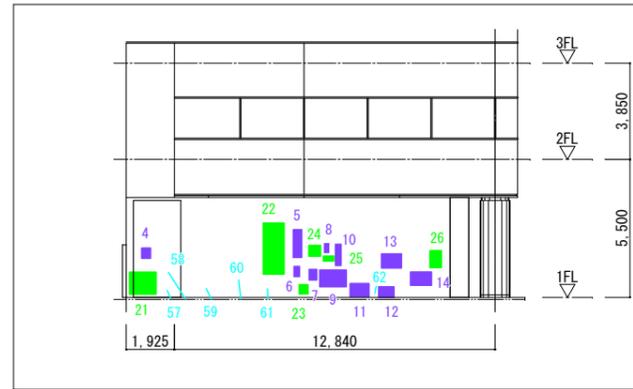
南側立面図 S=1/200

参考図

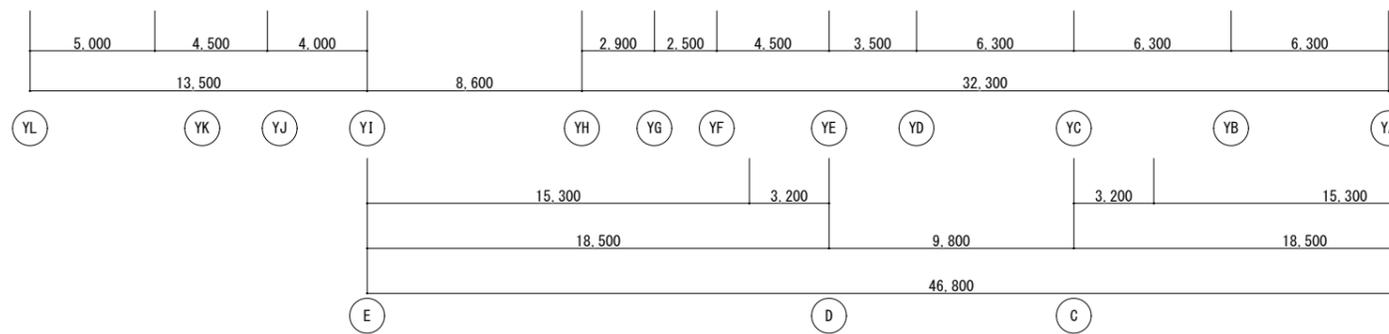
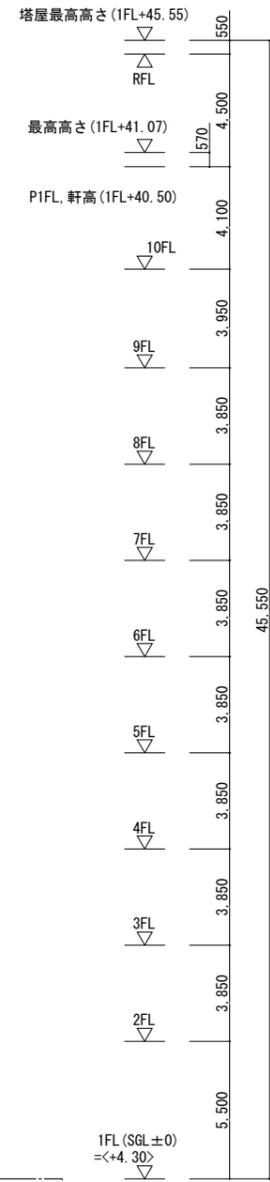
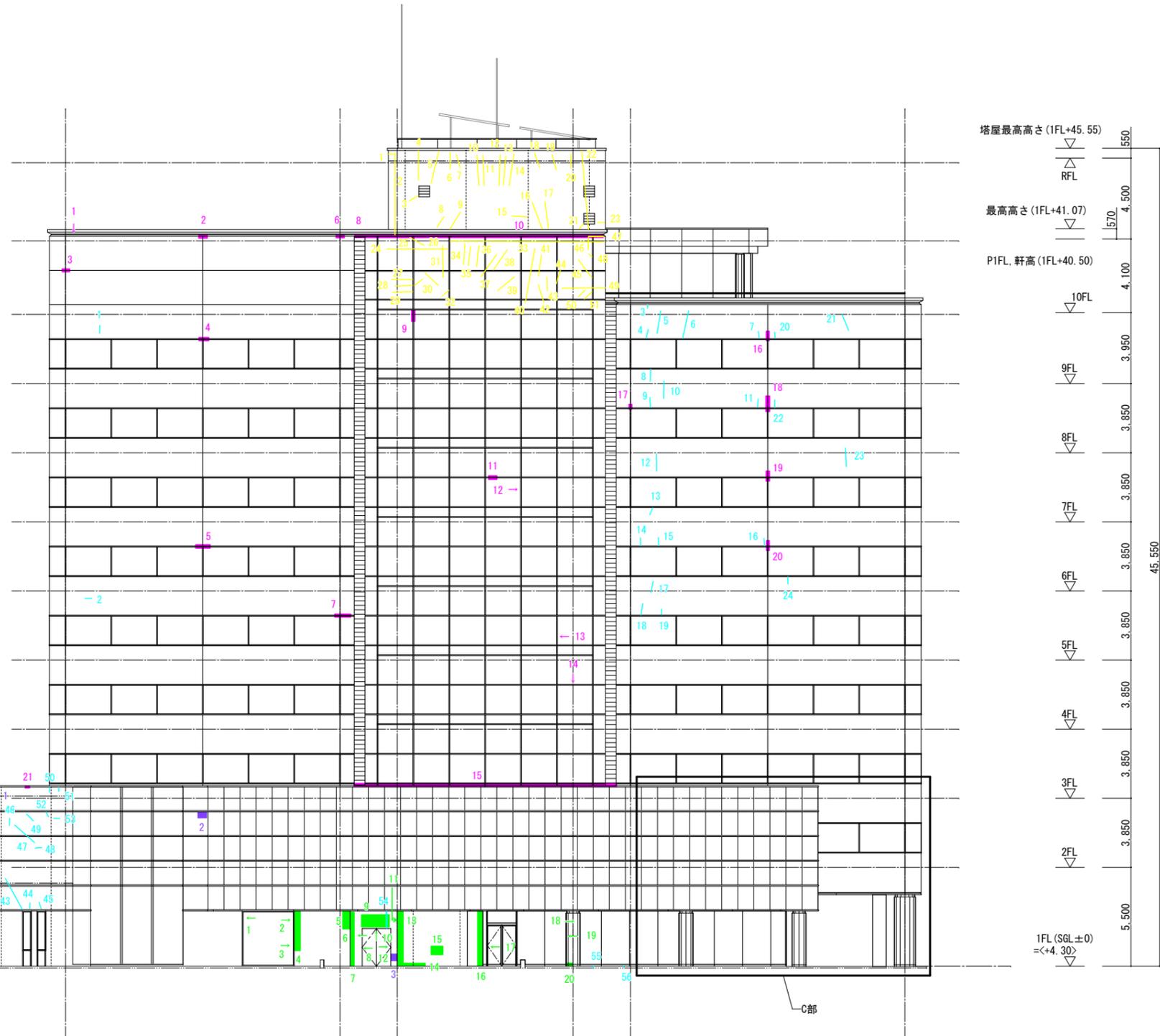
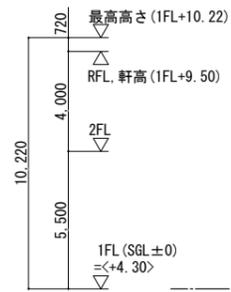
工事名称	庁舎外壁改修工事			令和6年度
図面名称	南立面図(劣化調査図)			図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			A2
	代表	設計	作図	参考図
	清水	鈴木	鈴木	縮尺
			1/200	03/08

凡例	
	ひび割れ(タイル)0.2mm未満
	ひび割れ(タイル)0.2mm以上1.0mm以下
	下地浮き(タイル)
	陶片浮き(タイル)
	ひび割れ(吹付)0.2mm未満
	ひび割れ(吹付)亀甲状
	欠損
	シール損傷
	白華

※数字は損傷番号を示す



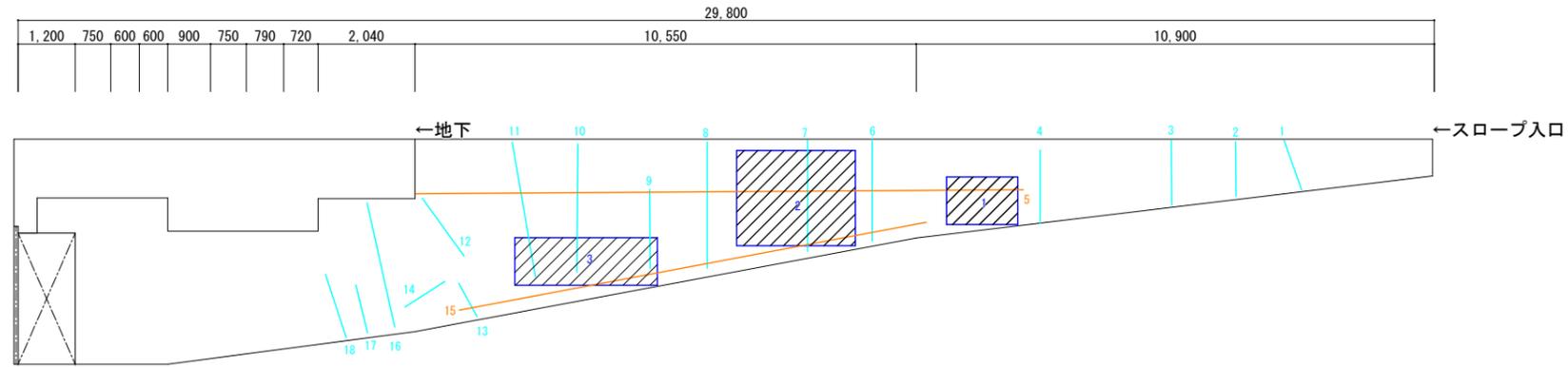
C部詳細図 S=1/200



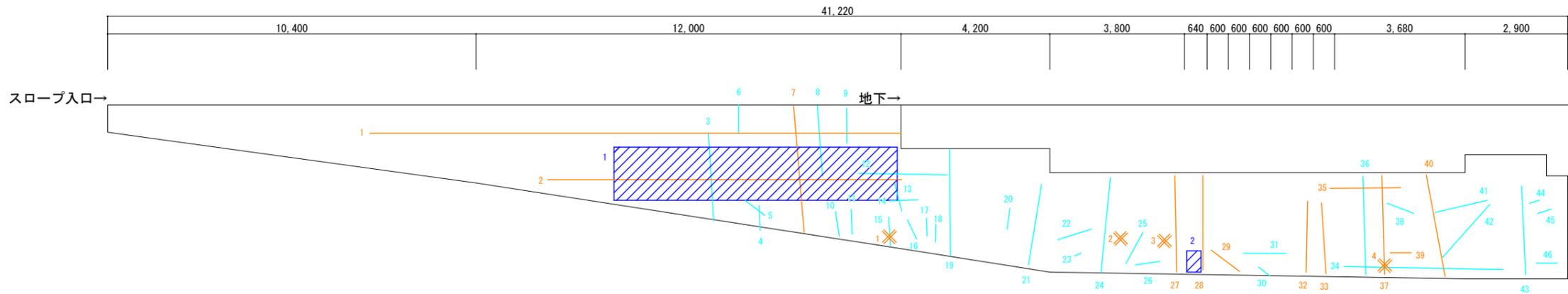
西側立面図 S=1/200

参考図

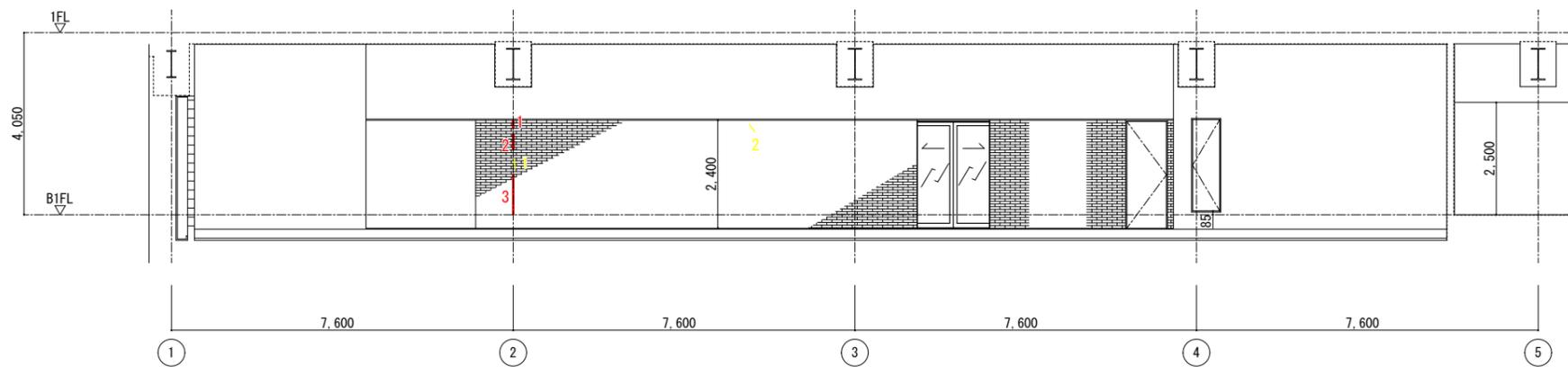
工事名称	庁舎外壁改修工事	令和6年度 図面サイズ
図面名称	西立面図(劣化調査図)	A2 参考図
設計事務所 株式会社CADS	代表設計	清水
	設計	鈴木
縮尺	1/200	04 08



スロープ展開図(北側) 1/100



スロープ展開図(北側) 1/100



車寄せ展開図 1/100

凡例	
	ひび割れ(タイ)0.2mm未満
	ひび割れ(吹付)0.2mm未満
	ひび割れ(吹付)0.2mm以上1.0mm以下
	ひび割れ(吹付)亀甲状
	欠損
	白華

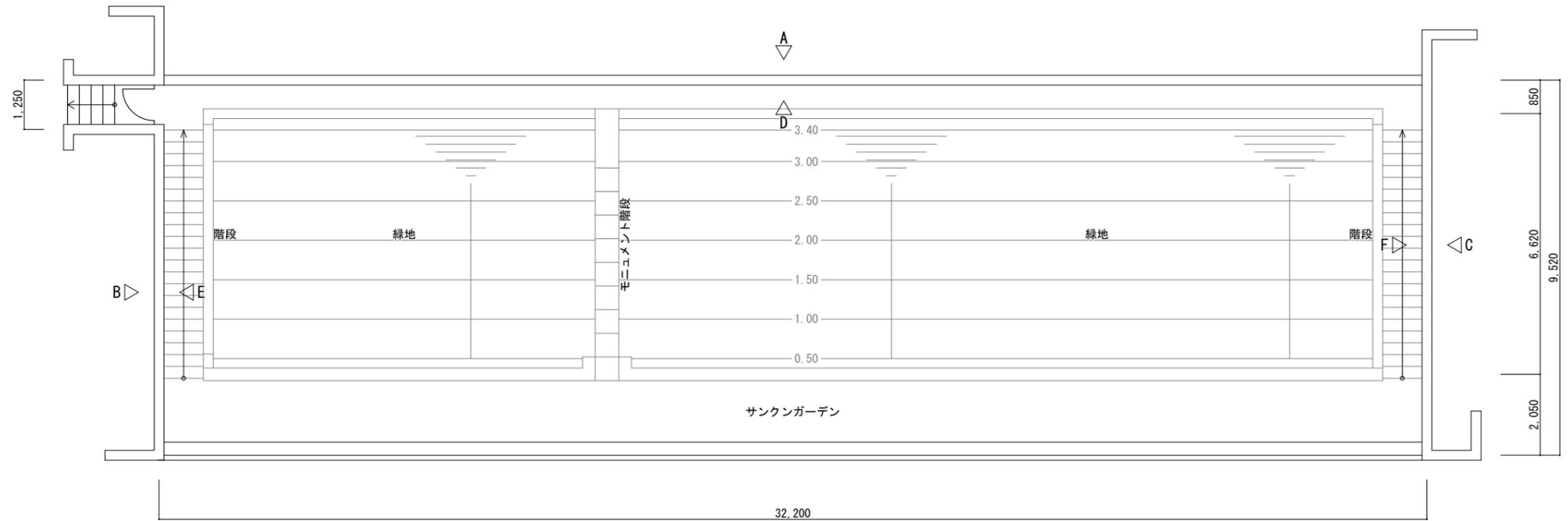
※数字は損傷番号を示す

参考図

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	スロープ・車寄せ展開図(劣化調査図)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計者	A2
	清水	鈴木	鈴木	図縮尺	参考図
				1/100	05/08

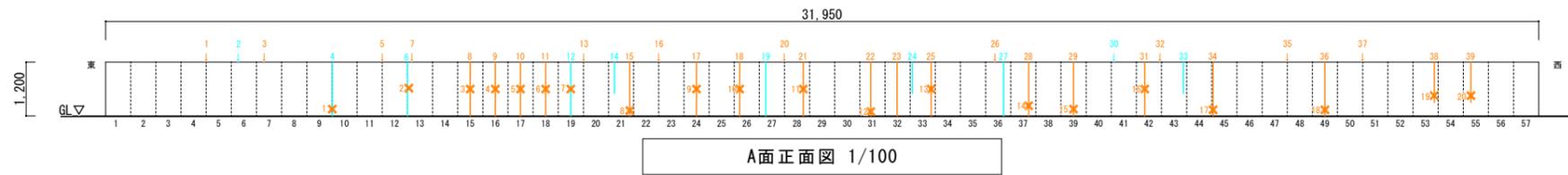
凡例	
	ひび割れ(劣化)0.2mm未満
	ひび割れ(劣化)0.2mm以上1.0mm以下
	ひび割れ(吹付)亀甲状
	欠損
	白華

※数字は損傷番号を示す

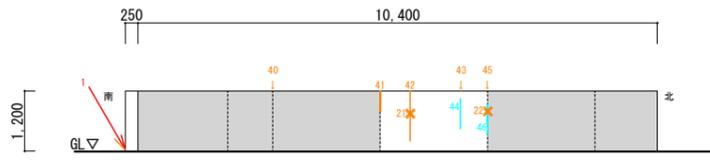


北側(外)腰壁 1/100

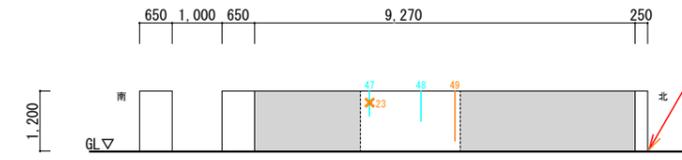
平面図 1/100



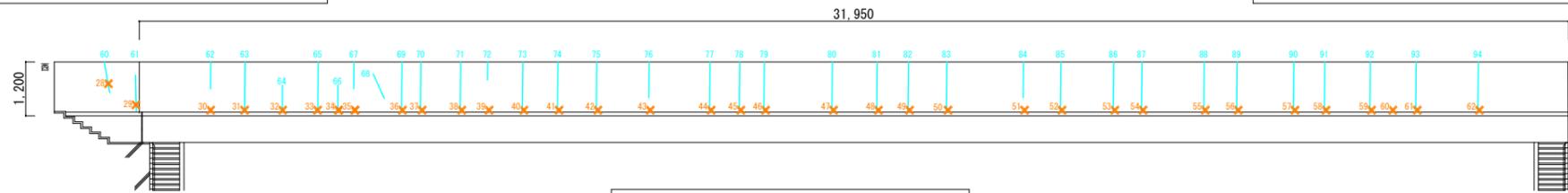
A面正面図 1/100



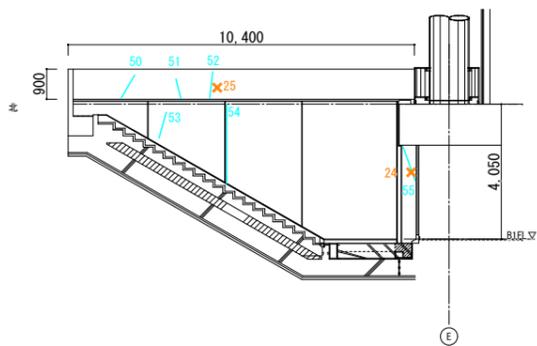
B面詳細図 1/100



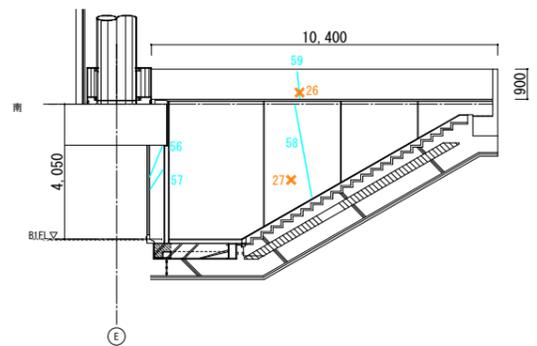
C面正面図 1/100



D面正面図 1/100



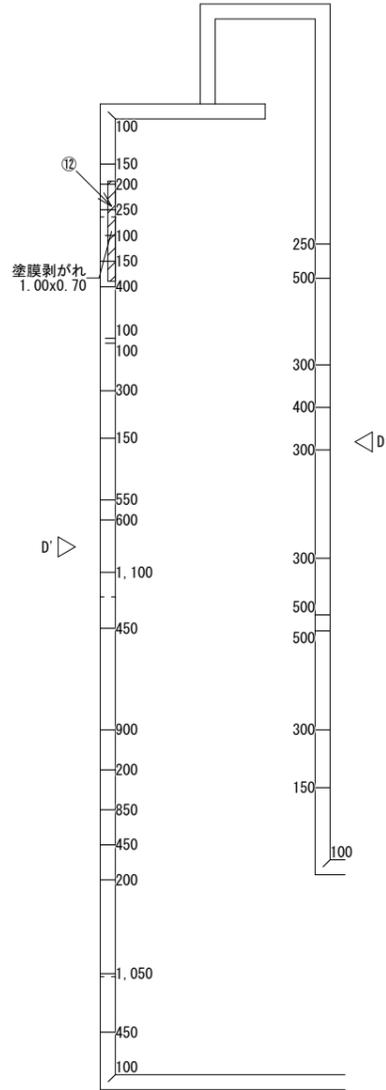
E面正面図 1/100



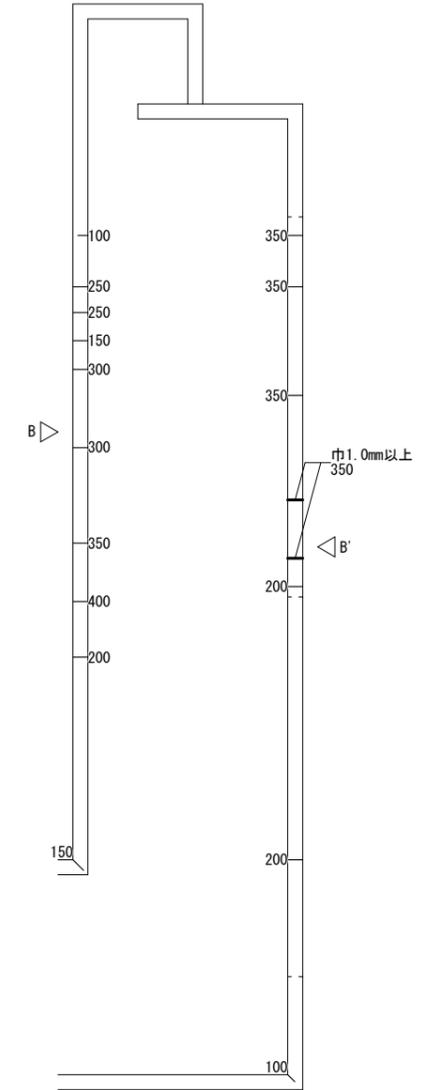
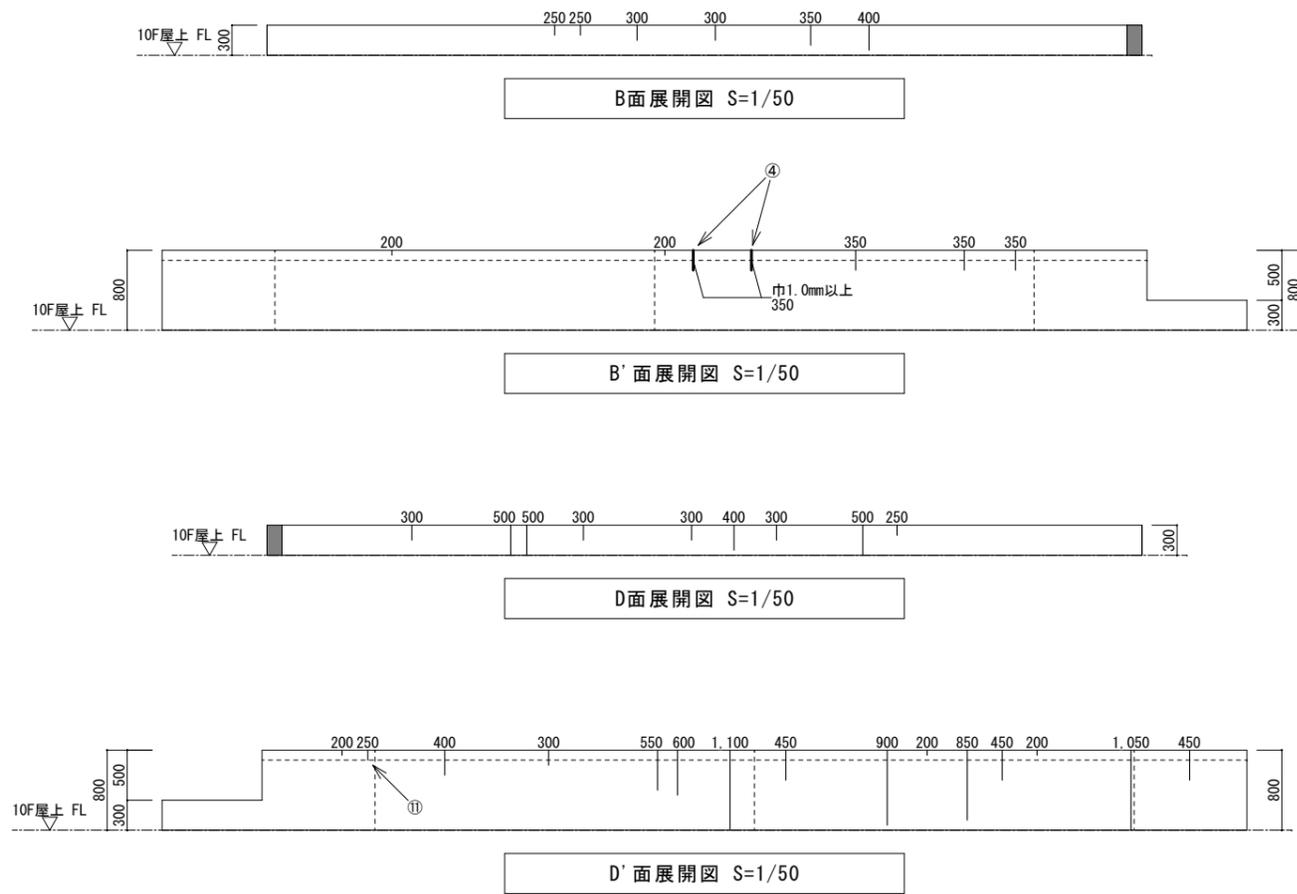
F面正面図 1/100

参考図

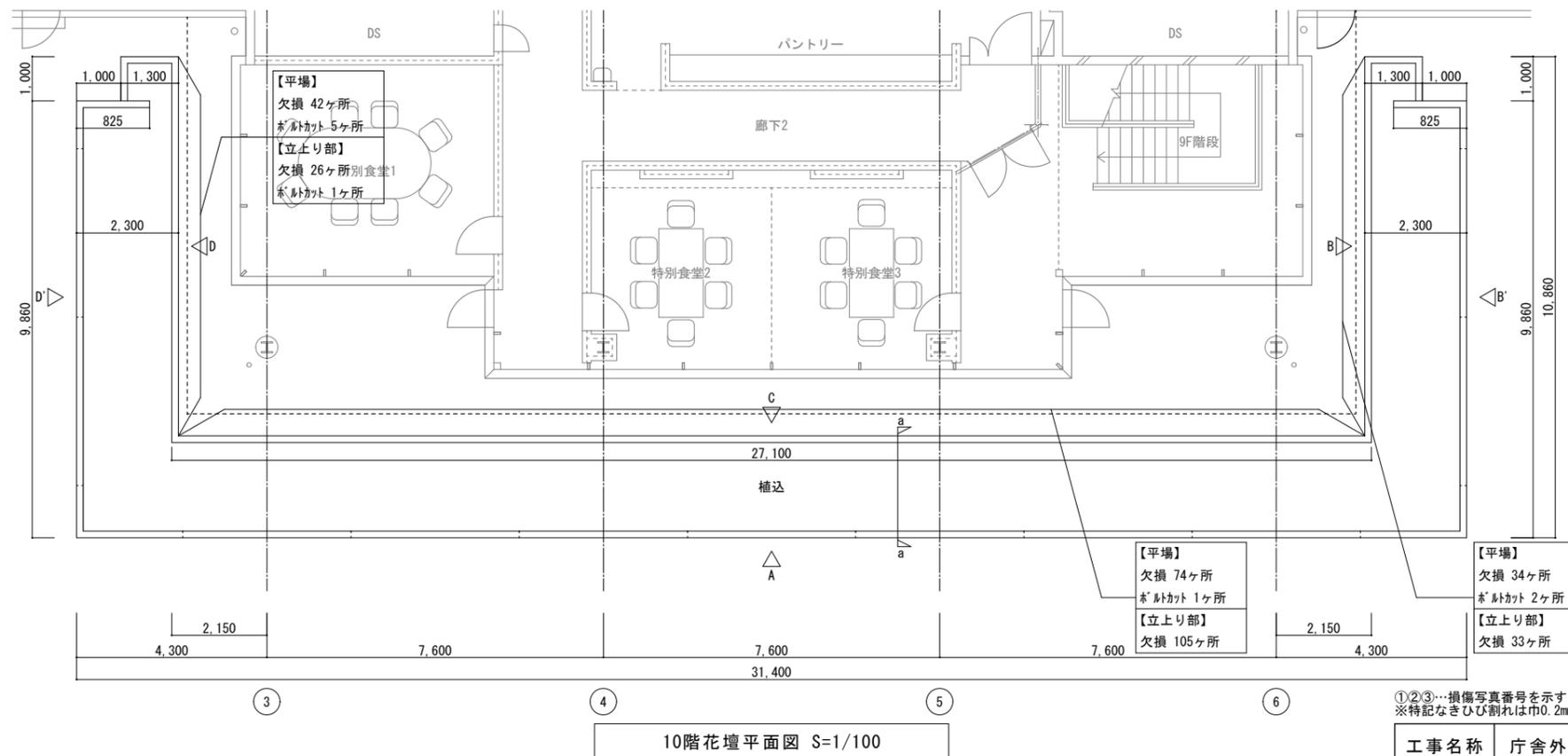
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	サンクンガーデン展開図(劣化調査図)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS			代表設計	A2
	清水	鈴木	鈴木	図縮尺	参考図
				1/100	06/08



10階花壇平面図 S=1/50



10階花壇平面図 S=1/50

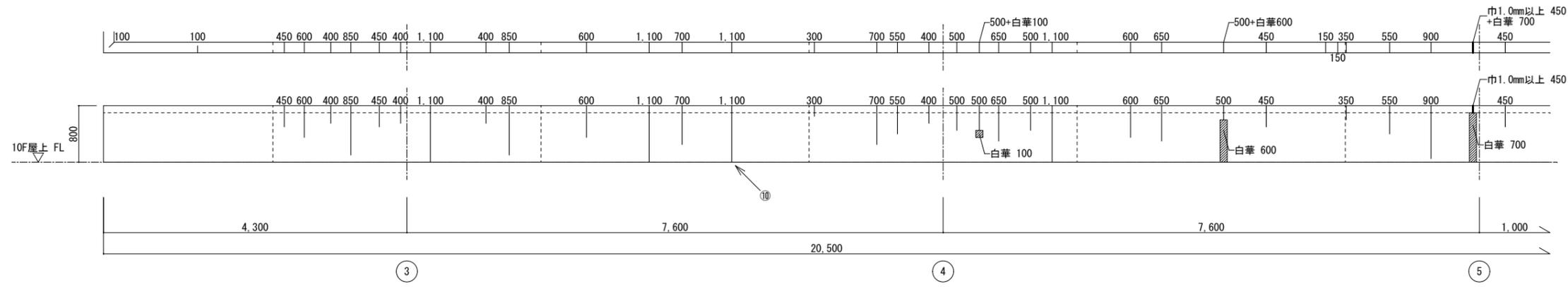


10階花壇平面図 S=1/100

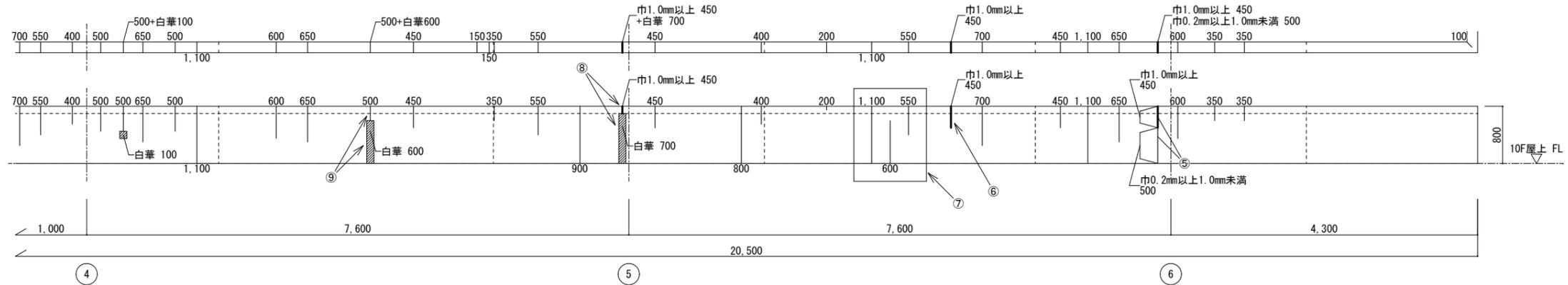
①②③…損傷写真番号を示す
※特記なきひび割れは巾0.2mm以上1.0mm未満とする。

参考図

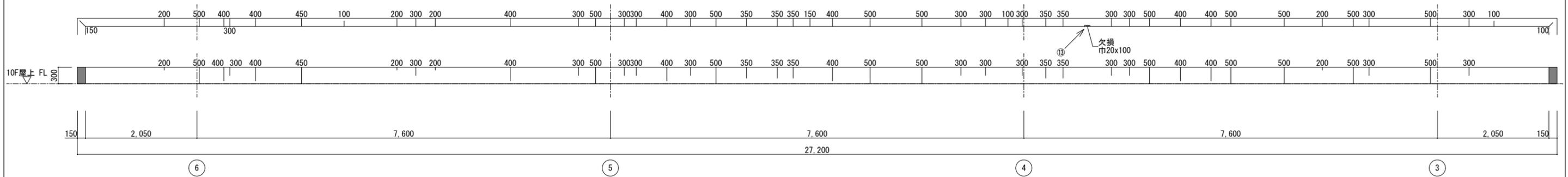
工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称	10階花壇展開図(劣化調査図)(1)				A2 参考図
設計事務所	株式会社CADS				縮尺 07 08
	代表	設計	作図	図縮尺	
	清水	鈴木	鈴木	1/50	



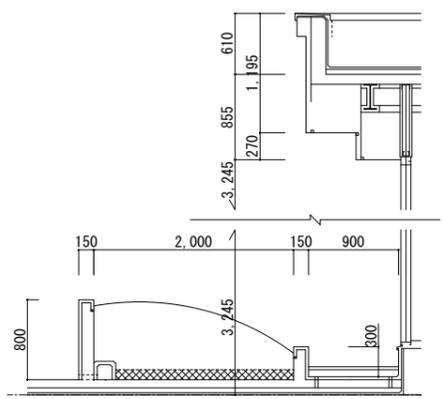
A面平面図・展開図(西側) S=1/50



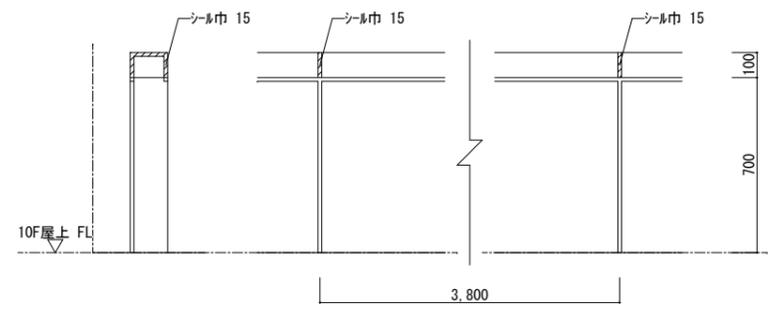
A面平面図・展開図(東側) S=1/50



C面平面図・展開図 S=1/50



a-a花壇断面図 S=1/50



花壇目地・シール詳細図 S=1/20

①②③…損傷写真番号を示す
※特記なきひび割れは巾0.2mm以上1.0mm未満とする。

参考図

工事名称	庁舎外壁改修工事				令和6年度
図面名称	10階花壇展開図(劣化調査図)(2)				図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS				参考図
	代表	設計	作図	縮尺	08/08
	清水	鈴木	鈴木	1/50	